

資料編

条 例 等

(目 次)

【 条 例 等 】

| | |
|----------------------------------|----|
| 蓬田村防災会議条例----- | 1 |
| 蓬田村災害対策本部条例----- | 3 |
| 蓬田村防災会議運営要綱----- | 4 |
| 蓬田村防災会議委員名簿----- | 5 |
| 災害救助法の適用基準----- | 6 |
| 「災害救助法による救助の程度、方法及び期間」早見表----- | 8 |
| 青森県消防相互応援協定----- | 11 |
| 青森県消防相互応援協定の運用----- | 16 |
| 災害時における青森県市町村相互応援に関する協定----- | 24 |
| 消防団応援協定書----- | 27 |
| 消防隊相互応援協定書----- | 29 |
| 水道災害相互応援協定----- | 30 |
| 水道災害相互応援協定細則----- | 32 |
| 青森海上保安部と青森地域広域消防事務組合との業務協定書----- | 33 |

蓬田村防災会議条例

昭和 40 年 3 月 31 日 条例第 15 号
改正

昭和 46 年 3 月 19 日 条例第 10 号

平成 12 年 3 月 21 日 条例第 9 号

平成 25 年 1 月 1 日 横書き施行

平成 29 年 3 月 13 日 条例第 1 号

(目的)

第 1 条 この条例は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 16 条第 6 項の規定に基づき蓬田村防災会議（以下「防災会議」という。）の所掌事務及び組織を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第 2 条 防災会議は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 蓬田村地域防災計画を作成し及びその実施を推進すること。
- (2) 村の地域に係る災害が発生した場合において当該災害に関する情報を収集すること。
- (3) 水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 25 条の水防計画を調査審議すること。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか法律又はこれに基づく政令によりその権限に属する事務

(会長及び委員)

第 3 条 防災会議は、会長及び委員をもって組織する。

- 2 会長は、村長をもって充てる。
- 3 会長は、会務を総理する。
- 4 会長に事故あるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。
- 5 委員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 指定地方行政機関の職員のうちから村長が任命する者
 - (2) 青森県の知事の部内の職員のうちから村長が任命する者
 - (3) 青森県警察の警察官のうちから村長が任命する者
 - (4) 村長がその部内の職員のうちから指命する者
 - (5) 教育長
 - (6) 消防団長
 - (7) 指定公共機関又は指定地方公共機関の職員のうちから村長が任命する者
 - (8) 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから村長が任命する者
- 6 前項の委員の定数は、20 名以内とする。
- 7 第 5 項第 7 号の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、その前任者の残任期間とする。
- 8 前項の委員は、再任されることができる。

(専門委員)

第 4 条 防災会議に専門の事項を調査させるため、専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、関係地方行政機関の職員、青森県の職員、村の職員、関係指定公共機関の職員、関係指定地方公共機関の職員及び学職経験のある者のうちから村長が任命する。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査が終了したときは解任されるものとする。

(議事等)

第5条 この条例に定めるもののほか、防災会議の議事その他防災会議の運営に関し必要な事項は、会長が防災会議にはかって定める。

附 則

この条例は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則 (昭和46年条例第10号)

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則 (平成12年条例第9号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年3月13日条例第1号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

蓬田村災害対策本部条例

昭和 40 年 3 月 31 日条例第 16 号

改正

平成 25 年 1 月 1 日横書き施行

令和元年 9 月 10 日条例第 10 号

(目的)

第 1 条 この条例は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 23 条第 6 項の規定に基づき蓬田村災害対策本部（以下「災害対策本部」という。）に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(組織)

第 2 条 災害対策本部長は、災害対策本部の事務を総括し、本部の職員を指揮監督する。

2 災害対策副本部長は、災害対策本部長を助け災害対策本部長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 災害対策本部員は、災害対策本部長の命を受け災害対策本部の事務に従事する。

(部)

第 3 条 災害対策本部長は、必要と認めるときは、災害対策本部に部を置くことができる。

2 部に属すべき災害対策本部員は、災害対策本部長が指命する。

3 部に部長を置き、災害対策本部長の指命する災害対策本部員がこれに当る。

4 部長は、部の事務を掌理する。

(雑則)

第 4 条 この条例に定めるもののほか、災害対策本部に関し、必要な事項は災害対策本部長が定める。

附 則

この条例は、昭和 40 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和元年 9 月 10 日条例第 10 号）

この条例は、公布の日から施行する。

蓬田村防災会議運営要綱

(趣 旨)

第1条 蓬田村防災会議（以下「防災会議」という。）の運営については、蓬田村防災会議条例（昭和40年、蓬田村条例第15号）に定めるところによるほか、この要綱によるものとする。

(会議の招集)

第2条 防災会議は会長が必要と認めたとき又は、委員2名以上の要求があったとき会長がこれを招集するものとする。

(会 議)

第3条 防災会議は委員の過半数の出席がなければ会議を開き、議決することができない。ただし、再度招集しても過半数に達しないときは、この限りでない。

(議 決)

第4条 防災会議は、出席委員全員の意見一致をもって議事を決するものとする。

(会議録)

第5条 会議は必要に応じて会議録を作成し、次の各号に掲げる事項を記録するものとする。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 出席者の職名及び氏名
- (3) 会議に付した案件及び議事の経過
- (4) 議決した事項
- (5) その他参考事項

(専決処分)

第6条 会長は防災会議が処理すべき事項のうち、次に掲げるものについて専決処分することができるものとする。

- (1) 災害が発生した場合において、当該災害に関する情報を招集すること。
 - (2) 災害が発生した場合において、当該災害に係わる災害応急対策及び災害復旧に関し、関係機関相互間の連絡調整を図ること。
 - (3) 関係機関の長に対し資料又は、情報の提供、意見の開陳、その他必要な協力を求めること。
 - (4) 蓬田村災害対策本部の設置について、意見を具申すること。
- 2 防災会議を招集する余裕のないとき、その他やむを得ない理由により防災会議を招集できないとき、会長は専決することができるものとする。
- 3 会長は、前2項により専決した事項については、次回会議においてこれを報告し、承認を求めるものとする。

(事務局)

第7条 防災会議の事務を処理するため、事務局を蓬田村役場総務課に置くものとする。

(雑 則)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項はそのつど会長が定めるものとする。

(附 則)

この要綱は、昭和63年4月1日から実施する。

蓬田村防災会議委員名簿

| 蓬田村防災会議条例 第3条による区分 | 機関名 | 職名 | 住所 | 電話番号 |
|---|--------------------------------|-------------|---------------------------|--------------|
| 会 長 | 蓬田村長 | 村 長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2111 |
| 1号 指定地方 行政機関 | 東北農政局青森県 拠点 | 総括農政 推進官 | 青森市長島1丁目3-25 | 017-775-2151 |
| | 青森森林管理署 | 署 長 | 青森市篠田3丁目22-16 | 017-781-0131 |
| 2号 県知事部内 職員 | 東青地域県民局 地域整備部 | 部 長 | 青森市幸畑字唐崎 76-4 | 017-728-0200 |
| | 東青地域県民局 地域健康福祉部 | 部 長 | 青森市長島2丁目10-3 青森フコク生命ビル | 017-734-9951 |
| 3号 県警察官 | 外ヶ浜警察署 | 署 長 | 外ヶ浜町字蟹田中師苗代沢 3 | 0174-22-2211 |
| 4号 村長部内職員 | 蓬田村総務課 | 課 長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2111 |
| | 蓬田村産業振興課 | 課 長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2115 |
| | 蓬田村建設課 | 課 長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-31-0075 |
| | 蓬田村税務課 | 課 長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2114 |
| | 蓬田村住民課 | 課 長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2112 |
| | 蓬田村健康福祉課 | 課 長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2113 |
| | 蓬田村出納室 | 会 計 管理者 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2111 |
| 5号 教育長 | 蓬田村教育委員会 | 教育長 | 蓬田村大字郷沢字浜田 136-76 | 0174-31-3111 |
| 6号 青森地域広域事務 組合消防長、 消防団長 | 青森地域広域事務 組合 | 消防長 | 青森市長島2丁目1-1 | 017-775-0854 |
| | 蓬田村消防団長 | 団 長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2111 |
| 7号 指定公共機関 又は指定地方公 共機関 | 東北電力ネットワ ーク株式会社 青森電力センター | 所 長 | 青森市本町1丁目3-9 | 017-722-0246 |
| | 東日本電信電話株 式会社青森支店 青森災害対策室 | 室 長 | 青森市橋本2丁目1-6 | 017-774-9550 |
| 8号 自主防災組織を 構成する者又は 学識経験のある 者のうちから村 長が任命する者 | 蓬田村連合自治会 | 会 長 副会長 | 蓬田村大字蓬田字汐越 1-3 | 0174-27-2111 |

災害救助法の適用基準

1 適用基準の内容

災害救助法による救助は、市町村単位にその適用地域を指定して実施することとし、同一の原因による市町村の被害が次の各号の一に該当する場合に行うものとする。

- (1) 市町村区域内の滅失した住家の世帯数がそれぞれ次の世帯数以上に達した場合。

| 市町村の区域内の人口 | | 住家が滅失した世帯数 |
|------------|-----------|------------|
| | 5,000 人未満 | 30 世帯 |
| 5,000 人以上 | 15,000 " | 40 " |
| 15,000 " | 30,000 " | 50 " |
| 30,000 " | 50,000 " | 60 " |
| 50,000 " | 100,000 " | 80 " |
| 100,000 " | 300,000 " | 100 " |
| 300,000 " | | 150 " |

- (2) 市町村の区域内の住家の滅失した世帯が (1) の基準に達しないが、青森県の区域内の滅失世帯数が 1,500 世帯以上に達し、市町村の区域内の滅失世帯数がそれぞれ次の世帯数以上に達した場合。

| 市町村の区域内の人口 | | 住家が滅失した世帯数 |
|------------|-----------|------------|
| | 5,000 人未満 | 15 世帯 |
| 5,000 人以上 | 15,000 " | 20 " |
| 15,000 " | 30,000 " | 25 " |
| 30,000 " | 50,000 " | 30 " |
| 50,000 " | 100,000 " | 40 " |
| 100,000 " | 300,000 " | 50 " |
| 300,000 " | | 75 " |

- (3) 滅失世帯数が (1) 又は (2) の基準に達しないが、青森県の区域内の滅失世帯数が 7,000 世帯以上に達し、市町村の区域内においてその市町村の救護活動に任せられない程度の多数の世帯の住家が滅失した場合。
- (4) 災害が隔絶した地域に発生したものである等、災害にかかった者の救護を著しく困難とする特別の事情がある場合であって、その市町村の救護活動に任せられない程度の住家が滅失した場合。

滅失世帯算定基準

| 区 分 | 算定基準 |
|------------|--------|
| 全壊・全焼・流失世帯 | 1 世帯 |
| 半壊・半焼 | 1/2 世帯 |
| 床上浸水・土砂堆積 | 1/3 世帯 |

2 被害程度の認定基準

| 種 類 | 統 一 基 準 |
|------------------------|--|
| 死 者 | 当該災害が原因で死亡し、死体を確認した者又は死体を確認することができないが、死亡したことが確実な者とする。 |
| 行方不明者 | 当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いがあるものとする。 |
| 重 傷 者 軽 傷 者 | 災害のため負傷し、医師の治療を受け、又は受ける必要のある者のうち、「重傷者」とは1カ月以上の治療を要する見込みの者とし、「軽傷者」とは1カ月未満で治癒できる見込みの者とする。 |
| 住 家 | 現実に住家のため使用している建物をいい、社会通念上の住家であるかは問わない。 |
| 非 住 家 | 住家以外の建築物をいうものとする。なお、官公署、学校、病院、公民館、神社仏閣等は非住家とする。ただし、これらの施設に、常時人が居住している場合には当該部分は住家とする。 |
| 住家全壊 (全 焼) (全流失) | 住家がその居住のための基本的機能を喪失したもの、すなわち、住家全部が倒壊、流失、埋没、焼失したもの、または住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもので、具体的には、住家の損壊、焼失もしくは流失した部分の床面積がその住家の延床面積の70%以上に達した程度のもまたは住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上に達した程度のものとする。 |
| 住家半壊 (半 焼) | 住家がその居住のための基本的機能の一部を喪失したもの、すなわち、住家の損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに再使用できる程度のもので、具体的には、損壊部分はその住家の延床面積の20%以上70%未満のもの、または住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の構成割合が20%以上50%未満のものとする。 |
| 床上浸水 | 浸水がその住家の床上以上に達した程度のもの。 |
| 床下浸水 | 浸水がその住家の床上以上に達しない程度のもの。 |
| 一部破損 | 住み家の損壊程度が半壊に達しない程度のもの。 |

「災害救助法による救助の程度、方法及び期間」 早見表

平成 25 年内閣府告示第 228 号より

| 救助の種類 | 対 象 | 費用の限度額 | 期 間 | 備 考 | | | | | |
|-----------------------|---|---|-----------------|---|--------|--------|--------|--------------|--------|
| 避難所の設置 | 災害により現に被害を受け、または受けるおそれのある者を収容する。 | (基本額) 避難所設置費 1人1日当たり 320円以内 (加算額) 冬期別に定める額を加算 高齢者等の要援護者等を収容する「福祉避難所」を設置した場合、当該地域における通常の実費を支出でき、上記を超える額を加算できる。 | 災害発生の日から7日以内 | 1 費用は、避難所の設置、維持及び管理ための賃金職員等雇用費、消耗機材費、建物等の使用謝金、借上費又は購入費、光熱水費並びに仮設便所等の設置費を含む。 2 避難に当たっての輸送費は別途計上 | | | | | |
| 応急仮設住宅の供与 | 住家が全壊または流失し、住家がない者であって、自らの資力では住宅を得ることができない者 | 1 規格 1戸当たり 平均 29.7㎡ (9坪) を基準とする。 2 限度額 1戸当たり 2,660,000円以内 3 同一敷地内等に概ね50戸以上設置した場合は、集会等に利用するための施設を設置できる。 (規模、費用は別に定めるところによる) | 災害発生の日から20日以内着工 | 1 平均1戸当たり 29.7㎡、2,660,000円以内であればよい。 2 高齢者等の要援護者等を数人以上収容する「福祉仮設住宅」を設置できる。 3 供与期間 完成の日から建築基準法(昭和25年法律第201号)第85条第3項または第4項に規定する期限までとすること。 | | | | | |
| 炊出しその他の食品の給与 | 1 避難所に収容された者 2 全半壊(焼)流失、床上浸水で炊事できない者 | 1人1日当たり 1,110円以内 | 災害発生の日から7日以内 | 食品給与のための総経費を延給食日数で除した金額が限度額以内であればよい。 (1食は1/3日) | | | | | |
| 飲料水の供給 | 現に飲料水を得ることができない者(飲料水及び炊事のための水であること。) | 当該地域における通常の実費 | 災害発生の日から7日以内 | 輸送費、人件費は別途計上 | | | | | |
| 被服、寝具その他生活必需品の給与または貸与 | 全半焼(焼)、流失、床上浸水等により、生活上必要な被服、寝具、その他生活必需品を喪失、または毀損し、直ちに日常生活を営むことが困難な者 | 1 夏期(4月～9月)冬期(10月～3月)の季別は災害発生の日をもって決定する。 2 下記金額の範囲内 | 災害発生の日から10日以内 | 1 備蓄物資の価格は年度当初の評価額 2 現物給付に限ること | | | | | |
| | | 区分 | 1人世帯 | 2人世帯 | 3人世帯 | 4人世帯 | 5人世帯 | 6人以上1人増す毎に加算 | |
| | | 全壊 全焼 流失 | 夏 | 18,400 | 23,700 | 34,900 | 41,800 | 53,000 | 7,800 |
| | | | 冬 | 30,400 | 39,500 | 55,000 | 64,300 | 80,900 | 11,000 |
| 半壊 半焼 床上浸水 | 夏 | 6,000 | 8,000 | 12,100 | 14,700 | 18,600 | 2,600 | | |
| | 冬 | 9,800 | 12,700 | 18,000 | 21,400 | 27,000 | 3,500 | | |

| 救助の種類 | 対 象 | 費用の限度額 | 期 間 | 備 考 |
|-------------|---|---|--|---|
| 医 療 | 医療の途を失った者 (応急的処置) | 1 救護班…使用した薬剤、治療材料、医療器具破損等の実費 2 病院または診療所…国民健康保険診療報酬の額以内 3 施術者 協定料金の額以内 | 災害発生の日から 14日以内 | 患者等の移送費は、別途計上 |
| 助 産 | 災害発生の日以前または以後7日以内に分べんした者であって災害のため助産の途を失った者(出産のみならず、死産及び流産を含み現に助産を要する状態にある者) | 1 救護班等による場合は、使用した衛生材料等の実費 2 助産師による場合は、慣行料金の2割引以内の額 | 分べんした日から 7日以内 | 妊婦等の移送費は、別途計上 |
| 被災者の救出 | 1 現に生命、身体が危険な状態にある者 2 生死不明な状態にある者 | 当該地域における通常の実費 | 災害発生の日から 3日以内 | 1 期間内に生死が明らかにならない場合は、以後「死体の捜索」として取り扱う。 2 輸送費、人夫賃は、別途計上 |
| 被災した住宅の応急処理 | 住家が半壊(焼)し、自らの資力により応急修理をすることができない者 | 居室、炊事場及び便所等日常生活に必要な最小限の部分 1 世帯当たり 576,000円以内 | 災害発生の日から 1ヶ月以内 | |
| 生業に必要な資金の貸与 | 住家が全壊、全焼または流失し、災害のため生業の手段を失った世帯 | 生業を営むために必要な機械、器具又は資材を購入するための費用に充てるものであって、生業の見込みが確実な具体的事業計画があり、償還能力のある者に対して貸与するもの 生業費 1件当たり 3,000円 就職支度費 1件当たり 15,000円 | 災害発生の日から 1ヶ月以内 | 生業に必要な資金の貸与 貸与期間2年以内 利子 無利子 |
| 学用品の給与 | 住家の全壊(焼)、流失、半壊(焼)または床上浸水等により、学用品を喪失又は損傷し、就学上支障のある小学校児童(義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部の児童を含む。)及び中学校生徒(義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部の生徒を含む。) | 1 教科書及び教科書以外の教材で教育委員会に届出またはその承認を受けて使用している教材実費 2 文房具及び通学用品は、次の金額以内 小学校児童 1人当たり 4,300円 中学校生徒 1人当たり 4,600円 | 災害発生の日から(教科書) 1ヶ月以内 (文房具及び通学用品) 15日以内 | 1 備蓄物資は評価額 2 入進学時の場合は個々の実情に応じて支給する。 |
| 埋葬 | 災害の際死亡した者を対象に埋葬を実施する者に支給 | 1 体当たり 大人(12歳以上) 210,400円以内 小人(12歳未満) 168,300円以内 | 災害発生の日から 10日以内 | 災害の発生の日以前に死亡した者であっても対象となる。 |

| 救助の種類 | 対 象 | 費用の限度額 | 期 間 | 備 考 |
|--|--|--|-------------------|--|
| 死体の捜索及び処理 | 行方不明の状態にあり、かつ、四囲の事情によりすでに死亡していると推定される者 | 当該地域における通常の実費 | 災害発生の日から10日以内 | 1 輸送費、人件費は別途計上 2 災害発生後3日を経過したものは一応死亡した者と推定している。 |
| 死体の処理 | 災害の際死亡した者について、死体に関する処理（埋葬を除く。）をする。 | (洗浄、消毒等) 1 体当たり 3,400円以内 一時保存 既存建物借上費 通常の実費 既存建物外 1 体当たり 5,300円以内 検案 救護班以外は慣行料金 | 災害発生の日から10日以内 | 1 検案は原則として救護班 2 輸送費、人件費は、別途計上 3 死体の一時保存にドライアイスの購入費等が必要な場合は当該地域における通常の実費を加算できる。 |
| 災害によって住居またはその周辺に運ばれた土石、竹木等で、日常生活に著しい支障を及ぼしているものの除去 | 居室、炊事場、玄関等に障害物が運びこまれているため生活に支障をきたしている場合で除去することのできない者 | 1 世帯当たり 134,800円以内 | 災害発生の日から10日以内 | |
| 輸送費及び賃金職員等雇上費 | 1 被災者の避難 2 医療及び助産 3 被災者の救出 4 飲料水の供給 5 死体の捜索 6 死体の処理 7 救済用物資の整理配分 | 当該地域における通常の実費 | 救助の実施が認められる期間以内 | |
| | 範囲 | 費用の限度額 | 期間 | 備考 |
| 実費弁償 | 1 災害救助法施行令第4条第1号から第4号までに規定する者 2 災害救助法施行令第4条第5号から第10号までに規定する者 | 1 法第7条第1項の規定により救助に関する業務に従事させた都道府県知事の統括する都道府県の常勤の職員で当該業務に従事した者に相当するものの給与を考慮して定める。 2 業者のその地域における慣行料金による支出実績に手数料としてその3/100の額を加算した額以内とする。 | 救助の実施が認められている期間以内 | 時間外勤務手当、旅費 職種ごとに、イに定める日当額を基礎とし、常勤職員との均衡を考慮して算定した額以内 |

※ この基準によっては救助の適切な実施が困難な場合は、都道府県知事は、厚生労働大臣に協議し、その同意を得た上で、救助の程度、方法及び期間を定めることができる。

青森県消防相互応援協定

(目的)

第1条 この協定は、消防組織法（昭和22年法律第226号。以下「法」という。）第39条の規定に基づき、青森県内（以下「県内」という。）において大規模な災害等が発生した場合に、県内の応援隊（以下「応援隊」という。）を編成し、相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することを目的として、県内の市町村及び消防事務に関する一部事務組合（以下「市町村等」という。）の消防相互応援について必要な事項を定める。

(対象災害)

第2条 この協定は、次に掲げる災害のうち応援活動を必要とするものを対象とする。

- (1) 大規模な地震又は風水害等の自然災害
- (2) 林野火災、高層建築物火災又は危険物施設等の大規模な火災
- (3) 武力攻撃による災害
- (4) 放射性物質、生物剤又は化学剤による災害
- (5) 航空機、船舶又は列車事故等の集団救急救助事故
- (6) 前各号に掲げるもののほか、火災等の災害又は救急救助業務を必要とする事故のうち応援が必要と判断されるもの。

(応援及び区域)

第3条 この協定に基づく消防の応援は、法第9条に規定する消防機関によるものとし、応援の区域は県内全域とする。

ただし、消防団の応援については、地域の実情に応じて行い、その出動については消防長又は消防署長の命令によるものとし、この協定は経費負担に関する事項を除き、適用しない。

(地域ブロックの区分及び代表消防機関等)

第4条 この協定の区域は、次に掲げる地域ブロックに区分する。

- (1) 青森地域ブロック
青森地域広域事務組合消防本部管内、北部上北広域事務組合消防本部管内、
下北地域広域行政事務組合消防本部管内
- (2) 弘前地域ブロック
弘前地区消防事務組合消防本部管内、五所川原地区消防事務組合消防本部管内、
つがる市消防本部管内、鱒ヶ沢地区消防事務組合消防本部管内
- (3) 八戸地域ブロック
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部管内、十和田地域広域事務組合消防本部
管内、三沢市消防本部管内、中部上北広域事業組合消防本部管内

2 この協定による相互応援を円滑に実施するため、代表消防機関、代表消防機関代行及び地域ブロック代表消防機関を次のとおり定める。

なお、代表消防機関が被災等によりその任務を遂行できない場合においては、代表消防機関代行がその任務を代行するものとする。

- (1) 代表消防機関
青森地域広域事務組合消防本部
- (2) 代表消防機関代行
ア 弘前地区消防事務組合消防本部
イ 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部
- (3) 地域ブロック代表消防機関
ア 青森地域ブロック：青森地域広域事務組合消防本部
イ 弘前地域ブロック：弘前地区消防事務組合消防本部
ウ 八戸地域ブロック：八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

(応援隊の登録)

第5条 各市町村等は、応援出動が可能な消防隊等をあらかじめ登録するものとする。

(報告及び連絡調整等)

第6条 第2条に規定する災害が発生した市町村等の長は、代表消防機関及び県防災消防課に対して災害の状況について報告し、消防応援活動に関する必要な連絡調整及び支援等を求めるものとする。

(応援要請)

第7条 この協定に基づく応援要請は、第2条に規定する災害が発生した被災地の市町村等の長（以下「受援側の長」という。）が、当該被災地の市町村等の消防力を考慮して消防の応援が必要であると判断した場合は、次に掲げる区分により、他の市町村等の長（以下「応援側の長」という。）に対し、代表消防機関を通じて、応援要請を行うものとする。

- (1) 第1要請
同一地域ブロック内の市町村等に対する応援要請
- (2) 第2要請
他地域ブロックの市町村等に対する応援要請
- (3) 第3要請
県内全域の市町村等に対する応援要請

- 2 代表消防機関は、前項に規定する応援要請があった場合には、県防災消防課に対して必要な事項を報告するとともに、受援側の長と応援隊編成等の調整を行うものとする。
- 3 応援側の長は、第2条に規定する災害が発生したことが明らかな場合において、受援側の長と連絡が取れないとき又は第1項の要請を待ついとまがないと認められるときは、同項の要請を待たず応援隊等を出動させることができる。
- 4 前項の規定により応援を行おうとする応援側の長は、属する地域ブロック代表消防機関及び代表消防機関と応援出動に関する必要な事項について、十分な連絡調整を行った後に出動するものとする。

(応援出動準備体制)

第8条 各市町村等は、災害の規模に照らし出動が予想される場合には、速やかに管内の被害状況を確認後、応援隊としての出動の可否を代表消防機関及び地域ブロック代表消防機関に報告するとともに、出動の準備を行う。

(応援隊の派遣等)

第9条 応援要請を受けた応援側の長は、応援側の市町村等の消防力に支障が生じるなど特別な理由がない場合のほか、応援隊を出動させるものとする。

- 2 応援側の長は、第7条の規定により、応援隊を派遣する場合、属する地域ブロック代表消防機関を通じて代表消防機関に対して、出動隊数、出動隊員数、無線の呼称等必要な事項について、報告するものとする。
- 3 代表消防機関の長は、応援隊の派遣が決定した場合は、速やかに受援側の長に対してその旨を連絡し、併せて県防災消防課に報告するものとする。
- 4 県防災消防課は応援隊の派遣が決定した場合には、災害の概要、応援隊派遣規模等を消防庁へ報告するものとする。
- 5 応援側の長は、応援隊を派遣することができない場合は、その旨を速やかに属する地域ブロック代表消防機関を通じて代表消防機関に報告するものとする。

(先遣隊の派遣)

第10条 先遣隊は、後続する応援隊の円滑な活動に資する情報の収集及び提供を行うことを任務とし、応援隊出動決定後、原則として受援側の長の属する消防本部へ迅速に先遣出動するものとする。

(応援隊の指揮)

第11条 応援出動した応援隊は、法第47条の規定に基づき受援側の長の指揮の下に行動するものとする。

(指揮体制)

第12条 県大隊長は代表消防機関の職員をもってこれに充てる。県大隊長は原則として被災地消防本部において、受援側の長の指揮の下、応援隊を統括し活動の管理を行うものとする。

- 2 地域ブロック代表消防機関の指揮隊長又は、県大隊長から指名された消防機関の指揮隊長は、受援側の長の指揮の下、県大隊長の管理の下で応援隊の活動の指揮を行うものとする。

(応援隊の引揚げ)

第13条 受援側の長は、応援隊の活動報告及び市町村災害対策本部の調整結果等を総合的に勘案し、当該市町村の区域内における応援隊の活動終了を判断するものとし、県大隊長、代表消防機関及び県防災消防課に電話及びファクシミリ等により速やかに連絡するものとする。

(経費の負担)

第14条 応援に要した経費については、法令等に定めのある場合を除き、次によるものとする。

(1) 受援側の負担

- ア 現地における車両及び機械器具の燃料費
- イ 宿泊費及び食糧費
- ウ 化学消火薬剤等の資機材費
- エ 現場活動中に第三者に与えた損害の賠償費等
ただし、応援側の重大な過失等に基づく損害賠償に要する経費は除く。

(2) 応援側の負担

- ア 車両及び機械器具の燃料費（現地における補給燃料を除く。）
- イ 車両及び機械器具の修理費
- ウ 旅費及び出動手当等の人件費
- エ 公務災害補償に要する経費
- オ 受援側との間の移動中、第三者に与えた損害の賠償費等

(3) 前2号以外に係る経費は、当事者間において協議し、決定するものとする。

(4) 経費負担について、疑義が生じた場合は、関係する市町村等において協議の上、決定するものとする。

(5) 応援側の長は、受援側の負担とされる経費を受援側の長に直接請求するものとする。

(他協定との関係)

第15条 この協定は、市町村等の長が、法第39条に基づき締結している消防の相互応援に関する他の協定を妨げるものではない。

(連絡会議)

第16条 協定事務の円滑な推進を図るため、消防機関及び県防災消防課において連絡会議を開催することができる。

なお、連絡会議は概ね次に掲げる事項について行うものとする。

- (1) 消防相互応援に関すること。
- (2) 市町村等の消防現勢、消防事象、特殊災害の資料等の交換に関すること。
- (3) 市町村等間の消防訓練に関すること。
- (4) 警防技術に関すること。
- (5) 消防用資機材の開発及び研究資料の交換等に関すること。
- (6) その他必要な事項

(委任)

第17条 この協定の実施に関し必要な事項は、各消防本部の消防長が協議決定するものとする。

(協定市町村等の変更に伴う取扱い)

第18条 市町村の合併、消防の広域化等により協定市町村等に変更が生じた場合、当該

変更後に消防を継承した協定市町村等については、特段の申出がない限り、この協定を引き続き締結しているものとして取り扱うものとする。

(疑義の協議)

第19条 この協定に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、その都度、協定市町村等の長が協議の上、決定するものとする。

この協定を証するため本書49通を作成し、記名押印の上、各1通を保有するものとする。

附 則

1 この協定は、平成28年3月1日から施行する。

2 平成5年2月25日締結の「青森県消防相互応援協定」は、平成28年2月29日付けをもって廃止する。

青森県消防相互応援協定の運用

目次

- 第1章 総則
- 第2章 応援等要請
- 第3章 県内応援隊の編成
- 第4章 応援等出動
- 第5章 応援等指揮活動
- 第6章 活動終了及び報告
- 第7章 その他

第1章 総則

(目的)

第1条 この運用は、消防組織法（昭和22年法律第226号。以下「法」という。）第39条の規定に基づき、青森県内（以下「県内」という。）の市町村及び消防事務に関する一部事務組合（以下「市町村等」という。）による青森県消防相互応援協定（以下「応援協定」という。）に基づく応援について、必要な事項を定めることを目的とする。

(対象災害)

第2条 この運用は、次に掲げる災害のうち応援活動を必要とするものを対象とする。

- (1) 大規模な地震又は風水害等の自然災害
- (2) 林野火災、高層建築物火災又は危険物施設等の大規模な火災
- (3) 武力攻撃による災害
- (4) 放射性物質、生物剤又は化学剤による災害
- (5) 航空機、船舶又は列車事故等の集団救急救助事故
- (6) 前各号に掲げるもののほか、火災等の災害又は救急救助業務を必要とする事故のうち応援が必要と判断されるもの。

(応援及び区域等)

第3条 応援協定に基づく消防の応援は、法第9条に規定する消防機関によるものとし、青森県消防相互応援隊（以下「県内応援隊」という。）の応援の区域は県内全域とする。

ただし、消防団の応援については、地域の実情に応じて行い、その出動については消防長又は消防署長の命令によるものとし、この運用は適用しない。

(地域ブロックの区分及び代表消防機関等)

第4条 この運用における区域は、次に掲げる地域ブロックに区分する。

- (1) 青森地域ブロック
青森地域広域事務組合消防本部管内、北部上北広域事務組合消防本部管内、
下北地域広域行政事務組合消防本部管内
- (2) 弘前地域ブロック

弘前地区消防事務組合消防本部管内、五所川原地区消防事務組合消防本部管内、つがる市消防本部管内、鱒ヶ沢地区消防事務組合消防本部管内

(3) 八戸地域ブロック

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部管内、十和田地域広域事務組合消防本部管内、三沢市消防本部管内、中部上北広域事業組合消防本部管内

2 この運用による相互応援を円滑に実施するため、代表消防機関、代表消防機関代行及び地域ブロック代表消防機関を次のとおり定める。

(1) 代表消防機関

青森地域広域事務組合消防本部

(2) 代表消防機関代行

ア 弘前地区消防事務組合消防本部

イ 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

(3) 地域ブロック代表消防機関

ア 青森地域ブロック：青森地域広域事務組合消防本部

イ 弘前地域ブロック：弘前地区消防事務組合消防本部

ウ 八戸地域ブロック：八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

(連絡体制)

第5条 応援等出動に係る連絡体制は、次に掲げるとおりとする。

(1) 応援等出動時における各消防本部の連絡先は、別表第1のとおりとする。

(2) 連絡方法は、原則として有線電話、有線FAX（これと併せて電子メールも可能とする。）及び防災情報ネットワーク等を活用するものとする。

なお、各種様式による連絡は、原則として防災情報ネットワークを最優先とし、次いで有線FAXとする。

(3) (2)に記載のある各種様式の各消防本部からの連絡は、県及び地域ブロック代表消防機関へ、地域ブロック代表消防機関は、地域ブロック内を取りまとめて代表消防機関へ報告するものとする。（以下「各種報告手順」という。）

(県内応援隊の登録)

第6条 各市町村等は、法第45条第4項に基づき緊急消防援助隊として登録している隊と同一の隊をあらかじめ県内応援隊とする。（緊急消防援助隊青森県大隊応援等実施計画別表のとおり）ただし、災害の状況等により、登録隊以外の隊の出動は可能とする。

第2章 応援等要請

(応援要請)

第7条 この運用に基づく応援要請は、第2条に規定する災害が発生した被災地の市町村等の長（以下「受援側の長」という。）が、当該被災地の市町村等の消防力を考慮して消防の応援が必要であると判断した場合は、次に掲げる区分により、他の市町村等の長（以下「応援側の長」という。）に対し、代表消防機関を通じて応援要請を行うものとする。

(1) 第1要請

同一地域ブロック内の市町村等に対する応援要請

(2) 第2要請

他地域ブロックの市町村等に対する応援要請

(3) 第3要請

県内全域の市町村等に対する応援要請

- 2 前項に規定する応援要請は、応援が必要である旨を直ちに電話等（災害時有線通信、防災情報ネットワーク、衛星携帯電話、その他災害時に有効な通信を行える手段を含む。）により直接代表消防機関に行うものとし、次の各号に掲げる事項が明らかになり次第電話等により報告するものとする。詳細な災害の状況及び応援等に必要な隊の種別、規模等の青森県消防相互応援隊の応援等要請（別記様式1）による報告は、これらを把握した段階で、防災情報ネットワーク又は有線FAX（これと併せて電子メールも可能とする。）にて速やかに行うものとする。（別記様式1）
 - (1) 災害の状況
 - (2) 活動を要望する地域及び要望する活動
 - (3) 必要な県内応援隊
 - (4) その他参考となるべき事項
- 3 代表消防機関は、第1項に規定する応援要請があった場合には、県に対して必要な事項を報告するとともに、受援側の長と応援隊編成等の調整を行うものとする。
- 4 応援側の長は、第2条に規定する災害が発生したことが明らかな場合において、受援側の長と連絡が取れないとき又は第1項の要請を待つかまがないと認められるときは、同項の要請を待たず応援隊等を出動させることができる。
- 5 前項の規定により応援を行おうとする応援側の長は、属する地域ブロック代表消防機関及び代表消防機関と応援出動に関する必要な事項について、十分な連絡調整を行うものとする。
- 6 前2項の規定による応援を行うことが想定される状況において、代表消防機関は応援出動に関する必要な情報の収集のため、県又は受援側の長の属する消防本部に職員を派遣することができるものとする。

（出動準備及び出動可能隊数の報告）

第8条 出動準備及び出動可能隊数報告を行う対象は、第2条のうち応援活動を必要とする災害に加えて、次の各号に掲げる場合とする。

- (1) 県内で震度6弱以上の地震が発生した場合
 - (2) 県内に大津波警報が発表された場合
- 2 代表消防機関は、第7条の応援要請を受けた場合、応援側の長に対し、出動可能隊数報告及び出動準備依頼（別記様式2-1）により、出動可能隊数について報告を求めるものとする。
 - 3 第1項各号に掲げる災害が発生した場合、応援側の長は、出動可能隊数・出動隊数の報告（別記様式2-2）により、各種報告手順のとおり報告するとともに、出動準備を行うものとする。
 - 4 応援側の長は、応援側の市町村等の災害発生状況及び各種気象警報等の状況を勘案し、消防力が維持できる範囲で、出動可能隊数・出動隊数の報告（別記様式2-2）により、各種報告手順のとおり報告するとともに、出動準備を行うものとする。

第3章 県内応援隊の編成

(県内応援隊の編成)

第9条 県内応援隊は、県大隊長及び機能別の中隊又は小隊若しくは地域ブロックごとの中隊等で構成し、出動可能隊数及び災害規模を勘案のうえ、受援側の長の意見等を総合的に判断し、代表消防機関がその編成を行う。

- 2 代表消防機関は県内応援隊の編成が決定した場合、青森県消防相互応援隊の出動の求め(別記様式3-1)により、応援側の長に出動を求めるものとする。
- 3 代表消防機関は県内応援隊の編成が決定した場合、速やかに青森県消防相互応援隊の応援等決定通知(別記様式3-2)により、受援消防機関及び県に連絡するものとする。

(先遣隊の編成)

第10条 先遣隊は、後続する県内応援隊の円滑な活動に資する情報の収集及び提供を行うことを任務とし、その編成は、原則として代表消防機関の指揮隊、消火小隊、救助小隊、救急小隊等の中から必要とする隊をもって編成するものとする。

- 2 先遣隊指揮隊長は県大隊長を兼ねることができるものとする。

(集結場所)

第11条 代表消防機関は、受援消防機関と調整し、被災地の市町村における県内応援隊の集結場所(以下「県内応援隊集結場所」という。)を決定し地域ブロック代表消防機関を通じ応援側消防機関に連絡するものとする。

なお、被災地での県内応援隊集結場所の選定が困難な場合は、隣接する市町村へ県内応援隊集結場所を設けることができるものとする。その場合、県内応援隊集結場所を管轄する消防機関と調整するものとする。

- 2 地域ブロック代表消防機関は、被災地までの道路状況等を勘案して地域ブロックの集結場所(以下「地域ブロック集結場所」という。)を決定し、ブロック内消防機関に連絡するものとする。

なお、ブロック内に受援市町村が存する場合は、県内応援隊集結場所と同一箇所に決定することを妨げないものとする。

- 3 県内応援隊は地域ブロックごとに地域ブロック集結場所に集結後、県内応援隊集結場所に進出するものとする。

第4章 応援等出動

(県内応援隊の出動等)

第12条 応援要請を受けた応援側の長は、応援側の市町村等の消防力に支障が生じるなどの特別な理由がない場合は、県内応援隊を出動させるものとする。

- 2 応援側の長は、応援隊を出動させたときは、出動隊数を出動可能隊数・出動隊数の報告(別記様式2-2)、陸上部隊出動車両及び名簿一覧(別記様式2-3)により各種報告手順のとおり報告するものとする。
- 3 代表消防機関は、県内応援隊が出動した場合は、速やかに受援消防機関に対して青森県消防相互応援隊の出動隊数通知(別記様式3-3)により連絡し、あわせて県に報告

するものとする。

- 4 県は県内応援隊の出動が決定した場合には、消防庁に対して別記様式2-2により出動隊数を報告するものとする。
- 5 応援側の長は、県内応援隊を出動させることができない場合は、その旨を速やかに属する地域ブロック代表消防機関を通じて代表消防機関に報告するものとする。

(高速自動車国道等の通行)

第13条 高速自動車国道及び自動車専用道路（以下「高速道路」という。）の通行については、次のとおり行うものとする。

- (1) 被災地への出動途上等で緊急走行を行う場合は、料金所一般レーンにて、消防活動のため出動中である旨口頭で伝達すること。
- (2) 緊急走行以外は、高速道路の料金所において、料金所係員に対し、「出動先から所属消防機関へ帰署する活動」である旨口頭で伝えるとともに、必要に応じ公務従事車両証明書を提出すること。（令和3年1月15日付け消防救第8号「消防活動のため使用する車両の高速道路通行料金の取扱いに係る協定等について」及び令和3年2月25日県事務連絡「消防活動のため使用する車両の青森県道路公社所管有料道路通行時の取扱いについて」参照）

(代表消防機関等の任務)

第14条 代表消防機関、代表消防機関代行及び地域ブロック代表消防機関の任務は次のとおりとする。

- (1) 代表消防機関
 - ア 県内消防機関の統括
 - イ 応援協定における活動の全体調整
 - ウ 応援要請に係る連絡調整、後方支援活動及び県との連絡調整
 - エ 県内応援の受援の支援
 - オ その他必要な事項に関する事。
- (2) 代表消防機関代行は、代表消防機関が被災等により、その任務を遂行できない場合において、前項の任務を代行するものとする。
- (3) 地域ブロック代表消防機関
 - ア 地域ブロック内の消防機関の統括
 - イ 後方支援活動及び代表消防機関等との連絡調整
 - ウ その他必要な事項に関する事。

(県内応援隊到着時の報告)

第15条 県内応援隊は県内応援隊集結場所に到着後、県大隊長に対し、速やかに次に掲げる事項を報告するものとする。

- (1) 応援消防本部名及び各小隊長等の職氏名
 - (2) 県内応援隊の種別及び隊数並びに資機材
- 2 県大隊長は前項の報告を受け、その取りまとめを受援側の長に報告後、次に掲げる事項を確認するとともに、必要な指示を受けるものとする。
- (1) 被害状況

- (2) 活動方針
 - (3) 活動地域及び任務
 - (4) 安全管理に関する体制
 - (5) 使用無線系統
 - (6) 地理及び水利の状況
 - (7) 燃料補給場所
 - (8) その他活動上必要な事項
- 3 県は、代表消防機関及び受援側の長と連絡調整のうえ、青森県〇〇災害に係る青森県消防相互応援隊連絡体制（別記様式4）を作成し、情報提供するものとする。

第5章 応援等指揮活動

（県内応援隊の指揮）

第16条 県大隊長は、法第47条の規定に基づき受援側の長の指揮の下に行動するものとする。

（指揮体制）

第17条 県大隊長は代表消防機関の職員をもってこれに充てる。県大隊長は原則として被災地消防本部において、受援側の長の指揮の下、県内応援隊を統括し活動の管理を行うものとする。

2 県大隊長は、県内応援隊の活動の管理を行うため、現場活動を統括する指揮者を指名することができるものとする。

（青森県消防相互応援本部の設置）

第18条 県大隊長は、受援消防機関に県大隊長を本部長とする青森県消防相互応援本部（以下「県内応援本部」という。）を設置するものとする。

2 県内応援本部は、次に掲げる事務をつかさどるものとする。

- (1) 県内応援隊の活動管理に関すること。
- (2) 隊員の安全管理に関すること。
- (3) 県内応援隊の後方支援に関すること。
- (4) 被害状況及び県大隊の活動に係る記録に関すること。
- (5) 被災地消防本部、消防団及び県内応援隊との活動調整に関すること。
- (6) 緊急消防援助隊の受援の支援に関すること。
- (7) 他の都道府県大隊との調整に関すること。
- (8) その他必要な事項に関すること。

3 県大隊長は、緊急消防援助隊指揮支援本部と連絡を密にし、情報収集及び情報提供を行うものとする。

4 県大隊長は、災害の状況により必要があるときは、安全管理担当要員（小隊）を配置するなど、安全管理の徹底を図るものとする。

第6章 活動終了及び報告

(活動報告)

第19条 県大隊長は、活動概要等について適宜報告するものとする。なお、報告については青森県消防相互応援隊活動報告(日報)(別記様式5)により、受援側の長へ報告するものとする。

- 2 受援側の長は、県内応援隊からの活動報告書(日報)をとりまとめ、県へ報告するものとする。

(応援隊の引揚げ決定)

第20条 受援側の長は、県内応援隊の活動報告及び市町村災害対策本部の調整結果等を総合的に勘案し、当該市町村の区域内における応援隊の活動終了を判断した場合には、青森県消防相互応援隊引揚げ決定通知(別記様式6-1)により県大隊長、代表消防機関及び県へ速やかに連絡するものとする。

- 2 前項の報告を受けた代表消防機関は、青森県消防相互応援隊引揚げ決定通知(別記様式6-2)により応援側の長に対して、速やかに連絡するものとする。

(応援隊引揚げ時の報告)

第21条 県大隊長は、受援側の長から引揚げの指示があった場合、次に掲げる事項を報告し、引揚げるものとする。

- (1) 県内応援隊の活動概要
- (2) 隊員の負傷の有無
- (3) 車両、機械器具の損傷及び活動中の異常の有無

(帰署後の報告)

第22条 県内応援側の長は、応援隊が帰署(所)したときは、速やかに応援活動の概要を青森県消防相互応援隊活動報告書(別記様式7-1、7-2及び7-3)により、受援側の長、県及び代表消防機関へ報告するものとする。

(経費の請求)

第23条 応援側の長が応援に要した経費を請求するときは、応援経費請求書(別記様式8)により、行うものとする。ただし、受援側から別途書式等の指定があった場合には、この限りではない。

第7章 その他

(協議)

第24条 この運用に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、その都度協議して決定する。

附 則

この運用は、平成28年3月1日から施行する。

附 則

この運用は、令和4年3月9日から施行する。

災害時における青森県市町村相互応援に関する協定

(趣旨)

第1条 この協定は、青森県内で一の市町村では対応困難な災害（自然災害のほか、原子力災害、テロ災害等の特殊災害などを含む。以下同じ。）が発生した場合における県による応援調整及び県内市町村による被災市町村の応援に関し必要な事項を定めるものとする。

(応援調整)

第2条 市町村は、青森県内で災害が発生した場合において、他の市町村等からの応援が必要であると認めるときは、第4条に定めるところにより、県に対して応援の要請をすることができる。

2 県は、前項の規定により、被災市町村から応援の要請があったときは、直ちに応援の調整を行うものとする。

(応援要請事項)

第3条 被災市町村は、次に掲げる事項について、県に対して応援の要請をすることができる。

- (1) 応急措置等を行うに当たって必要となる情報の収集及び提供
- (2) 食料、飲料水、日用品等生活必需物資及びその供給に必要な資機材の提供並びにあっせん
- (3) 被災者の救出、医療、防疫及び施設の応急措置等に必要な資機材並びに物資の提供並びにあっせん
- (4) 災害応急活動に必要な車両等の派遣及びあっせん
- (5) 災害応急活動に必要な職員の派遣
- (6) 避難者の受入れ
- (7) 前各号に定めるもののほか、災害時の応急措置活動に関し特に必要な事項

(応援要請及び応援の実施)

第4条 被災市町村は、県に対し次に掲げる事項を明らかにして、口頭により要請を行うとともに、速やかに当該事項を記載した書面を提出するものとする。

- (1) 被害の種類及び状況
- (2) 前条第2号から第4号までに掲げる物の品名、数量等
- (3) 前条第5号に掲げる職員の職種別人員数
- (4) 応援場所及び応援場所への経路
- (5) 応援の期間
- (6) 前各号に掲げるもののほか必要な事項

2 県は、前項の要請を受けた場合には直ちに応援可能な市町村と連絡をとり、応援人員、応援物資等を取りまとめ、被災市町村に応援可能数量等を通知するとともに、応援可能な市町村に対して応援の実施を依頼するものとする。

3 前項の規定による応援の依頼を受けた市町村は、直ちに応援を実施するものとする。この場合において、応援人員、応援物資等の搬送は、原則として当該市町村が行

うものとする。

(自主応援)

第5条 各市町村は、災害が発生したことが明らかな場合において、被災市町村との連絡が取れないとき又は前条第2項の規定による応援の依頼を待つ時間的余裕がないと認めるときは、同条の規定にかかわらず、同項の規定による応援の依頼を待たずに自主的に応援を行うことができる。

2 前項の規定により、応援を行おうとする市町村は、あらかじめ県に応援を実施する旨を通知するものとする。

(応援経費の負担)

第6条 前2条の規定による応援の実施に要した経費の負担については、別段の定めがあるものを除くほか、次に定めるとおりとする。

(1) 応援を実施した市町村が負担する経費

イ 機械器具等の燃料費(補給燃料に係るものを除く。)及び小規模破損の修理費

ロ 応援人員の手当等に関する経費

ハ 応援人員が応援業務により負傷し、疾病に罹患し、又は死亡した場合の災害補償費及び賞じゅつ金

ニ 応援人員の重大な過失により、第三者に与えた損害の賠償費

ホ 応援人員の災害地への出動又は帰路途上において発生した事故に係る損害賠償費

(2) 被災市町村が負担する経費 前号に定める経費以外の経費

2 被災市町村は、前項第2号の経費を支弁する時間的余裕がない場合にあっては、応援を実施した市町村に対し当該経費の一時支払いを要請できる。この場合において、当該経費を負担した市町村は、被災市町村に対し、その償還を請求することができる。

(事務局の設置)

第7条 本協定の運営に関する事務局を青森県危機管理局防災危機管理課に置く。

(平時の取り組み)

第8条 県及び市町村は、本協定に基づく相互応援が迅速かつ的確に実施できるよう、平時から次に掲げる事項を実施するよう努めるものとする。

(1) 災害時に必要な物資の備蓄

(2) 定期的な訓練の実施

(3) その他必要と認める事項

(担当者及び備蓄状況の報告)

第9条 市町村は、毎年度、本協定に係る担当者及び応援物資等の保有状況を事務局に報告するものとする。

2 事務局は、前項の報告を受けたときは、これを取りまとめの上、各市町村へ報告するものとする。

(協議事項)

第10条 この協定に定めのない事項及び疑義の生じた事項については、その都度、協議して定めるものとする。

附 則

- 1 この協定は、平成30年12月6日から施行する。
- 2 平成18年9月29日締結の「大規模災害時の青森県市町村相互応援に関する協定」は廃止する。

この協定を証するため、本協定書41通を作成し、県及び市町村がそれぞれ押印の上、各1通を所持する。

消防団応援協定書

第1条 蓬田村、外ヶ浜町、今別町（以下「隣接町村」という。）消防団は、火災及び風水害が発生したときは、次の各号に基づき相互に応援することを協定する。

第2条 隣接町村における火災を発見したとき、又は火災現場の町村長或いは消防団長より応援のための要請があったときは、直ちに出勤して消火活動にあたるものとする。

第3条 隣接町村において風水害が発生し、災害地の町村長より応援のための要請があったときは、直ちに出勤して災害拡大の防止に努めるものとする。

第4条 第2条及び第3条において、応援を求められた各町村で火災及び風水害が発生し、又は発生のおそれがあるときは、この限りにあらず。

第5条 応援のための出勤に要した経費は、応援した町村の負担とする。

第6条 応援のために出勤した消防団の指揮は、災害地の町村長又は消防団長がこれにあたる。

第7条 本応援協定にかかわらず、管轄消防組合の消防長及び消防署長が指揮をとった場合は、消防組織法第15条第3項により当該指揮者の指揮下に入る。

第8条 本応援協定の有効期間は1カ年とし、その始期において隣接町村持ち回りで協議会を開催するものとする。

ただし、環境等の変化により隣接町村が、情報交換、協定審議の必要性を認めた場合は、協議会を開催することができる。

第9条 本協定書について、疑義の生じた事項又は定めのない事項については、隣接町村が協議してこれを定める。

右協定の証として、本書を5通作成して隣接町村各1通所持するものとする。

平成17年6月6日

今 別 町 長

蓬 田 村 長

外ヶ浜 町 長

3 町村による申し合わせ事項

第2条について

各町村において年々消防力が充実されているので、隣接町村の火災には次により応援出動する。

- 1 蓬田村の火災には、外ヶ浜町（蟹田）消防団第1分団（蟹田）が応援要請する。
- 2 外ヶ浜町（蟹田）の火災には、蓬田村消防団第7分団（広瀬）と外ヶ浜町（平館）消防団第3分団（磯山）と今別町消防団第6分団（二股）が応援出動する。
- 3 外ヶ浜町（平館）の火災には、外ヶ浜町（蟹田）消防団第4分団（塩越）と今別町消防団第12分団（奥平部）が応援出動する。
- 4 今別町の火災には、外ヶ浜町（平館）消防団第4分団（元宇田、弥蔵釜、石崎）と外ヶ浜町（蟹田）消防団第11分団（大平）と外ヶ浜町（三厩）消防団第1分団（増川）が応援出動する。
- 5 外ヶ浜町（三厩）の火災には、今別町消防団第3分団（浜名）が応援出動する。

ただし、応援する各町村の良識により1分団の応援では足りないとは判断したときは、この限りにあらず。

第2条及び第3条について

災害現地の各町村長の要請により応援出動する場合の各町村の分団数は、次のとおりとする。

- 1 火災の場合は、各町村の分団数の3分の2以内とする。
- 2 風水害の場合は、各町村の分団数の2分の1以内とする。

※（参考資料）

消防組織法第15条第3項とは

消防本部を置く市町村においては、消防団は、消防長又は消防署長の所轄の下に行動するものとし、消防長又は消防署長の命令があるときは、その区域外においても行動することができる。

消防隊相互応援協定書

第一条 この協定は、消防組織法第二十一条に基づいて、隣接市町村相互の火災による災害の鎮圧に協力し、被害を最小限にいとめ、住民の福祉増進に寄与するために締結する。

第二条 この協定は、左の市町村に適用する。

- 一 青森市
- 二 東津軽郡平内町
- 三 東津軽郡蓬田村

第三条 この協定は、次の条件に基づいて、相互に応援するものとする。

- 一 協定市町村の異常火災を認知し、応援出動の必要を認めた時又は当該地に異常火災が発生して、当該地の消防力をもって鎮圧の見込みがなく要請を受けた時は、ただちに応援出動して消火にあたるものとする。
- 二 応援消防隊が到着前に鎮火し、消防活動をしなかった場合であっても、この協定書に基づく応援に出動したものとする。
- 三 火災拡大のうれいがあり、更に応援を必要とするにいたったときは、要請により場合によっては破かい消防隊を出動させるものとする。
- 四 応援を要請した市町村は、被災市街又は部落人口に必ず案内者を派遣し、応援消防隊の活動に支障をきたさないよう措置するものとする。
- 五 応援出動したときの指揮は、災害地の市町村長又は消防長（消防本部を設置していない町村は消防団長）があたるものとする。

第四条 この協定の有効期間は一ヶ年とする。ただし、期間満了前、協定市町村から何らの意思表示がない場合は更に一ヶ年を継続し、その後もこの例による。

第五条 全各条に規定しない事項その他については疑義が生じたときは、協定市町村協議の上決定する。

第六条 この協定書を加除訂正しようとするときは、協定市町村協議の上でなければならない。

第七条 この相互応援協定は、昭和三十七年十二月十二日から施行する。

以上協定の証として本協定書参通を作成し、各自記名押印の上各一通を保管するものとする。

昭和三十七年十二月十二日

| | | | | |
|----------|---|---|---|----|
| 青森市長 | 横 | 山 | 実 | |
| 東津軽郡平内町長 | | 船 | 橋 | 茂 |
| 東津軽郡蓬田村長 | | 坂 | 本 | 大博 |

水道災害相互応援協定

(相互応援)

第1条 市町村は、非常災害の発生により水道施設に被害を受けた場合の早期復旧と運搬給水等住民に対する飲料水の供給の確保をはかるため必要な措置を講ずるため相互に応援するものとする。

(水道災害救援本部)

第2条 前項の応援事務を迅速かつ適切に行うため青森県水道災害救援本部（以下「救援本部」という。）を設ける。

2 救援本部は、青森県環境生活部生活衛生課内に置く。

ただし、災害が発生した場合は、その災害の態様によって被災現場に置くことができる。第3条 救援本部は、救援本部長及び救援本部員をもって組織する。

2 救援本部長は、青森県環境生活部長とする。

3 救援本部員は、次の各号に掲げる職にある者とする。

- (1) 青森県環境生活部生活衛生課長
- (2) 青森市水道事業管理者
- (3) 弘前市水道部長
- (4) 八戸圏域水道企業団企業長

第4条 救援本部長は、被災市町村の水道災害の救援事務を総理する。

2 救援本部員は、救援本部長の命により当該市町村の責任者と協議し被災現地の水道災害の救援の指揮にあたるものとする。

(応援隊の派遣要請)

第5条 被災市町村の水道災害対策責任者は、救援本部長に対し応援隊の派遣の要請をするときは、電話その他の方法により次の事項を明らかにして行うものとする。

- (1) 災害発生場所及び状況
- (2) 必要とする職員別要人員、機械器具及びその数
- (3) 応援隊及び機械器具等を受領する場所
- (4) その他必要な事項

(応援隊の派遣)

第6条 救援本部本部長は、前条の規定により応援隊の要請を受けたときは、その災害の状況、地域等を考慮してただちに被災現地の指揮者を任命し、又は応援隊の派遣の指示をするものとする。

2 前項の規定により救援本部長から応援隊の派遣の指示を受けた市町村の水道事業責任者は、ただちに応援態勢をととのえ、被災現地の指揮者の応援要請に万難を排して応ずるものとする。

3 前項の規定により応援隊を派遣したときは、ただちにその出発時刻、出動人員、機械器具の数及び予定到着時刻等を被災現場の指揮者に通知するものとする。

(応援に要した費用の負担)

第7条 応援に要した費用については、原則として次の各号の基準によるものとする。
ただし、当該市町村双方の協議によりこれを変更することができる。

- (1) 応援隊の職員の派遣に要した人件費及び旅費並びに機械器具の貸出料は、応援をした市町村の負担とする。
- (2) 応援資材の費用は、消耗的なものに係る費用を除き被応援側の市町村の負担とする。
- (3) 工事及び資材等業者の提供したものに係る費用は、被応援側の市町村の負担とし、その負担に当たっては保掛り等について十分に考慮するものとする。

(事務局)

第8条 救援本部の事務を処理するため、救援本部事務局を置く。

- 2 事務局に、事務局長その他の議員を置き、青森県環境生活部生活衛生課の職員及び日本水道協会青森県支部の職員のうちから救援本部長が委嘱する。
- 3 事務局長は、救援本部長の命を受け、局務を掌理する。

(この規定に定めるもののほか必要な事項)

第9条 この協定に定めるもののほか、必要な事項については、救援本部長が定める。

水道災害相互応援協定細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、水道災害相互応援協定（以下「協定」という。）第9条の規定に基づき水道災害相互応援について必要な事項を定めるものとする。

(水道災害対策の樹立)

第2条 協定第6条第1項の規定に基づき救援本部長から被災現地の指揮を命ぜられた者はただちに被災市町村に直行し、当該水道災害対策責任者と協議して現地の情勢に応じた対策をたてるものとする。

(現地指導技術者としての職員の派遣の要請)

第3条 被災現地の指揮者は、前項の対策を遂行するため必要があると認められるときは、各市町村の水道事業責任者に対し、現地指導技術者として職員の派遣を要請することができる。

(水道事業者及び水道工事事業者に対する救援要請)

第4条 被災現地の指揮は、第2条の対策を遂行するため、あらかじめ登録された水道事業者及び水道工事事業に対して、技術者及び配管技工の救援要請並びに資材、機械器具、運搬給水器具等の現地搬入要請をすることができる。

(応援隊の完全装備)

第5条 協定第6条第2項及びこの細則第3条の規定に基づき応援要請を受けた職員は、完全作業態勢の服装をととのえ、食料、天幕、寝袋（毛布）、電灯、工具一式、その他衣類日用品等を携行するものとする。

第6条 事務局長は、毎年4月及び10月に各市町村の緊急備蓄資材表及び運搬給水器具並びに水道事業者及び工事事業者作業能力調査票を作成し、各市町村に配布するものとする。

2 事務局長は、第3条に規定する現地指導技術者について、あらかじめその名簿を作成して置かなければならない。

(その他の事項)

第7条 この細則に定めるもののほか、必要な事項は、救援本部長が定める。

附 則

この細則は、昭和44年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、昭和57年9月1日から施行する。

青森海上保安部と青森地域広域消防事務組合との業務協定書

海上保安庁と消防庁との間に締結した「海上保安庁の機関と消防機関との業務協定に関する覚書」（昭和43年3月29日）に基づき、船舶の火災について協力し、かつ、円滑に消火活動を行うため、青森海上保安部（以下「海上保安部」という。）と青森地域広域消防事務組合（以下「消防事務組合」という。）との間において、次のとおり協定する。

（協定の区域）

第1条 本協定の区域は、青森港、平舘港及び三厩港港内並びに青森市、蓬田村、平舘村、今別町及び三厩村地先海域（青森港、平舘港及び三厩港港域を除く。）とする。

（消火活動の範囲）

第2条 本協定の区域内の次に掲げる船舶（消防法第2条の「船」を含む。以下同じ。）の消火活動は、消防事務組合の担任とし海上保安部は、これに協力するものとする。

- (1) ふ頭（栈橋、ドルフィンを含む。）又は岸壁に係留された船舶及び上架中の船舶
- (2) 河川における船舶

2 上記以外の船舶の消火活動は、海上保安部の担任とし、消防事務組合は、これに協力するものとする。

（調査）

第3条 船舶の火災の原因並びに火災及び消火活動により受けた損害の調査は、次により行うものとする。

- (1) 前条第1項の船舶の火災の調査は、両者が協力して行う。
- (2) 前条第2項の船舶の火災の調査は、海上保安部が行う。

（情報の交換等）

第4条 海上保安部及び消防事務組合は、法令に定めるもののほか入港船舶の危険物搭載の状況、化学消化剤の備蓄状況等、消火活動上あらかじめ掌握しておくことが必要と認められる資料及び情報について、相互に交換するものとする。

（火災発生の通報）

第5条 海上保安部又は消防事務組合が船舶の火災を知った場合は、相互に直ちに連絡するものとする。

（消化の連絡）

第6条 海上保安部又は消防事務組合が単独で船舶の火災の消化に従事したときは、速やかにその経過を相互に連絡するものとする。

（経費の負担）

第7条 船舶の火災の消火活動に要した経費は、出動した機関がそれぞれ負担する。ただし、特に多額の経費を要した場合における当該特別に要した経費の負担は、その都度両者協議の上、定めるものとする。

（地方防災会議等の活用等）

第8条 大型タンカー等の事故の場合における消火活動を効果的に行うため、海上保安部及び消防事務組合は、地方防災会議等を活用して次の事項につき連絡調整を行うものとする。

- (1) 情報及び資料の交換
- (2) 消化活動要綱の作成
- (3) 必要な器材、器具等の整備計画の作成及びその実施の推進
(火災予防の実施)

第9条 船舶の火災予防に関しては、法の定めるところに従い海上保安部、消防事務組合がそれぞれ実施するものとする。

(合同訓練)

第10条 この協定に基づく消化活動を円滑に実施するため、両者協議の上、所要の合同訓練を行うことができるものとする。

(協議事項)

第11条 この協定書に定めのない事項又は疑義の生じた事項については、両者協議して定めるものとする。

附 則

- 1 この協定は、昭和57年12月1日から実施する。
- 2 「青森海上保安部と青森消防機関との業務協定（昭和44年6月23日）は、廃止する。

昭和57年11月29日

青森海上保安部長

青森地域広域消防事務組合
管理者 青森市長

資 料

(目 次)

【 資 料 】

| | |
|-------------------------|----|
| 消防施設等の整備状況 | 1 |
| 消防ポンプ自動車等整備計画 | 1 |
| 消防水利整備計画 | 2 |
| 防災行政無線 | 2 |
| 消防無線設備 | 2 |
| 各水防倉庫の資機材の備蓄状況 | 3 |
| 水防資機材の整備計画 | 4 |
| 海上災害対策施設・設備等の整備状況 | 4 |
| 海上災害対策施設・設備等の整備計画 | 5 |
| 救助施設・設備等の整備状況 | 5 |
| 救助施設・設備等の整備計画 | 5 |
| 広域防災拠点等の整備状況 | 6 |
| その他施設・設備等の整備状況 | 6 |
| 防災資機材の整備状況 | 7 |
| 防災資機材の整備計画 | 8 |
| 山地災害危険地区 | 9 |
| 砂防事業 | 9 |
| 急傾斜地崩壊危険箇所及び危険区域 | 9 |
| 急傾斜地崩壊危険箇所(自然斜面) | 10 |
| 雪崩危険箇所 | 10 |
| 蓬田村の河川 | 10 |
| 海岸(海岸保全区域) | 11 |
| 農業用ため池 | 11 |
| 道路注意箇所 | 12 |
| 自主防災組織一覧表 | 12 |
| 指定避難所等一覧表 | 13 |
| 指定避難所等位置図 | 16 |
| 蓬田村の文化財 | 21 |
| 土砂災害警戒区域等一覧 | 21 |
| 炊き出しの実施場所 | 22 |
| 炊き出しの協力団体 | 22 |
| 副食、調味料等の調達先及び調達可能数量等一覧表 | 22 |
| 建築技術者 | 24 |
| 障害物の除去に要する資機材等の現有状況一覧表 | 24 |
| 生活必需品の調達先等一覧表 | 24 |
| 医療機関一覧表 | 25 |
| 村所有車両一覧表 | 25 |
| 村所有以外の自動車保有状況一覧表 | 26 |
| 船舶所有状況一覧表 | 26 |
| 緊急通行車両一覧表 | 26 |
| 日赤奉仕団、ボランティア団体等一覧表 | 27 |
| 労務者の宿泊施設予定場所一覧表 | 27 |

| | |
|------------------------|----|
| 村及び業者所有の清掃資機材一覧表 ----- | 28 |
| 学校ごとの代替予定施設一覧表 ----- | 28 |
| 文房具及び通学用品の調達先一覧表 ----- | 28 |
| 教育施設の現況 ----- | 29 |
| 避難指示等の判断・伝達マニュアル ----- | 31 |

〔消防施設等の整備状況〕

令和4年2月現在

| 区分 | 消防吏員数 | 消 防 ポ ン プ | | | | | | | 消防防災広報車 | 消防艇 | 消 火 栓 | 防 火 水 槽 | 耐震性貯水槽 | その他(自然水を含む) | 計 |
|------|-------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|----------|----|---------|-----|-------|---------|--------|-------------|---|
| | | 消自防ポンプ車 | 水ポンプ槽付自動車 | 小型動力ポンプ | はポレンゴ付自動車 | 屈折ポンプ付自動車 | 化学消防ポンプ車 | 計 | | | | | | | |
| 本 団 | 12 | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 第1分団 | 19 | 1 | | 1 | | | | 2 | | 2 | 14 | 2 | 1 | 19 | |
| 第2分団 | 17 | ※1 | | 1 | | | | 2 | | 2 | 9 | 3 | | 14 | |
| 第3分団 | 24 | ※1 | | 1 | | | | 2 | | 4 | 11 | 2 | 1 | 18 | |
| 第4分団 | 13 | ※1 | | 1 | | | | 2 | | 2 | 10 | 1 | 2 | 15 | |
| 第5分団 | 11 | ※1 | | 1 | | | | 2 | | 5 | 11 | 2 | 2 | 20 | |
| 第6分団 | 15 | ※1 | | 1 | | | | 2 | | 4 | 9 | 1 | 3 | 17 | |
| 第7分団 | 16 | 1 | | 1 | | | | 2 | | 3 | 12 | 2 | 2 | 19 | |
| 第8分団 | 13 | ※1 | | 1 | | | | 2 | | 3 | 6 | | 2 | 11 | |
| 計 | 140 | 8 | | 8 | | | | 16 | | 25 | 82 | 13 | 13 | 133 | |

※印は小型動力付積載車

〔消防ポンプ自動車等整備計画〕

令和4年2月現在

| 区分 | 区域名 | 人口 | 全体計画 (3~7年度) | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 備考 |
|------|------|-------|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 第1分団 | 中 沢 | 320 | 消防ポンプ自動車 | | | | | | |
| 第2分団 | 長 科 | 269 | 小型動力付積載車 | | | | | | |
| 第3分団 | 阿弥陀川 | 671 | 小型動力付積載車 | | | | | 1 | |
| 第4分団 | 蓬 田 | 416 | 小型動力付積載車 | | | | 1 | | |
| 第5分団 | 郷 沢 | 280 | 小型動力付積載車 | | | 1 | | | |
| 第6分団 | 瀬辺地 | 294 | 小型動力付積載車 | | 1 | | | | |
| 第7分団 | 広 瀬 | 270 | 消防ポンプ自動車 | | | | | | |
| 第8分団 | 高 根 | 115 | 小型動力付積載車 | 1 | | | | | |
| 計 | | 2,635 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |

※人口は令和4年2月28日現在、阿弥陀川地区についてはぐつと町会、蓬田地区については宮本地区も含む。

〔消防水利整備計画〕

| 区 分 | | 現 有 数 | 年 次 計 画 | | | | | |
|-------------|-------------------------|-------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 全体計画 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
| 消 火 栓 | 公 設 | 25 | | | | | | |
| 防 火 水 槽 | 40m ³ 未満 | 25 | | | | | | |
| | 40～100m ³ 未満 | 70 | 1 | | | | | 1 |
| | 100m ³ 以上 | 0 | | | | | | |
| そ の 他 の 水 利 | | 13 | | | | | | |
| 計 | | 133 | 1 | | | | | 1 |

〔防災行政無線〕

| 所属 | 局種別 | 呼出名称 (呼出符号) | 設置場所 (電話番号) |
|-----|-----|------------------|-------------------------------------|
| 蓬田村 | FX | ぼうさい よもぎたこうほう | 蓬田村ふるさと 総合センター (0174-31-3111) |

| 無線の種類 | 呼出名称 | 台数 | 設置場所 |
|--------|----------|-----|---------------------|
| 固定局 | ぼうさいよもぎた | 1 | 蓬田村ふるさと 総合センター |
| 遠隔制御器 | 〃 | 2 | 蓬田村役場 中央消防署外ヶ浜分署 |
| 屋外拡声子局 | 〃 | 24 | 蓬田村内全域 |
| 戸別受信機 | 〃 | 634 | 蓬田村内全域 |

〔消防無線設備〕

| 分団名 | 無線の種類 | 台数 | 備考 | 分団名 | 無線の種類 | 台数 | 備考 |
|------|----------------|----|-----------------------|------|----------------|----|-----------------------|
| 本 団 | トランシーバー 車載型 | 2 | | 第5分団 | トランシーバー 車載型 | 2 | 屯所連絡先 0174-27-3403 |
| | | 1 | | | | 1 | |
| 第1分団 | トランシーバー 車載型 | 2 | 屯所連絡先 0174-27-3425 | 第6分団 | トランシーバー 車載型 | 2 | 屯所連絡先 0174-27-2714 |
| | | 1 | | | | 1 | |
| 第2分団 | トランシーバー 車載型 | 2 | 屯所連絡先 0174-27-3404 | 第7分団 | トランシーバー 車載型 | 2 | 屯所連絡先 0174-27-3452 |
| | | 1 | | | | 1 | |
| 第3分団 | トランシーバー 車載型 | 2 | 屯所連絡先 0174-27-3405 | 第8分団 | トランシーバー 車載型 | 2 | 屯所連絡先 0174-27-2739 |
| | | 1 | | | | 1 | |
| 第4分団 | トランシーバー 車載型 | 2 | 屯所連絡先 0174-27-3400 | | | | |

[各水防倉庫の資機材の備蓄状況]

令和4年2月現在

| 倉庫名 | 倉庫所在地 | 規模 | 備蓄主要資機材数 | | | | | | | | | | | | | | 管理者 | |
|-------|-------------|------|----------|----|------|----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|--------|--------|-----|------------|
| | | | 土のう袋 | 木材 | スコップ | おの | ペンチ | 掛矢 | 発電機 | ロープ | 鉄線 | とび口 | 救急箱 | 照明具 | 可搬式ポンプ | アルミ防火服 | | 無線・トランシーバー |
| 第1分団 | 中沢字浪返4 | 蓬田村内 | 200 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 10 | 4 | 1 | 1 | 1 | 15 | 3 | 各地区分団長 |
| 第2分団 | 長科字鶴喰1-1 | 〃 | 200 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 10 | 4 | 1 | 1 | 1 | 15 | 3 | 〃 |
| 第3分団 | 阿弥陀川字汐干75-4 | | 200 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 10 | 4 | 1 | 1 | 1 | 15 | 3 | 〃 |
| 第4分団 | 蓬田字汐越119 | | 200 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 10 | 4 | 1 | 1 | 1 | 15 | 3 | 〃 |
| 第5分団 | 郷沢字浜田22-2 | | 200 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 10 | 4 | 1 | 1 | 1 | 15 | 3 | 〃 |
| 第6分団 | 瀬辺地字田浦57付近 | | 200 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 10 | 4 | 1 | 1 | 1 | 15 | 3 | 〃 |
| 第7分団 | 広瀬字坂元639 | | 200 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 10 | 4 | 1 | 1 | 1 | 12 | 3 | 〃 |
| 第8分団 | 広瀬字高根223-8 | | 200 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 10 | 4 | 1 | 1 | 1 | 9 | 3 | 〃 |
| 蓬田村役場 | 蓬田字汐越1-3 | | 200 | 30 | 5 | | 1 | 1 | 5 | 1 | 10 | | 1 | 2 | | | 4 | 総務課長 |

注) 数量の単位：ロープは丸、鉄線についてはkgとする。

[水防資機材の整備計画]

令和4年2月現在

| 倉庫名 | 倉庫所在地 | 資機材名 | | | | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|-------|-------------|------|-----|------|------|-----|----|----|----|-----|-----|------|------|----|-----|----|-----|--------|------|
| | | 掛矢 | 杉丸太 | のこぎり | ハンマー | ロープ | 木材 | くわ | おの | 発電機 | 照明具 | スコップ | 土のう袋 | 鉄線 | 救急箱 | | シート | ドライバー等 | ツルハシ |
| 第1分団 | 中沢字浪返4 | | 5 | 1 | 1 | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | | | | 5 | 1 | 1 | |
| 第2分団 | 長科字鶴蝮1-1 | | 5 | 1 | 1 | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | | | | 5 | 1 | 1 | |
| 第3分団 | 阿弥陀川字汐干75-4 | | 5 | 1 | 1 | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | | | | 5 | 1 | 1 | |
| 第4分団 | 蓬田字汐越119 | | 5 | 1 | 1 | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | | | | 5 | 1 | 1 | |
| 第5分団 | 郷沢字浜田22-2 | | 5 | 1 | 1 | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | | | | 5 | 1 | 1 | |
| 第6分団 | 瀬辺地字田浦57付近 | | 5 | 1 | 1 | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | | | | 5 | 1 | 1 | |
| 第7分団 | 広瀬字坂元639 | | 5 | 1 | 1 | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | | | | 5 | 1 | 1 | |
| 第8分団 | 広瀬字高根223-8 | | 5 | 1 | 1 | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | | | | 5 | 1 | 1 | |
| 蓬田村役場 | 蓬田字汐越1-3 | | 10 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 2 | 50 | | | 5 | | 1 | |

注) 数量の単位：ロープは丸、鉄線についてはkgとする。

[海上災害対策施設・設備等の整備状況]

ア 流出油防除資機材

令和4年2月現在

| 区分 | 油処理剤 (㍑) | 油吸着剤 (kg) | 油吸着マット (枚) | オイルフェンス (m) | 備考 |
|-----|----------|-----------|------------|-------------|----|
| 蓬田村 | | | 50 | | |

イ 海上火災等対策用船舶

令和3年11月現在

| 区分 | 消防艇 (隻) | 救難艇 (隻) | 油回収船 (隻) | オイルフェンス展張船 (隻) | その他の船舶 (隻) | 合計 (隻) |
|----|---------|---------|----------|----------------|------------|--------|
| — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

[海上災害対策施設・設備等の整備計画]

| 区分 | 油処理剤 (ℓ) | 油吸着剤 (kg) | 油吸着マット (枚) | オイルフェンス (m) | 備考 |
|-----|----------|-----------|------------|-------------|----|
| 蓬田村 | 50 | 50 | 500 | 100 | |

[救助施設・設備等の整備状況]

令和4年2月現在

| 区分 | 一般救助器具 | | 重量物排除用器具 | 切断用器具 | その他の救助用具 |
|-----|--------|-----|----------|--------|---------------------------------|
| | 三連はしご | 平担架 | 油圧ジャッキ | 鉄線カッター | 投光器 携帯拡声器 無線機 応急処置用セット |
| 蓬田村 | 8 | 8 | 5 | 8 | 1 3 8 9 |

[救助施設・設備等の整備計画]

| 区分 | 一般救助器具 | 切断用器具 | 破壊用器具 | 水難救助用具 | その他の救助用具 |
|-----|----------|-------|-------------|--------|----------|
| | 空気式救助マット | チェンソー | 万能斧 ハンマー | 救命衣 | 応急処置用セット |
| 蓬田村 | 2 | 3 | 3 3 | 8 | 1 |

[広域防災拠点等の整備状況]

令和4年2月現在

| 施設等名 | 所在地 | 連絡先 | 宿営可能人員 | 物資等収容スペース | 利用可能な設備の状況 | 備考 |
|------------------|-------------------|--------------|--------|--------------------|------------|------------|
| 蓬田村ふるさと総合センター | 蓬田村大字郷沢字浜田 136-76 | 0174-31-3111 | 20人 | 150 m ² | 電話・給水・炊飯等 | 要員等活動拠点 |
| ふれあいセンターよもぎ温泉 | 蓬田村大字郷沢字浜田 136-4 | 0174-27-2170 | 60人 | 0 m ² | 電話・給水等 | 要員等仮宿泊施設 |
| 蓬田村中央公民館 | 蓬田村大字蓬田字汐越 37 | 0174-31-3111 | 0人 | 175 m ² | 電話・給水・炊飯等 | 物資保管施設兼避難所 |
| 蓬田村農業者トレーニングセンター | 蓬田村大字蓬田字宮本 41-11 | 0174-27-3010 | 20人 | 175 m ² | 電話・給水等 | 物資保管施設兼避難所 |
| 蓬田村役場格納庫 | 蓬田村大字蓬田字汐越 49-2 | 0174-27-2111 | 0人 | 175 m ² | 応急用資機材等 | 応急用資機材保管庫 |

※なお、蓬田村役場格納庫については蓬田村中央公民館及び蓬田村農業者トレーニングセンターで対応しきれない場合に使用する。

[その他施設・設備等の整備状況]

令和4年2月現在

| 区 分 | トラック | ダンプトラック | ブルドーザー | トラクター | ショベル | パワーショベル | ショベルローダー | ホイールローダー | ログローダー | モーターグレーダ | ロータリー車 | ローラ | スクレーパー | ホイールタイプトラクター | 浮ダレ | トレローラ | リフト車 | 作業車 | パネル橋 | 締固機械 |
|-----|------|---------|--------|-------|------|---------|----------|----------|--------|----------|--------|-----|--------|--------------|-----|-------|------|-----|------|------|
| 蓬田村 | 台 | 台 | 台 | 台 | 台 | 台 | 6台 | 台 | 台 | 1台 | 2台 | 台 | 台 | 台 | 台 | 台 | 台 | 台 | 台 | 台 |

[防災資機材の整備状況]

令和4年2月現在

| 資機材名 | 単位 | 数 量 | | | | | | | | |
|------------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------------|
| | | 第1分団 | 第2分団 | 第3分団 | 第4分団 | 第5分団 | 第6分団 | 第7分団 | 第8分団 | 蓬田村 役 場 |
| スコップ | 丁 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| 斧 | 丁 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| ペンチ | 丁 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 土のう袋 | 袋 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 |
| 照明器具 | 基 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ロープ | 丸 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 鉄線 | Kg | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 無線機 | 基 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| トランシーバー | 着 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| とび口 | 丁 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 0 |
| 救急箱 | 箱 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 発電機 | 基 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| アルミ防火服 | 枚 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 12 | 9 | 0 |
| ドライバースセット | 箱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 杉丸太 | 本 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 木材 | 本 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 |
| 掛矢 | 本 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| のこぎり | 本 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| ハンマー | 本 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| シート類 | 枚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 可搬式ポンプ B3・D1級 | 基 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| その他 | | | | | | | | | | |

[防災資機材の整備計画]

令和4年2月現在

| 資機材名 | 単位 | 数 量 | | | | | | | | 蓬田村 役 場 |
|------------------|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------------|
| | | 第1分団 | 第2分団 | 第3分団 | 第4分団 | 第5分団 | 第6分団 | 第7分団 | 第8分団 | |
| スコップ | 丁 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 斧 | 丁 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| ペンチ | 丁 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 土のう袋 | 袋 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| 照明器具 | 基 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ロープ | 丸 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 鉄線 | Kg | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 無線機 | 基 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| トランシーバー | 着 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| とび口 | 丁 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 救急箱 | 箱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 発電機 | 基 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| アルミ防火服 | 枚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ドライバースセット | 箱 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 杉丸太 | 本 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 10 |
| 木材 | 本 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| 掛矢 | 本 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| のこぎり | 本 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ハンマー | 本 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| シート類 | 枚 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 可搬式ポンプ B3・D1級 | 基 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | | | | | | | | | | |

[山地災害危険地区]

(7) 崩壊土砂流出危険地

a 国有林

(資料：東北森林管理局)

| 番号 | 位 置 | | | | 直接保全対象施設 | | |
|----------|------|-----|----|-------------|----------|------|------|
| | 郡 | 市町村 | 大字 | 字(班林) | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 |
| 蟹田 18 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 蓬田 | 蓬田山 738~746 | | | 併用林道 |

(イ) 小規模山地崩壊危険地

(資料：青森県農林水産部林政課)

| 番号 | 位 置 | | | | 直接保全対象施設 | | |
|-----------|------|-----|----|-------|----------|------|----|
| | 郡 | 市町村 | 大字 | 字(班林) | 人家戸数 | 公共施設 | 道路 |
| 304-小0001 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 郷沢 | 浜田 | | | 国道 |

[砂防事業]

(7) 砂防指定地

| 整理番号 | 告示月日及び番号 | 溪流名 | 所在地 | 面積等 (m, ha) |
|------|--------------------|-----|------------------|-----------------------------|
| 51 | S32. 11. 13 (1411) | 広瀬川 | 蓬田村大字広瀬字高根 (広瀬山) | 延長 650.0 幅 46.0 面積 2.990 |
| 56 | S34. 10. 6 (1947) | 広瀬川 | 蓬田村大字広瀬字高根 (広瀬山) | 延長 580.0 幅 35.0 面積 2.030 |

(イ) 土石流危険溪流

| 溪流番号 | 溪流名 | | | 所在地 | | 保全対象 | |
|---------|-----|-----|------|-----|----|------|------|
| | 水系名 | 河川名 | 溪流名 | 市町村 | 字 | 人家戸数 | 公共建物 |
| 304-I-1 | 広瀬川 | 広瀬川 | 東高根沢 | 蓬田村 | 高根 | 8 | 1 |

[急傾斜地崩壊危険箇所及び危険区域]

(資料：県土整備部河川砂防課)

| 番号 | 告示年月日 | 告示番号 | 急傾斜地崩壊危険区域指定区域 | 所在地 | | | 面積 (ha) | 摘要 | |
|----|-------------|------|----------------|-----|--------|-------|---------|------|-------|
| | | | | 町村 | 大字 | 字 | | 人家戸数 | 公共的建物 |
| 21 | S56. 12. 24 | 1515 | 瀬辺地 | 蓬田村 | 瀬辺地 | 田浦 | 0.735 | 8 | |
| 30 | S59. 12. 27 | 977 | 広瀬 | 蓬田村 | 瀬辺地・広瀬 | 田浦・坂元 | 0.305 | 7 | |
| 54 | H04. 03. 27 | 217 | 広瀬 (追加) | 蓬田村 | 瀬辺地・広瀬 | 田浦・坂元 | 0.113 | 1 | |

〔急傾斜地崩壊危険箇所（自然斜面）〕

（資料：県土整備部河川砂防課）

| 箇所番号 | 箇所名 | 所在地 | 延長 (m) | 高さ (m) | 角度 (度) | 備考 |
|--------|------|-------------|-----------|-----------|-----------|---------|
| I-127 | 広瀬 | 蓬田村大字広瀬字坂元 | 235 | 25 | 50 | 人家11戸 |
| I-128 | 瀬辺地 | 蓬田村大字瀬辺地字田浦 | 180 | 10 | 45 | 人家8戸 |
| I-1183 | 坂元 | 蓬田村大字広瀬字坂元 | 400 | 20 | 60 | 人家14戸 |
| I-1184 | 山田1号 | 蓬田村大字瀬辺地字山田 | 120 | 10 | 50 | 管理棟・変電所 |
| II-91 | 高根 | 蓬田村大字広瀬字高根 | 30 | 10 | 60 | 人家1戸 |
| II-92 | 山田2号 | 蓬田村大字瀬辺地字山田 | 30 | 6 | 60 | 人家2戸 |
| II-92 | 山田3号 | 蓬田村大字瀬辺地字山田 | 55 | 6 | 45 | 人家1戸 |

〔雪崩危険箇所〕

（資料：県土整備部河川砂防課）

| 番号 | 箇所名 | 位置 | | | 摘要 |
|--------|------|-----|-----|---|------|
| | | 町村 | 大字 | 字 | 人家戸数 |
| I-1002 | 山田1号 | 蓬田村 | 瀬辺地 | | 1 |
| I-132 | 滝沢 | 蓬田村 | 広瀬 | | 14 |
| I-133 | 広瀬 | 蓬田村 | 広瀬 | | 7 |
| I-134 | 高根1号 | 蓬田村 | 広瀬 | | 3 |
| II-45 | 山田2号 | 蓬田村 | 瀬辺地 | | 3 |
| II-46 | 山田3号 | 蓬田村 | 瀬辺地 | | 4 |
| II-47 | 高根2号 | 蓬田村 | 広瀬 | | 1 |

〔蓬田村の河川〕

| 級 | 河川名 | 所在地 | 長さ(m) | 備考 |
|------|-------|---------|-------|----|
| 二級河川 | 阿弥陀川 | 阿弥陀川字汐干 | 4,000 | |
| 〃 | 瀬辺地川 | 瀬辺地字田浦 | 4,500 | |
| 〃 | 小川平川 | 瀬辺地字田浦 | 2,900 | |
| 〃 | 広瀬川 | 広瀬字坂元 | 5,280 | |
| 準用河川 | 中沢川 | 中沢字池田 | 2,845 | |
| 〃 | 蓬田川 | 蓬田字汐越 | 2,850 | |
| 〃 | 板木沢川 | 瀬辺地字山田 | 1,560 | |
| 普通河川 | 長科川 | 長科字鶴蝮 | 300 | |
| 〃 | 浜谷川 | 蓬田字汐越 | 150 | |
| 〃 | 郷沢川 | 郷沢字浜田 | 500 | |
| 〃 | 滝沢川 | 広瀬字滝沢 | 1,200 | |
| 〃 | 関根股沢川 | 広瀬字高根 | 3,600 | |
| 〃 | 西股沢川 | 広瀬字高根 | 3,600 | |
| 〃 | 砂川沢川 | 広瀬字高根 | 2,400 | |

〔海岸（海岸保全区域）〕

（資料：県土整備部河川砂防課）

| 市町村 | 海岸線 | 所管名 | 海岸線延長（m） | 指定済延長（m） |
|-----|-----|--------------------|----------|----------|
| 蓬田村 | 陸奥湾 | 国土交通省（河川局） | 6,713 | 6,713 |
| | | 農林水産庁所管 （農林振興局） | - | - |
| | | 農林水産庁所管 （水産庁） | 3,144 | 1,594 |
| 合 計 | | | 9,857 | 8,307 |

〔農業用ため池〕

（資料：建設課）

| 番号 | ID No | ため池の名称 | 所在地 | 総貯水量 (m ³) | 有効 貯水量 (m ³) | 堤高 (m) | 堤頂長 (m) | かんがい 面積 (ha) |
|----|-----------|--------|-----------|---------------------------|--------------------------------|-----------|------------|--------------------|
| 1 | 023040001 | 山田溜池 | 蓬田村大字瀬辺地 | 7,800 | 6,500 | 1.8 | 87 | 4.0 |
| 2 | 023040002 | 久慈溜池 | 蓬田村大字瀬辺地 | 4,920 | 4,100 | 1.8 | 52 | 1.5 |
| 3 | 023040003 | 上溜池 | 蓬田村大字蓬田 | 10,800 | 9,000 | 2.2 | 23 | 0.0 |
| 4 | 023040004 | 開田4号溜池 | 蓬田村大字阿弥陀川 | 6,000 | 5,000 | 2.0 | 237 | 8.0 |
| 5 | 023040006 | 長科上溜池 | 蓬田村大字長科 | 82,800 | 69,000 | 2.0 | 448 | 0.0 |
| 6 | 023040007 | 開田溜池 | 蓬田村大字中沢 | 22,800 | 19,000 | 2.0 | 516 | 23.0 |
| 7 | 023040008 | 股松溜池 | 蓬田村大字蓬田 | 10,800 | 9,000 | 3.6 | 18 | 23.0 |
| 8 | 023040009 | 木村溜池 | 蓬田村大字瀬辺地 | 8,640 | 7,200 | 2.0 | 50 | 1.0 |
| 9 | 023040010 | 久慈溜池 | 蓬田村大字瀬辺地 | 3,600 | 3,000 | 2.1 | 42 | 1.0 |
| 10 | 023040011 | 開田1号溜池 | 蓬田村大字阿弥陀川 | 5,760 | 4,800 | 2.1 | 171 | 8.0 |
| 11 | 023040012 | 中沢溜池 | 蓬田村大字中沢 | 10,800 | 9,000 | 3.3 | 140 | 91.0 |
| 12 | 023040014 | 太田溜池 | 蓬田村大字瀬辺地 | 1,440 | 1,200 | 2.2 | 31 | 0.0 |
| 13 | 023040015 | 郷沢溜池 | 蓬田村大字郷沢 | 21,600 | 18,000 | 2.7 | 127 | 90.0 |
| 14 | 023040016 | 開田2号溜池 | 蓬田村大字阿弥陀川 | 4,800 | 4,000 | 2.0 | 165 | 10.0 |
| 15 | 023040017 | 長科下溜池 | 蓬田村大字長科 | 67,788 | 56,490 | 3.8 | 277 | 130.0 |
| 16 | 023040019 | 田浦溜池 | 蓬田村大字瀬辺地 | 6,019 | 5,016 | 3.0 | 76 | 2.0 |
| 17 | 023040020 | 板木沢溜池 | 蓬田村大字瀬辺地 | 61,560 | 51,300 | 3.6 | 190 | 16.0 |
| 18 | 023040021 | 下溜池 | 蓬田村大字蓬田 | 9,360 | 7,800 | 3.5 | 100 | 1.3 |
| 19 | 023040022 | 阿弥陀川溜池 | 蓬田村大字阿弥陀川 | 17,640 | 14,700 | 2.7 | 247 | 64.0 |
| 20 | 023040023 | 開田3号溜池 | 蓬田村大字阿弥陀川 | 1,235 | 1,029 | 1.3 | 93 | 5.6 |
| 21 | 023040024 | 中溜池 | 蓬田村大字中沢 | 43,056 | 35,880 | 3.6 | 285 | 80.0 |
| 22 | 023040025 | 下溜池 | 蓬田村大字中沢 | 48,000 | 40,000 | 4.2 | 435 | 60.0 |

[道路注意箇所]

ア 一般国道（県管理区間）

（資料：東青地域県民局）

| 施設 管理番号 | 危険内容 | 路線名 | 距離標 (k m) | 所在地 | 延長 (m) | 点検結果 |
|------------|-------|----------|-----------------|--------|-----------|-------|
| 1280D231 | 雪崩 | 国道 280 号 | 19. 25～19. 49 | 瀬辺地字山田 | 240 | 要対策 |
| 1280D232 | 雪崩 | 国道 280 号 | 21. 81～21. 96 | 広瀬字坂元 | 150 | 要対策 |
| 1280A121 | 落石・崩壊 | 国道 280 号 | 22. 533～22. 622 | 瀬辺地字田浦 | 89 | 要対策 |
| 1280D122 | 落石・崩壊 | 国道 280 号 | 22. 622～22. 73 | 瀬辺地字田浦 | 108 | 要対策 |
| 1280J001 | その他 | 国道 280 号 | 24. 3～24. 6 | 広瀬字坂元 | 300 | カルテ対応 |

[自主防災組織一覧表]

令和 4 年 2 月現在

| 名称 | カバー 世帯数 | 加入者数 | 構成単位 | | | |
|-----------------|------------|--------|------|----|-------------|-----|
| | | | 町内会 | 学区 | 婦人防火 クラブ | その他 |
| 中 沢 自 主 防 災 会 | 127 | 320 | 1 | | | |
| 長科自治会自主防災組織 | 107 | 269 | 1 | | | |
| 阿弥陀川地域自主防災会 | 278 | 671 | 2 | | | |
| 蓬 田 自 主 防 災 会 | 141 | 320 | 1 | | | |
| 宮 本 自 主 防 災 会 | 46 | 96 | 1 | | | |
| 郷 沢 自 主 防 災 会 | 124 | 280 | 1 | | | |
| 瀬 辺 地 自 主 防 災 会 | 143 | 294 | 1 | | | |
| 広瀬自治会自主防災会 | 129 | 270 | 1 | | | |
| 高 根 自 主 防 災 会 | 48 | 115 | 1 | | | |
| 計 | 1, 143 | 2, 635 | 10 | | | |

〔指定避難所等一覧表〕

指定避難所一覧

【屋内】

| 収容地区 | | 番号 | 施設名 | 所在地 | 収容可能人員 | 管理者 | 避難誘導員 | 施設の構造、面積 | 給水・炊飯施設の有無 | | 洪水 | 土砂災害 | 高潮 | 地震 | 津波 | 大規模火災 | 内水氾濫 | |
|---|------|-----|---------------|----------------|--------|----------|-------------|------------------|------------|----|----|------|----|----|----|-------|------|---|
| 地区名 | 地区人口 | | | | | | | | 給水 | 炊飯 | | | | | | | | |
| 中 沢 長 科 阿 弥 陀 川 蓬 田 ぐ っ と 町 会 | 320 | 1 | 中沢公民館 | 中沢字浪返4-1 | 240 | 中沢自治会長 | 中沢自治会長 | 木造2階建 427㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 269 | 蓬田保育園 | 中沢字浪返48-3 | 570 | 保育所園長 | 保育園長 | 木造平屋建 961㎡ | 有 | 有 | | | | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 454 | 新長科自治会公民館 | 長科字浦田43-1 | 360 | 長科自治会長 | 長科自治会長 | 鉄骨平屋建 613.2㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | | 320 | 旧長科自治会公民館 | 長科字川瀬14-2 | 60 | 長科自治会長 | 長科自治会副会長 | 木造2階建 107.25㎡ | 有 | 無 | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| | | 217 | 蓬田小学校 | 阿弥陀川字沙干198-148 | 2,200 | 教育課長 | 小学校長 | 木造2階建 3,880㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 6 | 阿弥陀川公民館 | 阿弥陀川字沙干56-11 | 80 | 阿弥陀川自治会長 | 阿弥陀川自治会長 | 木造平屋建 148㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| | | 7 | よもつと団地集会所 | 阿弥陀川字沙干113-1 | 133 | 総務課長 | ぐ っ と 町 会 長 | 木造平屋建 117.17㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 蓬 田 | 320 | 8 | 中央公民館 | 蓬田字沙越12 | 200 | 教育課長 | 中央公民館長 | 鉄骨2階建 728㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | |
| 宮 本 | 96 | 9 | 蓬田公民館 | 蓬田字沙越37-1 | 130 | 蓬田自治会長 | 蓬田自治会長 | 木造2階建 232㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| 郷 沢 | 280 | 10 | 農業者トレーニングセンター | 蓬田字宮本41-11 | 700 | 教育課長 | 宮本自治会長 | 鉄骨平屋建 1,426㎡ | 有 | 無 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 瀬 辺 地 | 294 | 11 | 蓬田中学校 | 郷沢字浜田138-24 | 2,400 | 教育課長 | 中学校長 | 鉄骨3階建 4,188㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 広 瀬 | 270 | 12 | 郷沢自治会館 | 郷沢字浜田153-11 | 160 | 郷沢自治会長 | 郷沢自治会長 | 木造平屋建 283.8㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | 13 | ふれあいセンター | 郷沢字浜田136-4 | 200 | 取締役社長 | 支配人 | 鉄骨平屋建 1,172㎡ | 有 | 有 | | | | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 14 | 蓬田村いきいき交流館 | 瀬辺地字山田35-84 | 230 | 社会福祉協議会長 | 事務局長 | 鉄骨2階建 398.33㎡ | 有 | 有 | | | | | ○ | | ○ | |
| 郷 沢 | 280 | 15 | ふるさと総合センター | 郷沢字浜田136-76 | 600 | 教育課長 | 教育課長 | 鉄骨2階建 1,971㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 瀬 辺 地 | 294 | 16 | 瀬辺地民生会館 | 瀬辺地字田浦35-2 | 140 | 瀬辺地自治会長 | 瀬辺地自治会長 | 木造平屋建 257.4㎡ | 有 | 有 | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | |
| 広 瀬 | 270 | 17 | 広瀬公民館 | 広瀬字坂元608-1 | 150 | 広瀬自治会長 | 広瀬自治会長 | 木造平屋建 250㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| | | 18 | 文化伝承館 | 広瀬字坂元26-1 | 400 | 教育課長 | 広瀬自治会長 | 木造平屋建 675㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| 高 根 | 115 | 19 | 高根自治会公民館 | 広瀬字坂元672-1 | 180 | 高根自治会長 | 高根自治会長 | 木造平屋建 429㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

指定緊急避難場所

【屋内】

| 収容地区 | 地区名 | 地区人口 | 番号 | 施設名 | 所在地 | 収容可能人員 | 管理者 | 避難誘導員 | 施設の構造、面積 | 給水・炊飯施設の有無 | | 洪水 | 土砂災害 | 高潮 | 地震 | 津波 | 大規模火災 | 内水氾濫 | | | |
|---------------------------------|-----|------|-----|----------|---------------|----------------|--------|----------|---------------|------------------|----|----|------|----|----|----|-------|------|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 給水 | 炊飯 | | | | | | | | | | |
| 中沢 長科 阿弥陀川 蓬田 ぐつと町会 | | | 320 | 1 | 中沢公民館 | 中沢字浪返4-1 | 240 | 中沢自治会長 | 中沢自治会長 | 木造2階建 427㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 269 | 2 | 蓬田保育園 | 中沢字浪返48-3 | 570 | 保育所園長 | 保育園長 | 木造平屋建 961㎡ | 有 | 有 | | | | | ○ | | ○ | ○ | |
| | | | 454 | 3 | 新長科自治会公民館 | 長科字浦田43-1 | 360 | 長科自治会長 | 長科自治会長 | 鉄骨平屋建 613.2㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |
| | | | 320 | 4 | 旧長科自治会公民館 | 長科字川瀬14-2 | 60 | 長科自治会長 | 長科自治会副会長 | 木造2階建 107.25㎡ | 有 | 無 | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| | | | 217 | 5 | 蓬田小学校 | 阿弥陀川字汐干198-148 | 2,200 | 教育課長 | 小学校長 | 木造2階建 3,880㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | 6 | 阿弥陀川公民館 | 阿弥陀川字汐干56-11 | 80 | 阿弥陀川自治会長 | 阿弥陀川自治会長 | 木造平屋建 148㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ |
| | | | | 7 | よもつと団地集会所 | 阿弥陀川字汐干113-1 | 133 | 総務課長 | ぐつと町会長 | 木造平屋建 117.17㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 蓬田 宮本 郷沢 瀬辺地 広瀬 | | | 320 | 8 | 中央公民館 | 蓬田字汐越12 | 200 | 教育課長 | 中央公民館長 | 鉄骨2階建 728㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | 96 | 9 | 蓬田公民館 | 蓬田字汐越37-1 | 130 | 蓬田自治会長 | 蓬田自治会長 | 木造2階建 232㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | 280 | 10 | 農業者トレーニングセンター | 蓬田字宮本41-11 | 700 | 教育課長 | 宮本自治会長 | 鉄骨平屋建 1,426㎡ | 有 | 無 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | 294 | 11 | 蓬田中学校 | 郷沢字浜田138-24 | 2,400 | 教育課長 | 中学校長 | 鉄骨3階建 4,188㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | 270 | 12 | 郷沢自治会館 | 郷沢字浜田153-11 | 160 | 郷沢自治会長 | 郷沢自治会長 | 木造平屋建 283.8㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| | | | | 13 | ふれあいセンター | 郷沢字浜田136-4 | 200 | 取締役社長 | 支配人 | 鉄骨平屋建 1,172㎡ | 有 | 有 | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | 14 | 蓬田村いきいき交流館 | 瀬辺地字山田35-84 | 230 | 社会福祉協議会長 | 事務局長 | 鉄骨2階建 398.33㎡ | 有 | 有 | | | | | | ○ | | ○ | ○ |
| 郷沢 瀬辺地 広瀬 | | | 280 | 15 | ふるさと総合センター | 郷沢字浜田136-76 | 600 | 教育課長 | 教育課長 | 鉄骨2階建 1,971㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 294 | 16 | 瀬辺地民生会館 | 瀬辺地字田浦35-2 | 140 | 瀬辺地自治会長 | 瀬辺地自治会長 | 木造平屋建 257.4㎡ | 有 | 有 | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | 270 | 17 | 広瀬公民館 | 広瀬字坂元608-1 | 150 | 広瀬自治会長 | 広瀬自治会長 | 木造平屋建 250㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | |
| | | | | 18 | 文化伝承館 | 広瀬字坂元26-1 | 400 | 教育課長 | 広瀬自治会長 | 木造平屋建 675㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | |
| 高根 | | 115 | 19 | 高根自治会公民館 | 広瀬字坂元672-1 | 180 | 高根自治会長 | 高根自治会長 | 木造平屋建 429㎡ | 有 | 有 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

指定緊急避難場所

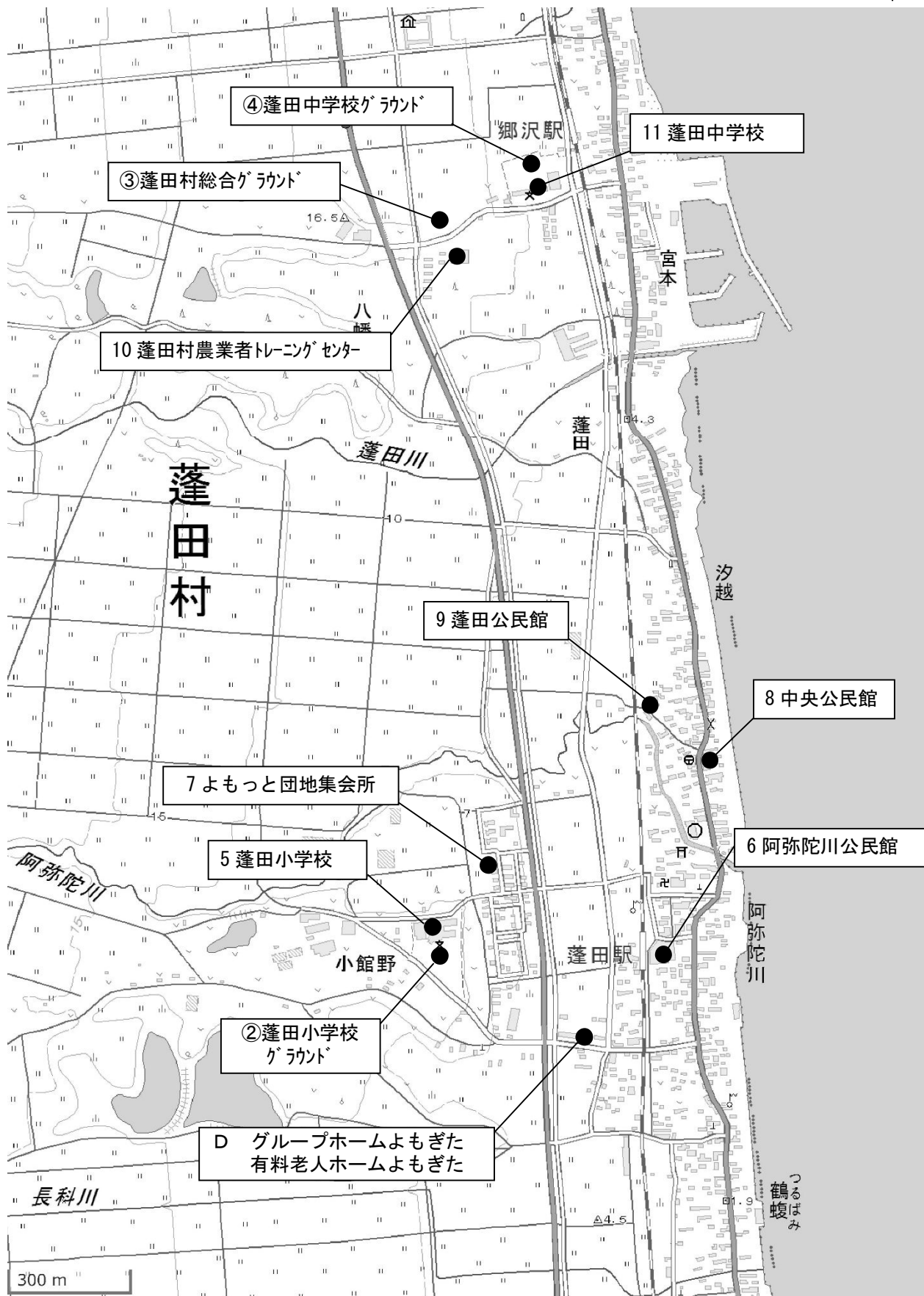
【屋外】

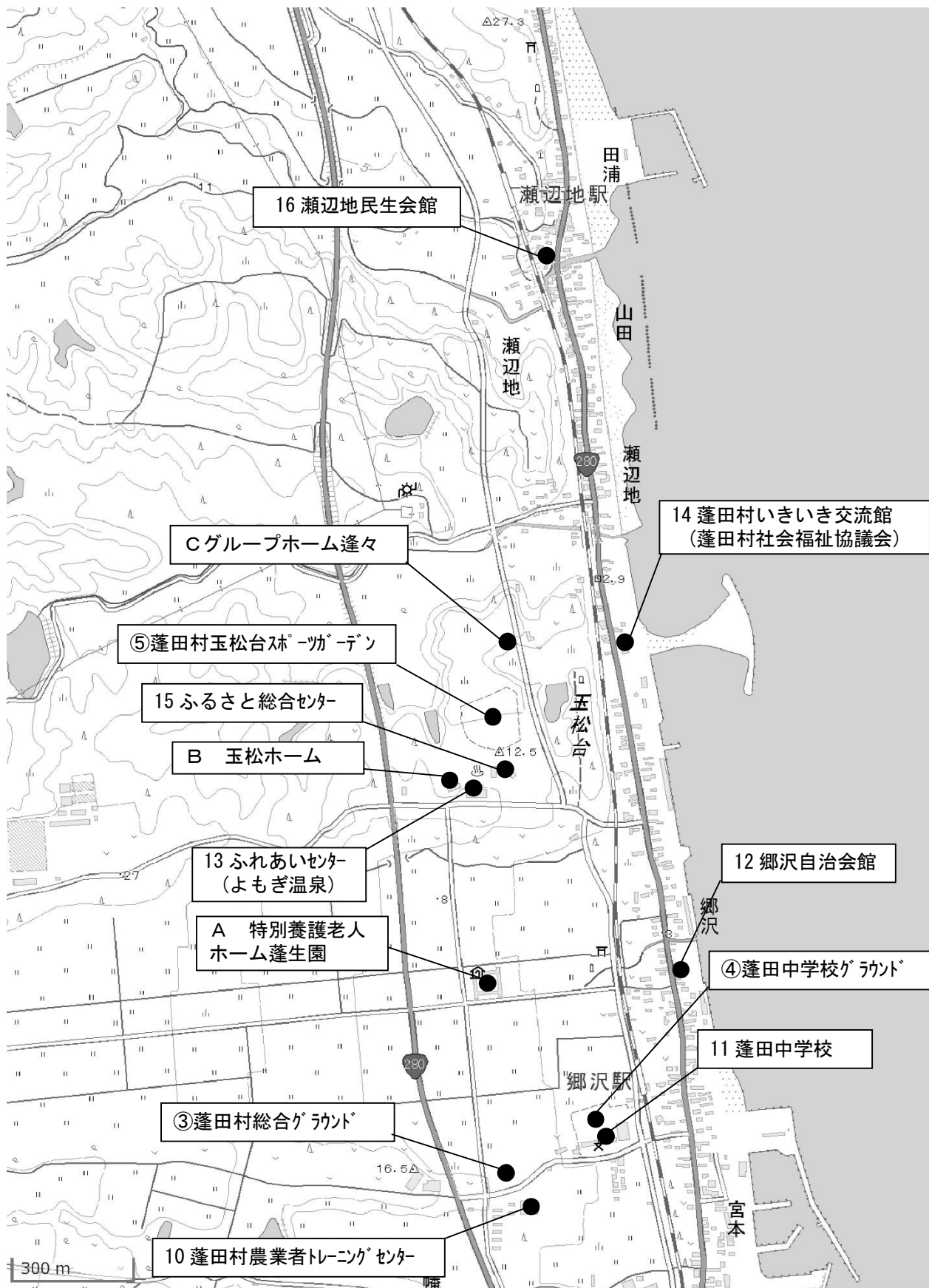
| 施設名 | 所在地 | 面積(㎡) | 洪水 | 土砂災害 | 高潮 | 地震 | 津波 | 大規模火災 | 内水氾濫 |
|-----------------|----------------|--------|----|------|----|----|----|-------|------|
| ①蓬田保育園グラウンド | 長科字浦田38-1、38-3 | 6,500 | | | | ○ | | ○ | |
| ②蓬田小学校グラウンド | 阿弥陀川字汐干198-148 | 8,679 | | | | ○ | ○ | ○ | |
| ③蓬田村総合グラウンド | 郷沢字浜田138-15 | 18,793 | | | | ○ | ○ | ○ | |
| ④蓬田中学校グラウンド | 郷沢字浜田138-24 | 11,094 | | | | ○ | ○ | ○ | |
| ⑤蓬田村玉松台スポーツガーデン | 瀬辺地地内 | 8,100 | | | | ○ | ○ | ○ | |
| ⑥蓬田村文化伝承館前広場 | 広瀬字坂元24 | 2,443 | | | | ○ | | ○ | |
| ⑦高根農村公園広場 | 広瀬字坂元672-1 | 2,300 | | | | ○ | ○ | ○ | |

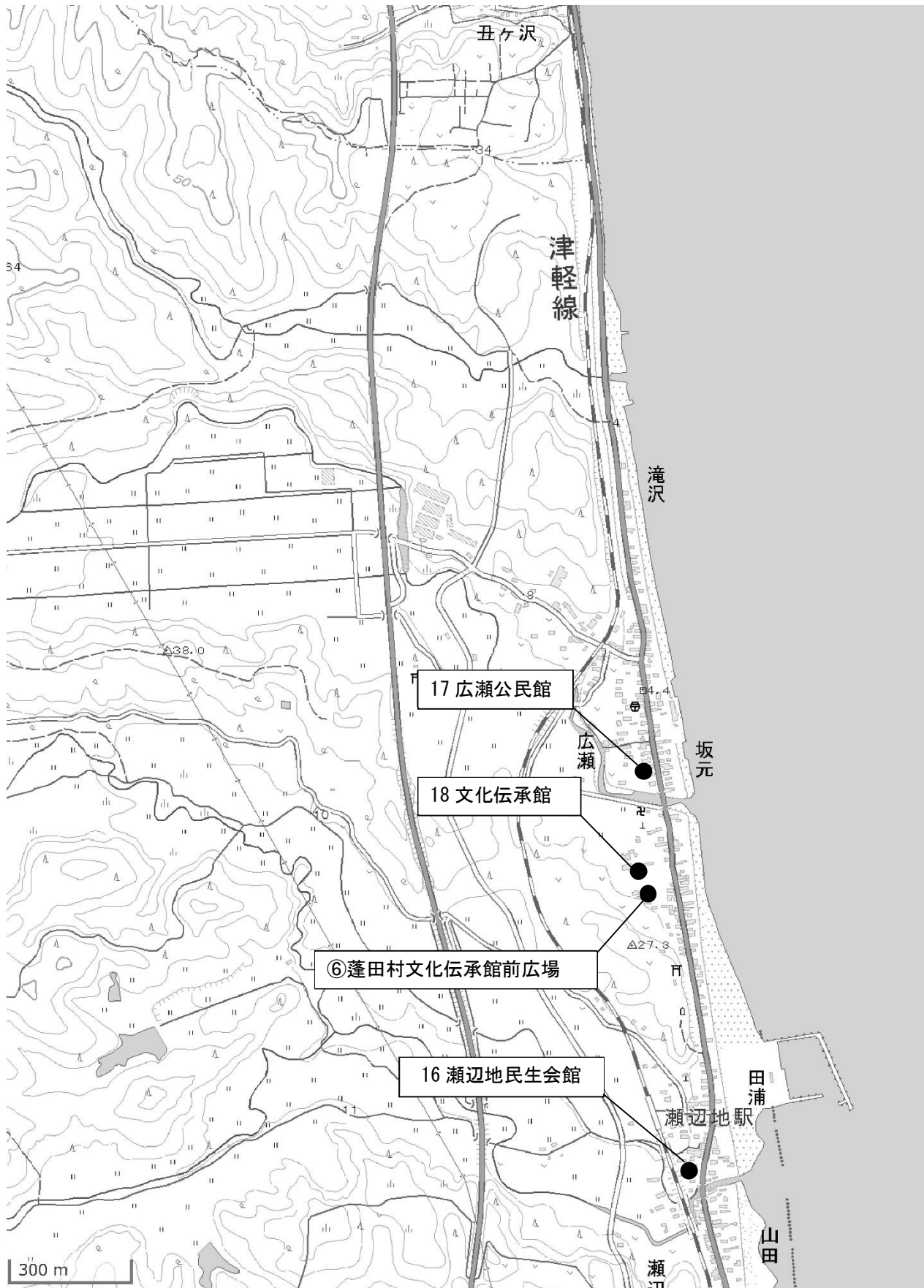
福祉避難所

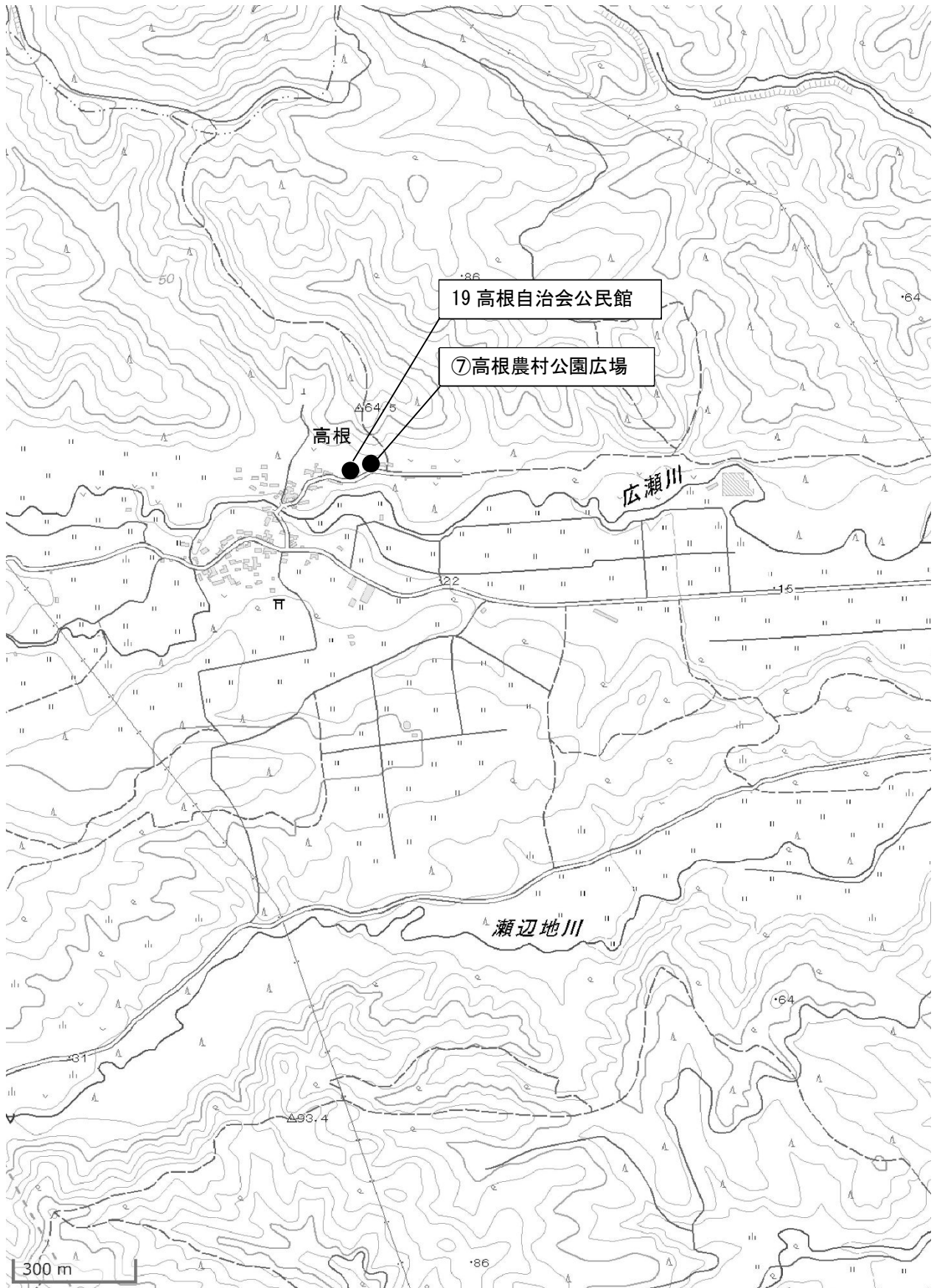
| No. | 協議会の傘下にある法人名 | 受入施設名 | 受入可能人数 | 介護支援者数 | 郵便番号 | 所在地 | 電話番号 |
|-----|----------------|------------------|--------|--------|----------|-------------------|--------------|
| A | 社会福祉法人 わとなーる | 特別養護老人ホーム蓬生園 | 20 | 20 | 030-1203 | 蓬田村大字郷沢字浜田397 | 0174-27-3445 |
| B | 社会福祉法人 緑鳩会 | 社会福祉法人 緑鳩会 玉松ホーム | 5 | 14 | 030-1202 | 蓬田村大字瀬辺地字山田1-65 | 0174-27-2255 |
| C | 有限会社 グループホーム逢々 | グループホーム逢々 | 5 | 16 | 030-1202 | 蓬田村大字瀬辺地字山田1-28 | 0174-31-3890 |
| D | 有限会社 大三 | グループホームよもぎた | 5 | 8 | 030-1212 | 蓬田村大字阿弥陀川字汐干116-1 | 0174-31-3151 |
| | | 有料老人ホームよもぎた | 5 | 9 | 030-1212 | 蓬田村大字阿弥陀川字汐干116-1 | 0174-31-3151 |











[蓬田村の文化財]

県指定文化財一覧

令和4年2月現在

| 名 | 称 | 指 定 年 月 日 | 所 在 地 |
|------|-------|-----------|-----------------------|
| 菩薩坐像 | (円空仏) | 昭 41・1・12 | 蓬田村大字阿弥陀川字汝干 29 (正法院) |

村指定文化財一覧

| 名 | 称 | 指 定 年 月 日 | 所 在 地 |
|----------|---|-----------|--------------------|
| 中沢小学校記念館 | | 昭 60・5・1 | 蓬田村大字中沢 |
| 擦文土器 | | 昭 60・5・1 | 蓬田村大字阿弥陀川(倉谷弘孝氏所有) |
| 玉 松 | | 昭 60・5・1 | 蓬田村大字瀬辺地字山田 |
| 傘 松 | | 昭 60・5・1 | 蓬田村大字中沢字浪返 |

[土砂災害警戒区域等一覧]

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成 12 年、法律第 57 号）
による指定

(県土整備部河川砂防課)

令和4年2月現在

| 告示年月日 | 告示 番号 | 指定区域名 | 所 在 地 | | | | 自然現象の種類 | 区 域 内 の 人 家 | | |
|---------------|----------|----------|-------|-----|-----|----|---------|-------------|----------|-----|
| | | | 郡・市 | 町・村 | 大 字 | 字 | | 警戒区域 戸 数 | うち特別警戒区域 | |
| | | | | | | | | | 有 無 | 戸 数 |
| 平. 22. 12. 20 | 867 | 広瀬 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 広瀬 | 坂元 | 急傾斜地の崩壊 | 14 | 有 | 2 |
| 平. 22. 12. 20 | 867 | 坂元 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 広瀬 | 坂元 | 急傾斜地の崩壊 | 9 | 有 | 0 |
| 平. 22. 12. 20 | 867 | 瀬辺地 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 瀬辺地 | 田浦 | 急傾斜地の崩壊 | 9 | 有 | 0 |
| 平. 22. 12. 20 | 867 | 山田 1 号 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 瀬辺地 | 山田 | 急傾斜地の崩壊 | 0 | 有 | 0 |
| 平. 22. 12. 20 | 867 | 山田 2 号 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 瀬辺地 | 山田 | 急傾斜地の崩壊 | 1 | 有 | 1 |
| 平. 22. 12. 20 | 867 | 山田 3 号 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 瀬辺地 | 山田 | 急傾斜地の崩壊 | 1 | 有 | 1 |
| 平. 22. 12. 20 | 867 | 高根 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 広瀬 | 高根 | 急傾斜地の崩壊 | 1 | 有 | 1 |
| 平. 22. 12. 20 | 867 | 第 1 東高根沢 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 広瀬 | 高根 | 土石流 | 5 | 無 | 0 |
| 平. 22. 12. 20 | 868 | 第 2 東高根沢 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 広瀬 | 高根 | 土石流 | 3 | 無 | 0 |
| 平. 22. 12. 20 | 868 | 第 3 東高根沢 | 東津軽郡 | 蓬田村 | 広瀬 | 高根 | 土石流 | 10 | 無 | 0 |

〔炊き出しの実施場所〕

| 実施場所 | 炊き出し対象区域 | 炊き出し能力 | 器材等の整備状況 | 炊き出し実施班の構成 | 備考 |
|-------------|----------|--------|----------|------------|----|
| 蓬田保育園 | 中沢長科 | 200食 | ガス・食器類 | 福祉関係職員 | |
| 蓬田村学校給食センター | 村内全域 | 1,200食 | 〃 | 教育関係職員 | |
| 蓬田村水産物加工施設 | 阿弥陀川蓬田 | 200食 | 〃 | 産業振興課職員 | |
| ふるさと総合センター | 郷沢瀬辺地 | 200食 | 〃 | 教育関係職員 | |
| 蓬田村文化伝承館 | 広瀬高根 | 200食 | 〃 | 教育関係職員 | |

〔炊き出しの協力団体〕

| 団体名 | 会員数 | 所在地 | 連絡方法 | 備考 |
|-------------|-----|---------------|--------------|----|
| 中沢自主防災会 | 127 | 中沢字浪返 4-1 | 0174-27-3302 | |
| 長科自治会自主防災組織 | 107 | 長科字浦田 43-1 | 0174-27-2931 | |
| 阿弥陀川地域自主防災会 | 278 | 阿弥陀川字汐干 56-11 | 0174-27-2935 | |
| 蓬田自主防災会 | 141 | 蓬田字汐越 37-1 | 0174-27-2451 | |
| 宮本自主防災会 | 46 | 蓬田字宮本 41-120 | 0174-27-2839 | |
| 郷沢自主防災会 | 124 | 郷沢字浜田 153-11 | 0174-27-3982 | |
| 瀬辺地自主防災会 | 143 | 瀬辺地字田浦 35-2 | 0174-27-2767 | |
| 広瀬自治会自主防災会 | 129 | 広瀬字坂元 608-1 | 0174-27-2643 | |
| 高根自主防災会 | 48 | 広瀬字坂元 672-1 | 0174-27-2370 | |
| 蓬田村連合婦人会 | 30 | 蓬田字汐越 84-1 | 0174-27-2220 | |
| 日赤奉仕団 | 39 | 瀬辺地字田浦 2-1 | 0174-27-3211 | |

〔副食、調味料等の調達先及び調達可能数量等一覧表〕

(ア) 弁当、パン、うどん麺類等製造所等

| 製造所名 | 所在地 | 電話番号 | 製造能力 | 備考 |
|----------|-------------|--------------|--------|----|
| マルシェよもぎた | 郷沢字浜田地内 | 0174-31-3040 | 100食/日 | |
| 村の駅よもっと | 阿弥陀川字汐干 106 | 0174-31-3115 | 200食/日 | |
| 和楽寿し | 蓬田字宮本 41-21 | 0174-27-3117 | 50食/日 | |

(イ) インスタント食品調達先

| 調 達 先 | 所 在 地 | 電 話 番 号 | 調 達 可 能 数 量 | | | 備 考 |
|--------------------------|----------------|------------------|-------------|-----------|-----------------------|-----|
| | | | 味 噌 kg | 醬 油 kg | カ ッ プ ラ ー メ ン 個 | |
| ファミリーマート蓬田 ハイハウス店 | 阿弥陀川 字汐干302-45 | 0174 -31-3621 | 10 | 10 | 50 | |
| リカーショップ でいりーkudo | 中沢 字浪返44-10 | 0174 -31-3003 | 10 | 10 | 50 | |
| コメリハード&グリーン 津 軽 蓬 田 店 | 阿弥陀川字汐干119-1 | 0174 -31-3031 | 0 | 0 | 150 | |
| ローソン 蓬田瀬辺地店 | 瀬辺地字山田1-83 | 0174 -27-3616 | 10 | 10 | 50 | |
| 村の駅 よもつと | 阿弥陀川字汐干106 | 0174 -31-3115 | 10 | 10 | 50 | |

(ウ) 調達、供給食料の集積場所

| 施 設 名 | 所 在 地 | 管 理 者 | 電 話 番 号 | 施 設 の 概 況 | 配 分 対 象 区 域 | 備 考 |
|--------------------------|------------|-------|------------------|-----------|---------------------|-----|
| 蓬田村中央 公民館 | 蓬田字汐越 12 | 教育課長 | 0174 -31-3111 | 大会議室等 | 中沢・長科・ 阿弥陀川・蓬田 | |
| 蓬田村農業 者トレーニング センター | 蓬田字宮本41-11 | 教育課長 | 0174 -27-3010 | 体育館等 | 宮本・郷沢・瀬辺 地・広瀬・高根 | |
| 蓬田村役場 格納庫 | 蓬田字汐越49-2 | 総務課長 | 0174 -27-2111 | 倉庫等 | 村内全域 | |

〔建築技術者〕

| 所在地 | 電話番号 | 技術者等 人員数 | 備 考 |
|---------------|--------------|-------------|------------|
| 中沢字池田 24 | 0174-27-2833 | 5 | 三上工務店 |
| 蓬田字汐越 96-1 | 0174-27-2262 | 5 | 小松工務店 |
| 瀬辺地字山田 42-1 | 0174-27-2709 | 5 | 越田建築 |
| 瀬辺地字山田 1-237 | 0174-27-3029 | 5 | 木戸建設 |
| 瀬辺地字田浦 139-41 | 0174-27-3380 | 5 | 株式会社田浦建設 |
| 長科字鶴蝮 10-3 | 0174-27-2066 | 5 | 工藤光建築 |
| 長科字川瀬 31-4 | 0174-27-2438 | 5 | 有限会社小鹿設備工業 |
| 長科字浦田 18-2 | 0174-27-2139 | 5 | 有限会社蓬田建設 |
| 阿弥陀川字汐干 178-3 | 0174-31-3378 | 5 | 株式会社森の風工房 |

〔障害物の除去に要する資機材等の現有状況一覧表〕

| 所有者 | 所在地 | 電話 番号 | 機械器具及び操作員の名称数量等 | | | | | 備考 |
|--------------|-----------------------|------------------|-----------------|------------|------------|------------|---------------------------------|----|
| | | | ショベル ローダー | グレーダ ー | ブルドー ザー | 除雪車 | パワー ショベル | |
| 蓬田村 | 蓬田字汐 越 79-1 | 0174 -27-3106 | 6 台 6 人 | 1 台 1 人 | | 2 台 2 人 | トラック(2t・1.8t) 2 台 | |
| 株式会社 田浦建設 | 瀬辺地字 田浦 139- 41 | 0174 -27-3380 | 1 台 1 人 | | | | クレーン(2.9t) 1台 トラック(4t・2t)2 台 | |
| 有限会社 蓬田建設 | 長科字浦 田 18-2 | 0174 -27-2139 | 2 台 2 人 | | | | トラック(10t・4t) 2 台 | |

〔生活必需品の調達先等一覧表〕

| 品 名 | 調 達 先 | 電話番号 | 調達可能 数量 | 備 考 |
|----------|-------------------------------|--------------|------------|-----------------------|
| 寝 具 | コメリハード & グリーン 津 軽 蓬 田 店 | 0174-31-3031 | 10 | 蓬田村大字阿弥陀川字汐干 119-1 |
| 衣料品(下着等) | 〃 | 〃 | 10 | 〃 |

〔医療機関一覧表〕

| 施設名 | 所在地 | 電話 | 診療科目 | 医療従事者 | | | 病床数 | 施設の状況 | 備考 |
|-------|----------------|------------------|------|-------|-----|-------|-----|------------------|----|
| | | | | 医師 | 看護師 | (助産師) | | | |
| 蓬田診療所 | 郷沢字浜田 140-5 | 0174- 27-2011 | 内科 | 1 | 2 | | 0 | リフト設備 自家発電装置無 | |

〔村所有車両一覧表〕

| 所有者 | NO. (登録番号) | 保管場所 | 車種 | 台数 | 備考 | |
|--------------|---------------|-------------|----------|--------|-------------|-------|
| 蓬田村 | 青森 は 200-253 | 蓬田村役場 | 自家用乗合自動車 | 1 | スクールバス | |
| | 青森 は 200-254 | 蓬田村役場 | 自家用乗合自動車 | 1 | スクールバス | |
| | 青森 す 800-5817 | 蓬田村役場 | 特殊自動車 | 1 | はまなす号 | |
| | 青森 す 100-2607 | 蓬田村役場 | 普通貨物自動車 | 1 | 給食センター車 | |
| | 青森 め 300-5831 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | 村長車 | |
| | 青森 そ 501-9943 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | 総合福祉車 | |
| | 青森 み 300-7745 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | 博愛号 | |
| | 青森 そ 580-6403 | 蓬田村役場 | 軽乗用自動車 | 1 | 保健指導車 | |
| | 青森 く 480-9473 | 蓬田村役場 | 軽貨物自動車 | 1 | 税関係 (ミニキャブ) | |
| | 青森 に 300-9141 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | 消防防災広報車 | |
| | 青森 さ 580-8707 | 蓬田村役場 | 軽乗用自動車 | 1 | 河川道路パトロール車 | |
| | 青森 こ 480-6500 | 蓬田村役場 | 軽乗用自動車 | 1 | 水道軽自動車 | |
| | 青森 さ 480-2978 | 蓬田村役場 | 軽貨物自動車 | 1 | 軽トラック | |
| | 青森 す 800-1643 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | ウイングロード | |
| | 青森 さ 88-3259 | 第一分団屯所 | 特殊自動車 | 1 | 消防自動車 | |
| | 青森 さ 800-3043 | 第二分団屯所 | 特殊自動車 | 1 | 消防自動車 | |
| | 青森 さ 800-3044 | 第三分団屯所 | 特殊自動車 | 1 | 消防自動車 | |
| | 青森 さ 800-1429 | 第四分団屯所 | 特殊自動車 | 1 | 消防自動車 | |
| | 青森 さ 800-3045 | 第五分団屯所 | 特殊自動車 | 1 | 消防自動車 | |
| | 青森 さ 800-1430 | 第六分団屯所 | 特殊自動車 | 1 | 消防自動車 | |
| | 青森 さ 88-4072 | 第七分団屯所 | 特殊自動車 | 1 | 消防自動車 | |
| | ※新車 | | 第八分団屯所 | 特殊自動車 | 1 | 消防自動車 |
| | 青森 さ 200-1341 | 蓬田村役場格納庫 | 自家用乗合自動車 | 1 | コミュニティバス | |
| | 青森 と 44-1360 | 蓬田村役場格納庫 | 小型貨物自動車 | 1 | 2tトラック | |
| | 青森 ち 400-1947 | 蓬田村役場格納庫 | 小型貨物自動車 | 1 | 4駆トラック | |
| | 青森 み 300-9781 | ふるさと総合センター | 普通乗用自動車 | 1 | ハイエース | |
| | 青森 る 000-2338 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | グレーダー | |
| | 青森 る 99-1795 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ロータリー | |
| | 青森 る 900-676 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪小型ロータリー | |
| | 青森 る 000-367 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー | |
| | 青森 る 000-1287 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー | |
| | 青森 る 000-4132 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー | |
| | 青森 る 000-4948 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー | |
| 青森 る 900-528 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー | | |
| 蓬田村 よ 700 | 蓬田村建設機械センター | 小型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー | | |
| 合計 | | | | 35 | | |

〔村所有以外の自動車保有状況一覧表〕

a 公共的団体の車両

自動車保有状況一覧表

| 名称 | 所在地 | 責任者 | 連絡先 | 車種別調達可能数 | | 備考 |
|------------------|-----------------|-----|------------------|----------|------|----|
| | | | | バス | トラック | |
| 青森農業協同組合 蓬田支店 | 阿弥陀川字汐干 52-1 | 支店長 | 0174 -27-3111 | | 3 | |
| 蓬田村漁業協同組合 | 郷沢字浜田 217 | 組合長 | 0174 -27-2006 | | 1 | |

b その他自家用自動車

自動車保有状況一覧表

| 名称 | バス | 大型トラック | 小型トラック | 備考 |
|--------------|----|--------|--------|----|
| 株式会社 蓬田紳装 | 6 | | | |

〔船舶所有状況一覧表〕

| 名称 | 所在地 | 責任者 | 連絡先 | 船舶の種類、調達可能数量 | | | | 備考 |
|---------------|---------------|-----|------------------|--------------|-----|-----|-----|--------------|
| | | | | 貨物船 | 観光船 | 給水船 | 燃料船 | |
| 蓬田村漁業 協同組合 | 郷沢 字浜田 217 | 組合長 | 0174 -27-2006 | | | | | その他漁船 20隻 |

〔緊急通行車両一覧表〕

| 所有者 | NO. (登録番号) | 保管場所 | 車種 | 台数 | 備考 |
|-----------|---------------|-------------|---------|--------|------------|
| 蓬田村 | 青森 す 800-5817 | 蓬田村役場 | 特殊自動車 | 1 | はまなす号 |
| | 青森 す 100-2607 | 蓬田村役場 | 普通貨物自動車 | 1 | 給食センター車 |
| | 青森 め 300-5831 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | 村長車 |
| | 青森 そ 501-9943 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | 総合福祉車 |
| | 青森 み 300-7745 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | 博愛号 |
| | 青森 に 300-9141 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | 消防防災広報車 |
| | 青森 さ 580-8707 | 蓬田村役場 | 軽乗用自動車 | 1 | 河川道路パトロール車 |
| | 青森 す 800-1643 | 蓬田村役場 | 普通乗用自動車 | 1 | ウイングロード |
| | 青森 み 300-9781 | ふるさと総合センター | 普通乗用自動車 | 1 | ハイエース |
| | 青森 る 000-2338 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | グレーダー |
| | 青森 る 000-367 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー |
| | 青森 る 000-1287 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー |
| | 青森 る 000-4132 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー |
| | 青森 る 000-4948 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー |
| | 青森 る 900-528 | 蓬田村建設機械センター | 大型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー |
| 蓬田村 よ 700 | 蓬田村建設機械センター | 小型特殊自動車 | 1 | 除雪ドーザー | |
| 合計 | | | | 16 | |

〔日赤奉仕団、ボランティア団体等一覧表〕

| 団体名 | 連絡先 | 電話番号 | 団体員数 | | | 活動内容 | 備考 |
|-----------------|------------------|------------------|------|-----|-----|-------|----|
| | | | 男 | 女 | 計 | | |
| 日赤奉仕団 | 瀬辺地字田浦2-1 | 0174 -27-3211 | 0 | 39 | 39 | 炊き出し等 | |
| 蓬田村連合婦人会 | 蓬田字汐越84-1 | 0174 -27-2220 | 0 | 30 | 30 | 〃 | |
| 中沢自主防災会 | 中沢字浪返4-1 | 0174 -27-3302 | 152 | 168 | 320 | 〃 | |
| 長科自治会 自主防災組織 | 長科字浦田43-1 | 0174 -27-2931 | 135 | 134 | 269 | 〃 | |
| 阿弥陀川地域自主防災会 | 阿弥陀川字汐干 56-11 | 0174 -27-2935 | 333 | 338 | 671 | 〃 | |
| 蓬田自主防災会 | 蓬田字汐越37-1 | 0174 -27-2451 | 149 | 171 | 320 | 〃 | |
| 宮本自主防災会 | 蓬田字宮本41- 120 | 0174 -27-2839 | 51 | 45 | 96 | 〃 | |
| 郷沢自主防災会 | 郷沢字浜田153- 11 | 0174 -27-3982 | 125 | 155 | 280 | 〃 | |
| 瀬辺地自主防災会 | 瀬辺地字田浦 35-2 | 0174 -27-2767 | 148 | 146 | 294 | 〃 | |
| 広瀬自治会 自主防災会 | 広瀬字坂元608- 1 | 0174 -27-2643 | 127 | 143 | 270 | 〃 | |
| 高根自主防災会 | 広瀬字坂元672- 1 | 0174 -27-2370 | 55 | 60 | 115 | 〃 | |
| 連合自治会 | 蓬田字汐越1-3 | 0174 -27-2111 | 10 | 0 | 10 | 事務連絡等 | |

〔労務者の宿泊施設予定場所一覧表〕

| 名称 | 管理者 | 所在地 | 施設概況 | 収容可能 人員 | 備考 |
|----------------------|---------|-------------------------------|-----------|------------|-------------------|
| 蓬田村ふれあいセンター よもぎ温泉 | 代表取締役社長 | 郷沢字浜田136-4 電話 0174-27-2170 | 鉄骨 平屋建 | 60名 | 仮宿泊所 として使 用 |

[村及び業者所有の清掃資機材一覧表]

| 名 称 | 所 在 地 | 連 絡 先 電話番号 | 機 械 器 具 等 | | | | 備 考 |
|-----------|-------------------------|------------------|-----------|------|------|-----|------|
| | | | ごみ収集運搬車 | 汲取り車 | 作業用品 | その他 | |
| 蓬 田 村 | 蓬田村大字 蓬田字汐越 1-3 | 0174-27- 2111 | | | | 2 | トラック |
| 蓬 田 衛 生 | 蓬田村大字 蓬田字汐越 68-1 | 0174-27- 2527 | | 1 | | | |
| 蟹 田 衛 生 | 外ヶ浜町字 蟹田下蟹田 1-1 | 0174-22- 2115 | | 1 | | | |
| 平 舘 衛 生 社 | 外ヶ浜町字 平舘石崎宇 田 2-6 | 0174-25- 2666 | | 2 | | | |

[学校ごとの代替予定施設一覧表]

令和3年4月1日現在

| 学 校 名 | 児童生徒数(人) | 予 定 施 設 及 び 場 所 | 収容能力(人) | 備 考 |
|-----------|----------|---------------------------------------|---------|-----|
| 蓬 田 小 学 校 | 121 | 蓬田村農業者トレーニングセンター (電話 0174-27-3010) | 300 | |
| 蓬 田 中 学 校 | 61 | 蓬田村ふるさと総合センター (電話 0174-31-3111) | 200 | |

[文房具及び通学用品の調達先一覧表]

| 調 達 先 | 所 在 地 | 電 話 番 号 | ノ ー ト (冊) | 鉛 筆 (ダース) | 定 規 (本) | 消 し ゴ ム (個) | 運 動 靴 (足) | そ の 他 (枚) | 備 考 |
|------------------|------------------------|------------------|------------------------|---------------------|-------------------|-----------------------------|------------------------|------------------------|-----|
| 株式会社ティ ス青森営業所 | 青森市大字新城字 山田 222-474 | 017-762- 7559 | 200 | 900 | 40 | 200 | | | |

〔教育施設の現況〕

(1) 学校施設の状況

令和3年4月1日現在

| 学校名 | 所在地 | 教室数 | 応急 教室数 (特別教室 等) | 教員数 | | | 学年別児童生徒数 | | | | | | 屋内体育 施設面積 (㎡) | 応急の教育時 収容可能人員数 (人) | 備考 | |
|-----------|-----------------|-----|--------------------------|-----|---|----|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------------------|--------------------------|-----|---|
| | | | | 男 | 女 | 計 | 1 年生 | 2 年生 | 3 年生 | 4 年生 | 5 年生 | 6 年生 | | | | 計 |
| 蓬田 小学校 | 阿弥陀川 字汐干 198 | 8 | 6 | 7 | 7 | 14 | 18 | 21 | 17 | 18 | 27 | 20 | 121 | 530 | 300 | |
| 蓬田 中学校 | 郷沢 字浜田 138 | 4 | 12 | 6 | 6 | 12 | 17 | 20 | 24 | / | / | / | 61 | 1,325 | 250 | |

(2) 学校以外の教育施設の状況

| 施設名 | 所在地 | 施設概況 | 応急の教育時 収容可能人員数 | 備考 |
|------------------|--------------|-------------------|-------------------|----|
| 蓬田村ふるさと総合センター | 郷沢字浜田 136-76 | 鉄骨2階建 面積1,971㎡ | 200名 | |
| 蓬田村農業者トレーニングセンター | 蓬田字宮本 41-11 | 鉄骨平屋建 面積1,426㎡ | 300名 | |

避難指示等の判断・伝達マニュアル

令和4年3月

蓬田村

目 次

| | | |
|------|----------------------------|----|
| 1 | 本マニュアルが対象とする自然災害 | 1 |
| 2 | 避難行動（安全確保行動）の考え方 | 1 |
| 2. 1 | 用語の定義 | 1 |
| 2. 2 | 災害別避難行動 | 1 |
| 3 | 避難指示等を発令すべき状況及び対象とする区域について | 2 |
| 4 | 助言を求めることができる対象機関 | 4 |
| 5 | 洪水災害 | 5 |
| 5-1 | 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所 | 5 |
| 5-2 | 避難すべき区域 | 5 |
| 5-3 | 避難指示発令の判断基準 | 5 |
| 6 | 土砂災害 | 6 |
| 6-1 | 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所 | 6 |
| 6-2 | 避難すべき区域 | 6 |
| 6-3 | 避難勧告等発令の判断基準 | 6 |
| 7 | 高潮災害 | 9 |
| 7-1 | 避難すべき区域 | 9 |
| 7-2 | 避難勧告等発令の判断基準 | 9 |
| 8 | 津波災害 | 11 |
| 8-1 | 避難すべき区域 | 11 |
| 8-2 | 津波に対する避難指示の判断基準 | 11 |
| 9 | 避難指示等の伝達先・伝達方法 | 12 |
| 10 | 資 料 | 13 |
| 10-1 | 避難指示等の伝達内容の例 | 13 |
| 10-2 | 避難指示等の標準的な意味合い | 13 |

1 本マニュアルが対象とする自然災害

- (1) 洪水災害・・・大雨や雪解けによって、河川や湖等の水量が増え堤防から漏水、越水・溢水または決壊したことにより発生する外水氾濫及び街中の排水が間に合わず、地下水路や側溝から水が溢れたり、河川の本流の排水が間に合わず支流に逆流し、河川からあふれ出してしまう内水氾濫による災害。
- (2) 土砂災害・・・土砂の移動が原因の土石流、地すべり、がけ崩れによる災害。
- (3) 高潮災害・・・台風や発達した低気圧が海岸部を通過する際に生じる海面の高まりが原因となって生じる災害。
- (4) 津波災害・・・地震やその他の要因により発生する津波による浸水災害。

2 避難行動（安全確保行動）の考え方

2. 1 用語の定義

(1) 「避難」の定義

本マニュアルで取り扱う「避難」とは、災害から命を守るための行動をいう。

(2) 「避難行動」の定義

本マニュアルで取り扱う「避難行動」とは、次のとおりとする。

- ①指定避難所へ移動
- ②指定緊急避難場所へ移動
- ③安全な場所へ移動（自宅等からの移動。公園、親戚や友人の家等）
- ④近隣の高い建物等への移動（垂直避難）
- ⑤建物内の安全な場所での待機

(3) 「立ち退き避難」と「屋内安全確保」の定義

本マニュアルで取り扱う「立ち退き避難」及び「屋内安全確保」とは、次のとおりとする。

- ①立ち退き避難とは、上記（2）①から③までをいう。また、「水平避難」ともいう。
- ②屋内安全確保とは、上記（2）④及び⑤をいう。

2. 2 災害別避難行動

(1) 立ち退き避難が必要な災害の事象

- ①洪水災害（ただし、下記（2）に記載する事象を除く）
- ②土砂災害
- ③高潮災害
- ④津波災害

(2) 立ち退き避難の対象とならない事象

- ①洪水災害のうち次に掲げるもの
 - ・短時間で局地的な大雨による洪水【局所的に浸水している箇所に近づかない】
 - ・中小河川の氾濫で浸水の深さが浅い地域の洪水【屋内安全確保】
 - ・浸水の深さが浅い内水【屋内安全確保】
- ※【】は、災害時にとるべき避難行動

3 避難指示等を発令すべき状況及び対象とする区域について

(1) 避難指示等により立ち退き避難が必要な住民に求める行動

| | 立ち退き避難が必要な住民等に求める行動 |
|------------------|--|
| 警戒レベル3 高齢者等避難 | <ul style="list-style-type: none">・ 気象情報に注意を払い、立ち退き避難の必要について考える・ 高齢者等の要配慮者、特に避難行動に時間を要する者は、立ち退き避難を開始（避難支援者は支援行動を開始）・ 上記以外の者は、家族等との連絡、非常用持出品の用意等、立ち退き避難の準備を開始 |
| 警戒レベル4 避難指示 | <ul style="list-style-type: none">・ 危険な場所から全員立ち退き避難する |
| 警戒レベル5 緊急安全確保 | <ul style="list-style-type: none">・ 既に災害が発生しており、立ち退き避難が危険な場合は屋内安全確保をする |

<避難指示等の発令の運用にあたっては、次の事項に留意する>

- ① 重要な情報については、情報を発表した気象官署、河川・砂防管理者等と相互に情報交換すること。
- ② 関係機関との情報交換を密に行いつつ、河川の上流部でどのような状況になっているか、暴風域はどのあたりまで接近しているか、近隣で災害や前兆現象が発生していないか等地域と連携して広域的な状況把握に努めること。
- ③ 想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから、堤防の異常や土砂災害の前兆現象等、巡視などにより自ら収集する現地情報、避難行動の難易度等（避難が必要な状況が夜間・早朝となる場合やその他困難な状況）、必ずしも数値等で明確にできないものも含めて、総合的な判断を行うこと。
- ④ 避難指示等を発令する必要があると判断した場合は、住民へ与える影響が大きい状況（夜間・早朝などの避難行動は負担が大きい）であっても躊躇することなく、また、空振りをおそれず速やかに行うこと。

(2) 避難指示等の対象とする区域について

避難指示等の対象とする区域の基本概念は以下のとおりである。

| | |
|------|--|
| 洪水災害 | <p>①軒下まで水没する区域</p> <p>②浸水時の水位上昇速度が極めて早い区域</p> <p>③氾濫水の勢いにより家屋の損壊・流失・住民等の生命または身体への被害が生じるおそれのある地域</p> <p>④軒下まで浸水しないものの、浸水（概ね深さ0.5m以上の浸水）することにより避難上支障になると思われる地域</p> <p>⑤局地的な大雨等での突発的な被災、または被災するおそれのある地域その他避難が必要とされる地域</p> <p>⑥浸水により、地下、半地下に氾濫した水が流入する地域</p> |
| 土砂災害 | <p>①土砂災害警戒区域</p> <p>②土砂災害危険区域（急傾斜地崩壊危険箇所の被害想定区域、土石流危険溪流区域、地すべり危険区域）</p> <p>③小規模山地崩壊地区</p> <p>④崩壊土砂流出危険地区</p> <p>⑤山腹崩壊危険地区</p> <p>⑥①から⑤までの区域に隣接する区域</p> <p>⑦降雨時において前兆現象や土砂災害が発生した箇所の周辺区域</p> <p>⑧その他避難が必要とされる地域</p> |
| 高潮災害 | <p>陸奥湾地域のうち、</p> <p>①海岸堤防等から陸側の一定の区域（海岸堤防に隣接する家屋）等</p> <p>②高潮高が海岸堤防等の高さを大きく超えるなどにより、広い範囲で深い浸水が想定される地区（ゼロメートル地帯等）</p> |
| 津波災害 | <p>陸奥湾沿岸地域のうち、</p> <p>【大津波警報の発表時】</p> <p>①最大クラスの津波の浸水想定区域（津波災害警戒区域等）</p> <p>【津波警報の発表時】</p> <p>②津波高3mに朔望平均満潮位を加えた高さより、海岸堤防等の高さが低い地区</p> <p>③海岸堤防等が無く地盤高が低い地区</p> <p>④海岸沿いの津波の朔上が予想される地区</p> <p>【津波注意報の発表時】</p> <p>⑤海岸堤防等の海側の地区</p> <p>⑥③と同じ地区</p> <p>※津波は局所的に高くなる場合がある。また、津波浸水域はあくまでも想定に過ぎず、想定を超える範囲で浸水が拡大する可能性があることに留意する。</p> |

(注)

①朔望平均満潮位朔（新月）の日から前2日後4日以内に観測された、各月の最高満潮面を1年以上にわたって測定し、平均した水位

②地盤高 海面から地表のある地点までの鉛直距離

4 助言を求めることができる対象機関

災害対策基本法第61条の2の規定により、市長が避難指示等の発令の判断に際し、助言を求めることができる対象機関（以下、「専門機関」という。）は、次のとおりとする。

| 災害 | 専門機関 |
|-------------|---|
| 水 害 | 【二級河川】 青森県県土整備部河川砂防課 (広瀬川、阿弥陀川、瀬辺地川、小川平川) |
| 土砂災害 | 青森県県土整備部河川砂防課 |
| 津波・高潮 | 青森県県土整備部河川砂防課、東北地方整備局青森港湾事務所 |
| 気象、高潮、地震・津波 | 青森海上保安部、青森地方气象台 |

5 洪水災害

5-1 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所

(1) 外水氾濫（河川破堤・越水氾濫）

① 警戒すべき区間

- ・河川近隣地区

② 外水氾濫の特性

- ・河川の増水により破堤及び越水し、住宅地等への浸水、道路側溝・用排水路等が氾濫

(2) 内水氾濫（住宅地の水はけの悪化、水路等の氾濫等）

① 警戒すべき箇所

- ・ため池等近隣地区

② 内水氾濫等の特性

- ・住宅地では、豪雨時等による地表水の増加に排水が追いつかず、道路側溝、用排水溝などが氾濫

5-2 避難すべき区域

現在、避難指示等の対象となる地区は、河川及びため池等の近隣地区となるが、運用にあたっては、次の事項に留意する。

(1) 重要な情報については、情報を発表した気象官署・河川管理者等との間で相互に情報交換すること。

(2) 「避難すべき区域」は、過去の浸水実績や浸水想定などを踏まえて特定したもので、自然現象のため不測の事態等も想定されることから、事態の進行・状況に応じた、避難指示等の発令区域を適切に判断すること。

5-3 避難指示等発令の判断基準

避難指示等の発令の判断基準は下表のとおりであるが、この運用にあたっては、次の事項に留意する。

(1) 想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから、関係機関との情報交換を密に行いつつ、近隣で災害が発生していないか等、広域的な状況把握に努めること。

(2) 堤防の異常等、巡視等により自ら収集する現地情報、避難行動の難易度（夜間や暴風の中での避難）等、必ずしも数値等で明確にできないものも考慮しつつ、総合的な判断を行うこと。

■河川破堤・越水氾濫

村内の河川の規模から、仮に越水したとしても氾濫した水の流れによって家屋が流失する可能性は極めて小さく、また、避難のために浸水している場所を移動することは、むしろ危険な場合が多いことから、浸水被害が発生した場合であっても屋内安全確保を原則とし、基本的に避難指示等は発令しない。

■内水氾濫等

内水地域における浸水は、命を脅かされる危険性が極めて小さく、また、避難のために浸水している場所を移動することは、むしろ危険な場合が多いことから、浸水被害が発生した場合であっても屋内安全確保を原則とし、基本的に避難指示等は発令しない。

6 土砂災害

6-1 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所

対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所は、土砂災害警戒区域を発令単位の基本として、あらかじめ以下のとおり定めておく。ただし、実際に避難指示等を発令する区域は、その状況に応じて避難対象区域の周辺区域を含めて発令することも考慮に入れ、総合的に判断し決定することとする。

また、土砂災害は、あらかじめ定める避難対象区域以外の場所でも発生するおそれがあることから、土砂災害警戒区域の隣接区域及び前兆現象や土砂災害の発生した箇所の周辺地域並びに土砂災害警戒判定メッシュ情報等により危険と判断される地区においては、避難の必要性について検討するものとする。

| 整理番号 | 自然現象の種類 | 箇所番号 | 箇所名 |
|------|---------|-----------|---------|
| 1 | 急傾斜地の崩壊 | I-127 | 広瀬 |
| 2 | 急傾斜地の崩壊 | I-128 | 瀬辺地 |
| 3 | 急傾斜地の崩壊 | I-1183 | 坂元 |
| 4 | 急傾斜地の崩壊 | I-1184 | 山田1号 |
| 5 | 急傾斜地の崩壊 | II-92 | 山田2号 |
| 6 | 急傾斜地の崩壊 | II-93 | 山田3号 |
| 7 | 急傾斜地の崩壊 | II-91 | 高根 |
| 8 | 土石流 | 304-I-1-1 | 第1 東高根沢 |
| 9 | 土石流 | 304-I-1-2 | 第2 東高根沢 |
| 10 | 土石流 | 304-I-1-3 | 第3 東高根沢 |

6-2 避難すべき区域

避難指示の対象となる「避難すべき区域」は下表のとおりであるが、運用にあたっては、次の事項に留意する。

- (1) 重要な情報については、情報を発表した気象庁、砂防関係機関等との間で相互に情報交換する。
- (2) 「避難すべき区域」は、過去の被害の実績や被害想定などを踏まえて特定したもので、自然現象のため不測の事態等も想定されることから、事態の進行・状況に応じた、避難指示等の発令区域を適切に判断する。

■ 避難すべき区域

| 避難区域 | 発令単位 | 災害の様相 | 備考 |
|----------|------|---------|----|
| 土砂災害警戒地区 | 地域 | 崖崩れ、土石流 | |

6-3 避難指示等発令の判断基準

避難指示等の発令の判断基準は下表のとおりであるが、この運用にあたっては、次の事項に留意する。

- (1) 重要な情報については、情報を発表した気象官署、砂防関係機関等との間で相互に情報交換すること。
- (2) 想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから、関係機関との情報交換を密に行いつつ、近隣で災害や前兆現象が発生していないか等、広域的な状況把

握に努めること。

(3) 土砂災害の前兆現象等、巡視等により自ら収集する現地情報、避難行動の難易度（夜間や暴風の中での避難）等、必ずしも数値等で明確にできないものも考慮しつつ、総合的な判断を行うこと。

避難指示等は、以下の基準を参考に、今後の気象予想や土砂災害危険箇所の巡視等からの報告を含めて総合的に判断して発令する。

■ 判断基準

| 対象地区 | 避難すべき区域の全部 |
|------------------|--|
| 警戒レベル3 高齢者等避難 | <ul style="list-style-type: none"> ○大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ、土砂災害の危険度分布が「警戒（赤）」（警戒レベル3相当情報〔土砂災害〕）となったとき。 ○数時間後に避難経路等の事前通行規制等の基準値に達することが想定される時。 ○警戒レベル3高齢者等避難の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想されるとき（大雨注意報が発表され、当該注意報の中で、夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）（警戒レベル3相当情報〔土砂災害〕）に切り替える可能性が高い旨に言及されている場合など）（夕刻時点で発令）。 |
| 警戒レベル4 避難指示 | <ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当情報〔土砂災害〕）が発表されたとき（※土砂災害警戒情報は市町村単位を基本として発表されるが、警戒レベル4避難指示の発令対象区域は適切に絞込むこと）。 ○土砂災害の危険度分布で「非常に危険（うす紫）」（警戒レベル4相当情報〔土砂災害〕）となったとき。 ○警戒レベル4避難指示の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想されるとき（夕刻時点で発令）。 ○警戒レベル4避難指示の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、立退き避難が困難となる暴風を伴い接近・通過することが予想されるとき（立退き避難中に暴風が吹き始めることがないよう暴風警報の発表後速やかに発令） ○土砂災害の前兆現象（湧き水・地下水の濁り、溪流の水量の変化等）が発見されたとき。 |
| 警戒レベル5 緊急安全確保 | <ul style="list-style-type: none"> ○大雨特別警報（土砂災害）（警戒レベル5相当情報〔土砂災害〕）が発表されたとき（※大雨特別警報（土砂災害）は市町村単位を基本として発令されるが、警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域は適切に絞込むこと） ○土砂災害が実際に発生していることを把握した場合 |
| 避難指示等の 解除 | <ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害警戒情報が解除されたとき（ただし、土砂災害が発生したときは、慎重に判断することが必要）。 |

(注)

①土砂災害警戒情報

大雨警報発表後に、大雨により土砂災害（土石流や集中的に発生する急傾斜地の崩壊）の危険度が高まった市町村を特定し、市町村が行う避難指示を発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、青森県と青森地方气象台が共同して発表する情報。

②土砂災害警戒情報を補足する情報

土砂災害警戒判定メッシュ情報及び土砂災害警戒情報を補足する詳細情報として、青森県から発信される危険度情報。

■ 土砂災害の前兆現象

| | |
|------------------------------|--|
| 斜面に亀裂ができる | 斜面内部の地下水位の上昇による圧力の増加等に伴い、斜面内部の結合力が低下し、斜面の弱い部分に沿って変異（亀裂）が生じる現象。 崩壊に至る可能性が高い。 |
| 小石が斜面からぱらぱらと落ち出す | 斜面内部の地下水位の上昇による圧力の増加等に伴い、斜面内部の結合力が低下し、斜面の表層部の比較的弱い箇所から落石が生じる現象。 崩壊に至る可能性が高い。 |
| 斜面から異常な音、山鳴り、地鳴りが聞こえる | 斜面内部の地下水位の上昇による圧力の増加等に伴い、斜面内部の結合力が低下し、斜面全体が岩塊として変異（移動）するとともに異常な音が発生する現象。崩壊に至る可能性が高い。 |
| 斜面にはらみがみられる | 斜面内部の地下水位の上昇による圧力の増加等に伴い、斜面内部の結合力が低下し、斜面に変異が生じる現象。崩壊に至る可能性が高い。 |
| 普段澄んでいる湧き水が濁ってきた、水の吹き出しがみられる | 地盤内部に新たな水道の形成または地下水量の増加による侵食量の増大のために認められる現象。斜面内部の空洞が拡大し、不安定化する。 |
| 湧き水の急激な増加あるいは減少・枯渇が認められる | 同上 |

(4) 特別警報の取扱いについて

① 大雨特別警報（土砂災害）について

大雨特別警報（土砂災害）発表時には、既に災害が発生している場合もありえることから、基本的には設定した基準に基づき既に避難指示等を発令済みであることが想定される。このため、避難指示等の対象地区の範囲が十分であるか等、既に実施済みの措置の内容を再度確認することとする。

② 台風等を要因とする大雨等の各特別警報について

この特別警報は、伊勢湾台風級の台風や同程度の温帯低気圧が接近することで発表されるが、この時、対象となる地域における大雨警報、暴風警報、高潮警報、波浪警報が全て特別警報として発表される。

このため、台風等を要因とする大雨等の各特別警報が発表された場合は、その時点では、設定した基準に達していない場合が多いと想定される。このことから、この特別警報が発表されたときは、設定した基準を基本としつつも、今後、暴風等により避難が困難となることを考慮し、早めの避難指示等の発令を検討するものとする。

7 高潮災害

7-1 避難すべき区域

| 避難地域 | 発令単位 | 災害の様相 | 備考 |
|---------|------|---------------------------|----|
| 陸奥湾沿岸地域 | 地域 | 台風等により、海面が上昇し、陸地に海水が流入する。 | |

7-2 避難指示等発令の判断基準

避難指示等の発令の判断基準は下表のとおりであるが、この運用にあたっては、次の事項に留意する。

- (1) 想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから、関係機関との情報交換を密に行いつつ、近隣で災害が発生していないか等、広域的な状況把握に努めること。
- (2) 巡視等により自ら収集する現地情報、避難行動の難易度（夜間や暴風の中での避難）等、必ずしも数値等で明確にできないものも考慮しつつ、総合的な判断を行うこと。

避難指示等は、以下の基準を参考に、今後の気象予想や海岸巡視等からの報告を含めて総合的に判断して発令する。

■ 判断基準

| 対象地区 | 日本海沿岸の各区域 |
|------------------|--|
| 警戒レベル3 高齢者等避難 | <ul style="list-style-type: none"> ○高潮注意報が発表され、当該注意報に夜間から早朝までに警報に切り替える可能性が言及されているとき（警報基準の潮位に達すると予想される時間帯については、気象警報等に含まれる注意警戒期間及び防災情報システムの潮位観測情報を参考とする）。 ○高潮注意報が発表されており、当該注意報に警報に切り替える可能性が言及され、かつ、暴風警報または暴風特別警報が発表されたとき。 ○「伊勢湾台風」級の台風が接近し、上陸24時間前に気象庁から、特別警報発表の可能性のある旨、府県気象情報や記者会見等により周知されたとき。 |
| 警戒レベル4 避難指示 | <ul style="list-style-type: none"> ○高潮警報が発表され、当該警報で危険潮位（1.2m）を超える最高潮位が予想され、かつ海面監視・巡視において危険であると判断されたとき。 ○高潮特別警報が発表されたとき。 ○異常な越波・越流が発生したとき。 <p>（注意） 避難指示の発令を検討する際、既に暴風域に入っている場合は、屋内の安全な場所へ留まること（屋内安全確保）や非常に近くの堅牢な建物への避難に限定することを検討する。</p> |
| 避難指示等の解除 | <ul style="list-style-type: none"> ○当該地域の高潮警報が解除されたとき。 ○浸水被害が発生している場合は、住宅地等での浸水が解消したとき。 |

※高潮災害の発生が懸念される場合においては、台風の接近に伴い避難が困難になることが予想されることから、高齢者等避難は発表せず、初めから避難指示を発令する。

（注）

- ①越波堤防や護岸の高さが波の打ち上げ高より低いときに、打ち上げられた海水が陸側に侵入すること
- ②越流低気圧や台風の通過等によって海水面が堤防や護岸の高さより高くなり、それらを超えて海水が陸側へ進入すること

(3) 危険潮位の設定

この危険潮位を設定するにあたっては、青森地方気象台で発表する高潮警報の基準潮位を参考とした。

8 津波災害

8-1 避難すべき区域

| 避難地域 | 災害の様相 | 備 考 |
|-----------|--------------------------|-----|
| 陸奥湾沿岸の各区域 | 地震により、海面が上昇し、陸地に海水が流入する。 | |

8-2 津波に対する避難指示の判断基準

| 対象地区 | 日本海沿岸の各区域 |
|---------|---|
| 避難指示 | ○大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されたとき。 ○停電、通信途絶等により、津波警報等を適時に受けることができない状況において、強い揺れを感じたとき、または、揺れは弱くとも1分程度以上の長い揺れを感じたとき。 |
| 避難指示の解除 | ○大津波警報、津波警報、津波注意報が全て解除されたとき。 ○浸水被害が発生している場合は、津波警報等が全て解除され、かつ住宅地等での浸水が解消したとき。 |

(注)

- ① 大津波警報予想される津波の高さが高いところで3 mを超える場合に発表される。
- ② 津波警報予想される津波の高さが高いところで1 mを超え、3 m以下の場合に発表される。
- ③ 津波注意報予想される津波の高さが高いところで0.2 m以上、1 m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合に発表される。

9 避難指示等の伝達方法

避難指示等の伝達先・伝達方法は次のとおりとする。

なお、情報の伝達は、災害の状況等に応じた最善の方法により行うものとする。

【避難指示等の伝達先・伝達方法】

| 伝達先 | 伝達方法 |
|--|--|
| (住 民) | |
| ◇住民 ◇自治会長 ◇自主防災組織代表者 | ・ 防災行政用無線、広報車、消防車両 ・ 村ホームページ ・ 防災メール |
| (災害時要援護者、福祉関係機関等) | |
| ◇災害時要援護者の事前登録者 ◇村社会福祉協議会 ◇病院等 ◇老人ホーム ◇保育所 | ・ 電話、F A X |
| (防災関係機関等) | |
| ◇警察署 ◇消防本部 ◇消防団 ◇郵便局(株) ◇J R蓬田駅 ◇東北電力 ◇マスコミ ◇県等 | ・ 電話、F A X |

10 資料

10-1 避難指示等の伝達内容の例

(1) 高齢者等避難

○高齢者等避難の伝達文(例)

こちらは、蓬田村役場です。ただ今、(避難すべき事由)ため、〇〇時〇〇分、〇〇地区に対し、高齢者等避難を発令しました。お年寄りの方など避難に時間のかかる方は、直ちに(避難所の施設名)へ避難してください。その他の方は、避難の準備を始めてください。

(2) 避難指示

○ 避難指示の伝達文(例)

こちらは、蓬田村役場です。ただ今、(避難すべき事由)ため、〇〇時〇〇分、〇〇地区に対し、避難指示を発令しました。直ちに(避難所の施設名)へ避難してください。

なお、(〇〇付近は冠水により通行ができない・山沿いや急傾斜地では土砂災害の危険がある)ので十分注意して避難してください。

また、避難の際は、できるだけ近所の方にも声をかけてください。

(3) 避難すべき事由 (例)

— 避難すべき事由 (例) —

- ・ 〇〇川で危険水位に達した
- ・ 〇〇地区の〇〇川堤防が決壊した
- ・ 〇〇地区では土砂災害の危険性が非常に高まった
- ・ 近隣(〇〇地区)で土砂の移動現象が確認された
- ・ 近隣(〇〇地区)で重大な土砂災害前兆現象(山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂)が確認された

10-2 避難指示等の標準的な意味合い

| | 発令時の状況 | 住民に求める行動 |
|--------|--|---|
| 高齢者等避難 | ○高齢者等の要配慮者、特に避難行動に時間を要する者が危険な場所から避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況 | ○高齢者等の要配慮者、特に避難行動に時間を要する者は、危険な場所から計画された避難場所への避難行動を開始(避難支援者は支援行動を開始) ○上記以外の者は、家族等との連絡、非常持出品の用意等、避難準備を開始 |
| 避難指示 | ○通常の避難行動ができる者が危険な場所から避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 | ○通常の避難行動ができる者は、危険な場所から計画された避難所等への避難行動を開始 |

※ 自然現象のため不測の事態等も想定されることから、避難行動は、計画された避難場所等に避難することが必ずしも適切ではなく、事態の切迫した状況等に応じて、自宅や隣接建物の2階等に避難することもある。

様 式

(目 次)

【 様 式 】

| | | |
|---------|----------------------------------|----|
| 様式 1 | 被害者実態調査票 (個票) | 1 |
| 様式 2 | 被害者名簿 | 2 |
| 様式 3 | 被害状況即報・災害確定報告 | 3 |
| 様式 4 | 被害状況調べ | 4 |
| 様式 5 | 救助の実施状況 | 5 |
| 様式 6 | 医療施設被害 | 6 |
| 様式 7 | 環境衛生施設被害 | 7 |
| 様式 8-1 | 水稲被害 (水害) | 8 |
| 様式 8-2 | 水稲被害 (潮風害、干害、霜害、風雪害等) | 8 |
| 様式 9 | りんご特産果樹被害 | 9 |
| 様式 10 | 畑作・野菜・花き・一般果樹園被害 | 10 |
| 様式 11 | 果樹類樹体被害 | 10 |
| 様式 12-1 | 畜産関係被害 (家畜・畜産物等) | 11 |
| 様式 12-2 | 家畜関係被害 (牧草・飼料作物等) | 11 |
| 様式 13-1 | 農業関係共同利用施設被害 (農業協同組合及び同連合会所有のもの) | 12 |
| 様式 13-2 | 農業関係共同利用施設被害 (その他の所有のもの) | 13 |
| 様式 14 | 農業関係非共同利用施設被害 | 14 |
| 様式 15 | 農業協同組合及び農業協同組合連合会の在庫品被害 | 15 |
| 様式 16 | 農地・農業用施設関係被害 | 16 |
| 様式 17-1 | 林業関係被害 (林産関係) | 17 |
| 様式 17-2 | 林業関係被害 (治山関係) | 18 |
| 様式 18 | 水産業関係被害 | 19 |
| 様式 19 | 海岸・漁港施設被害 | 20 |
| 様式 20 | 商工業・観光施設被害 | 21 |
| 様式 21 | 土木施設被害 (国・県・町別) | 21 |
| 様式 22 | 文教関係被害 | 22 |
| 様式 23 | 福祉施設被害 | 23 |
| 様式 24 | その他の公共施設被害 | 23 |
| 様式 25 | 災害発生報告 | 24 |
| 別紙 1 | 被害状況調 | 25 |
| 別紙 2 | 世帯別被害等調査票 | 26 |
| 様式 26 | 災害決定報告について | 27 |
| 様式 27 | 災害救助費市町村交付金申請書について | 30 |
| 別紙 1 | 請求書 | 31 |
| 別紙 2 | 災害救助費総額内訳書 | 32 |
| 様式 28 | 事務費内訳書 | 33 |
| 別紙 1 | 旅費明細 | 34 |
| 別紙 2 | 時間外勤務手当 | 34 |
| 別紙 3 | 通信費明細 | 34 |
| 様式 29 | 救助実施記録日計票 | 35 |
| 様式 30 | 救助の種目別物資受払状況 | 36 |
| 様式 31 | 避難所設置及び収容状況 | 36 |
| 様式 32 | 避難指示発令報告書 | 37 |
| 様式 33 | 避難指示解除報告書 | 37 |
| 様式 34 | 避難所開設報告書 | 38 |
| 様式 35 | 避難所閉鎖報告書 | 38 |

| | | |
|----------|---------------------------------------|----|
| 様式 3 6 | 避難所日誌 | 39 |
| 様式 3 7 | 避難所収容者名簿 | 39 |
| 様式 3 8 | 避難所従事者勤務状況 | 39 |
| 様式 3 9 | 被災者救出状況記録簿 | 40 |
| 様式 4 0 | 炊出し給与状況(総括) | 40 |
| 様式 4 1 | 炊出し給与簿 | 40 |
| 様式 4 2 | 給食者名簿 | 41 |
| 様式 4 3 | 飲料水の供給簿 | 41 |
| 様式 4 4 | 世帯構成員別被害状況 | 41 |
| 様式 4 5 | 物資供給(貸与)受領簿 | 42 |
| 様式 4 6 | 物資の給与状況 | 43 |
| 様式 4 7 | 災害救助法による応急仮設住宅設置供与申請 (住宅の応急修理)について | 43 |
| 別紙 1 | 応急仮設住宅設置供与を必要とする者の調書 | 44 |
| 別紙 2 | 応急仮設住宅敷地予定調書 | 44 |
| 別紙 3 | 住宅の応急修理を必要とする者の調書 | 44 |
| 様式 4 8 | 災害救助法による応急仮設住宅建築工事着工届 | 45 |
| 様式 4 9 | 災害救助法による応急仮設住宅建築工事竣工届 | 45 |
| 様式 5 0 | 災害救助法による応急仮設住宅建築工事引渡書 | 46 |
| 様式 5 1 | 応急仮設住宅設置及び住宅の応急修理概算金交付請求書 | 46 |
| 様式 5 2 | 応急仮設住宅設置及び住宅の応急修理概算金精算書 | 47 |
| 別紙 1 | 工事費及び事務費内訳書 | 47 |
| 別紙 2 | 開札一覧表 | 48 |
| 様式 5 3 | 応急仮設住宅台帳 | 49 |
| 様式 5 4 | 住宅応急修理記録簿 | 49 |
| 様式 5 5 | 救護班活動状況 | 49 |
| 様式 5 6 | 病院、診療所医療実施状況 | 50 |
| 様式 5 7 | 傷病者名簿 | 50 |
| 様式 5 8 | 助産台帳 | 50 |
| 様式 5 9 | 障害物除去の状況 | 51 |
| 様式 6 0 | 障害物除去関係物資受払状況 | 51 |
| 様式 6 1 | 奉仕団の協力要請書 | 51 |
| 様式 6 2 | 奉仕団の活動状況記録簿 | 52 |
| 様式 6 3 | 人夫あっせん要請書 | 52 |
| 様式 6 4 | 人夫雇上台帳 | 53 |
| 様式 6 5 | 死体の捜索状況記録簿 | 54 |
| 様式 6 6 | 死体捜索の協力要請書 | 54 |
| 様式 6 7 | 死体処理台帳 | 55 |
| 様式 6 8 | 埋火葬台帳 | 55 |
| 様式 6 9 | 学用品給与調 | 56 |
| 様式 7 0 | 学用品購入計画書 | 56 |
| 様式 7 1 | 学用品の給与状況 | 57 |
| 様式 7 2 | 学用品給与対象者調 | 58 |
| 様式 7 3 | 輸送記録簿 | 58 |
| 様式 7 4 | 蓬田村災害時ボランティア登録申込(更新)書[個人用] | 59 |
| 様式 7 5 | 蓬田村災害時ボランティア登録申込(更新)書[グループ用] | 60 |
| 様式 7 5-1 | グループ登録に添付する名簿 | 61 |

様式1

| 被害者実態調査票 (個票) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------|----------------------|------|----------|----------|----------|--------|----------|--------|-----------|----------|----------|---------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--|
| 地区名 | | 調査年月日 年 月 日 調査員氏名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 世帯主氏名 | | 住所 | | | 年令 | | 職業 | | 事業主の場合 | | | 従業員数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (電話) | | 蓬田村大字 番地 | | | 字 | | 家族の氏名 | | 続柄 | | 年令 | | 職業又は学校名 | | 事業内容 | | | | | | | | | | | | |
| 被 害 状 況 | | 住 家 | | 非 住 家 | | 住 家 | | 非 住 家 | | 身 世 | | 障 世 | | 老 世 | | 人 世 | | 母 世 | | 子 世 | | 要 保 護 世 | | 其 他 世 | | | |
| 死 者 | 行方不明 | 重 傷 | 軽 傷 | 1 全壊 (焼) | 2 半壊 (焼) | 3 流失 | 4 一部損壊 | 5 床上浸水 | 6 床上浸水 | 1 全壊 (焼) | 2 半壊 (焼) | 3 流失 | 4 一部損壊 | 5 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | | |
| 種 類 | 住 家 | 住 家 | | 非 住 家 | | 住 家 | | 非 住 家 | | ※ 課 税 状 況 | | 非 課 税 | | 均 等 割 | | 所 得 割 | | 備 考 | | | | | | | | | |
| 被 害 区 分 | 1 全壊 (焼) | 2 半壊 (焼) | 3 流失 | 4 一部損壊 | 5 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | 6 床上浸水 | |
| 棟 数 | 棟 | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | | 棟 | |
| 所 有 | 自家、借家、間借 | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | | 自家、借家、間借 | |

※印は記入する必要はありません。

様式2

被 害 者 名 簿

年 月 日 時 分

担当者

| 番号 | 町内会名 | 世帯主氏名 | 住 所 | 人員 | 住 | | | | 家 | | | | 非 住 家 | | | その他 | | | |
|----|------|-------|-----|----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------------|-----|-----|--|--|
| | | | | | 損 壊 | 浸 水 | 損 壊 | 浸 水 | 損 壊 | 浸 水 | 損 壊 | 浸 水 | | | | | | | |
| | | | | | 全 部 一 部 | 所 有 | 床 上 | 床 下 | 所 有 | 床 上 | 床 下 | 所 有 | 床 上 | 床 下 | 全 部 一 部 | 床 上 | 床 下 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(注) 全部 → 全焼、全壊、流失
 所有 → 自家、借家、間借
 一部 → 半焼、半壊、一部損壊
 その他 → 人的被害、家畜の被害、その他

被害状況即報・災害確定報告

| 市町村 | 蓮田村 | | | 被 | 害 | 分 | 被 | 害 | 月 日 時現在 | |
|------|-----------|-----|----|---|---|---|---|--|-------------|----|
| 災害名 | 災害名 | | | | | | | | 市町村 | 名称 |
| 報告番号 | 第()月日時現在 | | | | | | | | 災害本部 | 設置 |
| 報告者名 | 報告者名 | | | | | | | | 災害 | 解散 |
| 人的被害 | 死者 | 人数 | 被 | | | | | | | |
| | 行方不明者 | 人数 | | | | | | | | |
| 住家被害 | 負傷者 | 重傷 | 人数 | | | | | | | |
| | | 軽傷 | 人数 | | | | | | | |
| | 全壊 | 棟世帯 | | | | | | | 災害救助法の適用の有無 | 有 |
| 住家被害 | 半壊 | 棟 | | | | | | | | |
| | | 世帯 | | | | | | | | |
| | 人 | | | | | | | | | |
| 住家被害 | 一部破損 | 棟 | | | | | | | 被害総額 | 千円 |
| | | 世帯 | | | | | | | 消防職員出勤延人員 | 人 |
| | 人 | | | | | | | 消防団員出勤延人員 | 人 | |
| | 棟 | | | | | | | 災害発生場所 災害発生年月日 災害の種類概況 応急対策の状況 ・救急・救助等消防機関の活動状況 ・避難の指示の状況 ・避難所の設置状況 ・他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・自衛隊の派遣要請、出動状況 | | |
| | 世帯 | | | | | | 備 | | | |
| 床上浸水 | 人 | | | | | | 考 | | | |
| 床下浸水 | 棟 | | | | | | | | | |
| 公共建物 | 棟 | | | | | | | | | |
| 非住家 | その他の | 棟 | | | | | | | | |
| | | 世帯 | | | | | | | | |

※即報の場合は、被害額は省略することができるものとする

被害状況調べ

(災害発生)
 (災害対策本部設置)

年 年 月 月 日 日

月 日 時現在

| 区分 | | 人的被害 | | | | 住数 | | | | 家の被害 | | | | 非住家の被害 の被(棟) | | | | | | |
|--------------|-----------|------|------|---------|-------|----|------|------|---------|---------|-------|----|------|-----------------|------|----|------|----|----|----|
| | | 死者 | 行方不明 | 負傷 | | 棟 | 数 | | 世帯数及び人員 | | 世帯(焼) | | 一部破損 | | 床上浸水 | | 床下浸水 | | | |
| 重傷 | 軽傷 | | | 全壊(焼)流失 | 半壊(焼) | | 一部破損 | 床上浸水 | 床下浸水 | 全壊(焼)流出 | 半壊 | 人員 | | 世帯 | 人員 | 世帯 | 人員 | 世帯 | 人員 | 世帯 |
| 月 日 時 分 発(受) | 月 日 時 分 在 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 日 時 分 発(受) | 月 日 時 分 在 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 日 時 分 発(受) | 月 日 時 分 在 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 日 時 分 発(受) | 月 日 時 分 在 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 日 時 分 発(受) | 月 日 時 分 在 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 日 時 分 発(受) | 月 日 時 分 在 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 日 時 分 発(受) | 月 日 時 分 在 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 日 時 分 発(受) | 月 日 時 分 在 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

救助の実施状況

| | | 月 | | 日 | | 時現在 | |
|----------|----------|-----------|-----|---|------|-----|---|
| 区 | 分 | 発(受)者氏名 | 信 | 日 | 分 | 時 | 在 |
| | | 発(受) | | 月 | 時 | 現 | |
| | | 日 | 分 | 時 | 発(受) | | |
| 避難所 | 收容人員(人) | | | | | | |
| | 箇所数(箇所) | | | | | | |
| 応急仮住宅 | 完成戸数(戸) | | | | | | |
| | 設置戸数(戸) | | | | | | |
| 炊き出し | 給食実人員(人) | | | | | | |
| | 飲料水 | 対象人員(人) | | | | | |
| 被服・寝具等 | 被服(点) | | | | | | |
| | 寝具(点) | | | | | | |
| | その他(点) | | | | | | |
| | 医療及び助産 | 衛生班 | (班) | | | | |
| 救出 | 救出人員(人) | 行方不明(人) | | | | | |
| | | 分へん者数(人) | | | | | |
| | 医療機関 | (機関) | | | | | |
| 学用品 | 小学生(人) | | | | | | |
| | 中学生(人) | | | | | | |
| 応急修理 | 対象数(世帯) | | | | | | |
| | 埋葬 | 埋葬数(体) | | | | | |
| 死体の捜索・処理 | 処理数(体) | | | | | | |
| | 障害物の除法 | 対象世帯数(世帯) | | | | | |

医療施設被害

| 被害施設名 | 被害の程度 | | | | | | | | 被害金額 (千円) | 時現在 日 月 | |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|-----|
| | 全壊 | 半壊 | 全焼 | 半焼 | 焼 | 流失 | 浸失 | 水 | | | その他 |
| | m ² | m ² | m ² | m ² | m ² | m ² | m ² | m ² | m ² | | |
| 計 | | | | | | | | | | | |

環境衛生施設被害

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 区分 施設名 | 被害内容 | 被害額 |
|-----------|------|-----|
| | | |
| 計 | | |

注 被害内容には上水道、簡易水道、井戸、汚物処理施設ごとに、かつその被害程度を記入する。

様式8-1

水稲被害(水害)

| 地区名 | 作付面積 ha | 被害面積 | | 被害額 千円 | 単価 円 | 被害減収量 t | 被害面積 ha | 被害量 t | 埋没・決壊 被害面積 ha | 土砂流入 被害面積 ha | 冠水期間 | | | | | | 浸水被害面積 ha | 被害農家戸数 うち被害率30%以上の被害農家戸 | 時現在 | | |
|-----|------------|---------|------------------|-----------|---------|------------|------------|----------|---------------------|--------------------|------------|------|------|------|------|-------|--------------|----------------------------|-----|----------|-----|
| | | 計 ha | うち被害率30%以上 ha | | | | | | | | 被害面積 ha | 冠水期間 | | | | | | | | 被害量 t | |
| | | | | | | | | | | | | 冠水期間 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 1日未満 | 1～2日 | 3～4日 | 5～6日 | 7～7以上 | | | | | 冠水中 |
| ◎ | △ | ◎ | △ | △ | △ | △ | ◎ | △ | ◎ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | ◎ | △ | △ | △ | | |

- (注) 1 第1報(災害発生後直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。
 2 冠水期間については、明確になった面積については期間区分し、その時点で冠水中の面積は「冠水中」として報告する。浸水については、水が引いたあとも差し引かず、「浸水被害面積」として報告する。
 3 被害面積等の上段()には、被害率を記入する。
 4 被害様相は次の区分による。
 ① 埋没・決壊……………土砂が畦畔の高さを超えて堆積したもの及び耕土が流失したもの
 ② 土砂流入……………土砂の流入が畦畔の高さまで達しないもの
 ③ 冠水……………稲が全部水中に没したものの
 ④ 浸水……………水が畦畔の高さを越えて、かつ浸水には至らないもの

様式8-2

水稲被害(潮風害, 干害, 霜害, 風雪害等)

| 地区名 | 作付面積 ha | 被害面積 | 被害額 | 単価 円 | 被害減収量 t | 被害程度別面積内訳 | | | | | | 減収量 | | | 被害農家戸数 戸 | 時現在 | |
|-----|------------|------|-----|---------|------------|-----------|------------------|-----------|-------------|---------------|---------------|------------|--------------|--------------|-------------|-----|---|
| | | | | | | 計 ha | うち被害率30%以上 ha | 被害額 千円 | 被害程度別面積内訳 | | | 減収量 | | | | | |
| | | | | | | | | | 30%未満 ha | 30%～49% ha | 50%～70% ha | 30%未満 t | 30%～49% t | 50%～70% t | | | |
| ◎ | △ | ◎ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |

(注) 第1報(災害発生後直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

りんご特産果樹被害

月 日 時現在

| 地区名 | 栽培面積 | 災害の種類 | 種目 | 被害面積 ha | 程度別 | | | | 被害金額 千円 | 備考 |
|------|------|--|---|------------|-------------|--------------|--------------|-------------|---|----|
| | | | | | 30%未満 ha | 30~49% ha | 50~69% ha | 70%以上 ha | | |
| ◎ | △ | 1. 水害 2. 風害 3. 雹害 4. 雪害 5. 凍霜害 | ① 園地浸水 ② 樹冠浸水 ③ 土砂堆積埋没 ④ 樹の流失 ⑤ 樹体損傷 ① 落果、樹上損傷 ② 樹体損傷 (裂開折損含む) | ◎ | △ | △ | △ | △ | 1の①は樹冠下浸水をいう。従って被害面積欄のみに記入。 1の②は樹冠の浸水割合によって程度別を記入。 1の③の被害程度は次の区分により記入する。 地表から50cm～30%未満 51cmから樹冠下～30~49% 樹冠の半分～50~69% 樹冠の半分以上～70%以上 | |
| 合計 | | | | | | | | | | |
| 被害戸数 | | | | | 戸 | 戸 | 戸 | 戸 | | |

品種別被害割合

| 地区名 | (単位 %) | | | | | | | | |
|-----|--------|----|------|-----|----|----|----|----|-----|
| | 減収 | 落果 | 樹上損傷 | つがる | 陸奥 | 北斗 | 王林 | ふじ | その他 |
| | | | | | | | | | |

- (注) 1. 減収量：各被害種目毎の被害程度別面積×(減収率×10a 当たり生産量)
 2. 品質低下量：各被害種目毎の被害程度別面積×(品質低下率×10a 当たり生産量)
 3. 減収額：減収量×1t 当たり単価
 4. 品質低下額：品質低下量×1t 当たり損害単価
 5. 樹体損傷額：樹体損傷本数×被害損傷率×1樹当たり樹体損傷額(果樹共済算定方式)
 6. 第1報(火災発生後直ちに報告)は、◎印のみ報告する。
 第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。
 確定報告はすべての欄に記入し報告する。

畑作・野菜・花き・一般果樹園被害

| 地区名 | 品目名 | 作型 | 被害程度別面積 (ha) | | | | 被害減収量 (t) | | | | 単価 (千円) | 被害額 (千円) | 備考 | |
|-----|-----|----|--------------|-------|--------|--------|-----------|-------|--------|--------|------------|-------------|----|-------|
| | | | 計 | 30%未満 | 30~49% | 50~69% | 計 | 30%未満 | 30~49% | 50~69% | | | | 70%以上 |
| | | | | △ | △ | △ | | △ | △ | | | | | |
| ◎ | ◎ | △ | ◎ | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | |

(注) 1 作型の欄には、栽培暦等を参考のうえ、春巻き栽培、夏まき栽培及び露地、マルチ等の区分を記入する。

備考欄には、被害の態様及び別に定めるもの以外については、被害減収量算定根拠を記入する。

2 第1報（災害発生後直ちに報告）は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告は、すべての欄に記入し報告する。

果樹類樹体被害

| 地区名 | 樹種名 | 被害程度別面積 (ha) | | | | 単価 (円) | 被害額 (千円) | 備考 |
|-----|-----|--------------|--------|-------|---|-----------|-------------|----|
| | | 30%未満 | 30~69% | 70%以上 | 計 | | | |
| | | | △ | △ | | | | |
| ◎ | ◎ | | | △ | ◎ | △ | △ | |
| 合計 | | | | | | | | |

(注) 1 被害額は、樹体損傷面積×被害損傷率×10a当たり樹体損傷額（農畜産業用固定資産評価標準）－農林水産省一により算出する。

2 第1報（災害発生後直ちに報告）は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告は、すべての欄に記入し報告する。

畜産関係被害(家畜・畜産物等)

月 日 時現在

| 区分 地区名 | 被害数量 | | | 被害額 | | | 被害数量 | | | 被害額 | | | 備考 |
|-----------|----------------|-----------|-------------|----------------|-----------|-------------|----------------|-----------|-------------|----------------|-----------|-------------|----|
| | 被害数量 (頭羽数等) | 単価 (円) | 被害額 (千円) | 被害数量 (頭羽数等) | 単価 (円) | 被害額 (千円) | 被害数量 (頭羽数等) | 単価 (円) | 被害額 (千円) | 被害数量 (頭羽数等) | 単価 (円) | 被害額 (千円) | |
| ◎ | () ◎ | △ | △ | () ◎ | △ | △ | () ◎ | △ | △ | () ◎ | △ | △ | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | |

(注) 1 区分欄には乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー、馬、めん羊、配合飼料、牧草、購入粗飼料、牛乳、卵等を記入。

被害数量欄の()内には個所数を記入し、備考欄には被害態様等を記入。

2 第1報(災害発生後直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

畜産関係被害(牧草・飼料作物等)

月 日 時現在

| 地区名 | 品目名 | 被害の様 内 | 被害程度別面積(ha) | | | 被害減収量(t) | | | 単価 (千円) | 被害額 (千円) | 備考 |
|-----|-----|-----------|-------------|-----------|------------|------------|-----------|---|------------|-------------|----|
| | | | 計 | 30% 未満 | 30% 49% | 50% 69% | 70% 以上 | 計 | | | |
| ◎ | ◎ | ◎ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| | 合計 | 計 | | | | | | | | | |

(注) 1 被害の様態欄には、枯死、牧草腐敗、埋没、決壊、倒木、冠水、流失等の、被害の様態を記入し、この態様別に被害面積、被害減収量を記入する。

2 備考欄に箇所数を記入する。

3 牧草については、成育時期により生産量が異なるため、年間生産量に対する生育時期別割合は、次の数値を参考とされたい。

牧草の年間収穫量に占める生育時期別割合 1 番草 50% 2 番草 30% 3 番草 20%

4 第1報(災害発生後直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告は、すべての欄に記入する。

農業関係共同利用施設被害（農業協同組合及び同連合会所有のもの）

月 日 時現在
 (金額単位 千円)

| 種類名 | 被害施設名 | 全壊 | | 大破 | | 中破 | | 小破 | | 計 | | 備考 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | |
| ◎ | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | ◎ | △ | |
| ◎ | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | ◎ | △ | |
| | 合計 | | | | | | | | | | | |

(注) 1 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「自然牧野」「一般施設」等の別を記入する。

2 被害施設名欄の下端()内には所有者名を記入する。

3 件数等には、件数・棟数・台数・m²数等を記入する。

4 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については「農業関係被害の算定基準等」を参照。

5 「件数等」には被害面積も記入する。

6 第1報（災害発生後直ちに報告）は、◎印のみ報告する。第2報以降は把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告は、すべての欄に記入し報告する。

農業関係共同利用施設被害（その他の所有のもの）

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 種類名 | 被害施設名 | 全壊 | | 大破 | | 中破 | | 小破 | | 計 | | 備考 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | |
| ◎ | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | ◎ | △ | |
| ◎ | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | ◎ | △ | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | |

(注) 1 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「自然牧野」「一般施設」等の別を記入する。

2 被害施設名欄の下端()内には所有者名を記入する。

3 件数等には、件数・棟数・台数・m²数等を記入する。

4 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については「農業関係被害の算定基準等」を参照。

5 「件数等」には被害面積も記入する。

6 第1報（災害発生後直ちに報告）は、◎印のみ報告する。第2報以降は把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告は、すべての欄に記入し報告する。

農業関係非共同利用施設被害

月 日 時現在
(金額単位 千円)

(地方公共団体施設被害についても本様式をもってすること)

| 種類名 | 被害施設名 | 全壊 | | 大破 | | 中破 | | 小破 | | 計 | | 備考 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | 件数等 | 被害額 | |
| ◎ | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | ◎ | △ | |
| ◎ | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | () | | | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | | | | ◎ | △ | |
| | 合計 | | | | | | | | | | | |

(注) 1 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「自然牧野」「一般施設」等の別を記入する。

2 被害施設名欄の下端()内には所有者名を記入する。

3 件数等には、件数・棟数・台数・m²数等を記入する。

4 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については「農業関係被害の算定基準等」を参照。

5 「件数等」には被害面積も記入する。

6 第1報(災害発生後直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告は、すべての欄に記入し報告する。

農業協同組合及び農業協同組合連合会の在庫品被害

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 種類 | 数量 | 単位 | 単価 | 被害額 | 備考 |
|-----|----|----|----|-----|----|
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| 計 | ◎ | | | △ | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |
| 計 | ◎ | | | △ | |
| 合計 | | | | | |

(注) 1 在庫品とは、農業協同組合及び農業協同組合連合会の所有または管理するものをいう。

2 「種類」欄の()内には、農協等名を記入する。

3 備考欄には被害の態様等を記入する。

4 第1報(災害発生後直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告は、すべての欄に記入し報告する。

農地・農業用施設関係被害

月 日 時現在
(単位 千円)

| 地区名 | 左 の 内 訳 | | | | | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | | | |
|-----|---------|----|------------|----|-----------|----|----------|----|----------|----|-----------|----|----------|----|----------|----|----|----------|----|------------|----|------------|----|--|
| | 被害報告額 | 農地 | | | 農業用施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 箇所 | 面積 (ha) | 金額 | 頭首工 箇所 | 金額 | 水路 箇所 | 金額 | 溜池 箇所 | 金額 | 揚水機 箇所 | 金額 | 橋梁 箇所 | 金額 | 道路 箇所 | | 金額 | 堤防 箇所 | 金額 | 農地保全 箇所 | 金額 | 施設小計 箇所 | 金額 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

林業関係被害（林産関係）〔概況・確定報告〕

年 月 日 時現在

災害名 (金額単位 千円)

| 区分 地区名 | 林産施設等 | | | | 林産物等 | | | | 計 | | |
|-----------|-------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|--|
| | 林産施設 | | 苗畑施設 | | 小計 | | 林産物 | | 小計 | | |
| | 数量 | 損害額 | 数量 | 損害額 | 数量 | 損害額 | 数量 | 損害額 | 数量 | 損害額 | |
| 蓬田村 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | |

- (注) 1 「数量」欄には、被害の箇所数、面積等を記入する。
 2 「林産施設」被害とは、木材倉庫、貯水場、木材加工施設、木炭加工施設、わさび、しいたけ等育成・加工施設等の全壊、半壊等をいう。
 3 「苗畑施設」被害とは、畑地流出、畑地埋没、海水施設破損、堆肥舎倒壊等をいう。
 4 「林産物」被害とは、立木、素材、製材等の木材被害、薪炭原木・木炭等の薪炭被害、わさび・しいたけ等の特用林産物被害と利用伐期令級未満の造林地被害の合計をいう。
 5 「苗畑」被害欄には、樹種・面積・本数（千本、年生）を記入する。
 6 「林産物間接被害」とは、道路の決壊、橋梁の破損、その他により運搬が不能となって滞貨した林産物等（木材・薪炭・特用林産物）をいう。

林業関係被害（治山関係）〔速報・概況・概況・確定報告〕

年 月 日 時現在
 (金額単位 千円)

災害名

| 区分 地区名 | 林地 | | | 施設 | | | | | | 林野火災 | | | 備考 | | | | |
|-----------|----|----|------------------|----|----|----|----|------|----|------|----|----------------|----|----|----------|----|--|
| | 崩壊 | | 地すべり 被害 金額 | 海岸 | | 川 | | 地すべり | | 小計 | | 林道 被害 金額 | | 面積 | 被害 金額 | | |
| | 数量 | 箇所 | | 数量 | 箇所 | 数量 | 箇所 | 数量 | 箇所 | 数量 | 箇所 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | | 件 | ha | |

水産業関係被害

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 区分 地区名 | 水産業関係施設被害 | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|----|----|---------|----|----|----------|----|-------|----------|---------------|----|----|
| | 共同利用施設 | | | 非共同利用施設 | | | 地方公共団体施設 | | | 漁船 | | | |
| | 施設名 | 数量 | 金額 | 施設名 | 数量 | 金額 | 施設名 | 数量 | 金額 | 規 模 | 失 大 破 中 小 破 計 | 金額 | 金額 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 無 動 力 | | | | |
| | | | | | | | | | 動 力 | 5ト 未満 | | | |
| | | | | | | | | | 動 力 | 5ト 以上 | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | |

| 漁具・資材 | 種類 | 数量 | 金額 | 養殖施設 | | | 漁場 | | | (A) 施設被害等計 | (B) 水産物被害 | | | (C) 組合在庫品被害 | (D)=(B)+(C) 水産物被害等計 | 水産業関係被害被計 (A)+(D) |
|-------|----|----|----|------|----|----|----|----|----|------------|-----------|----|----|-------------|---------------------|-------------------|
| | | | | 種類 | 数量 | 金額 | 種類 | 数量 | 金額 | | 種類 | 数量 | 金額 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

様式20

商工業・観光施設被害

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 区分 施設名 | 被害内容 | 被害額 |
|-----------|------|-----|
| | | |
| 計 | | |

(注) 被害内容には、鉱山、商店、事業所ごとにかつその程度を記入すること。

様式21

土木施設被害(国・県・町別)

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 区分 | 被害箇所数 | 被害金額 | 主たる被害箇所及び内容 |
|-----|-------|------|-------------|
| 河川 | | | |
| 海岸 | | | |
| 砂防 | | | |
| 道路 | | | |
| 橋梁 | | | |
| 港湾 | | | |
| 下水道 | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | | | |

(注) 主たる被害箇所及び内容欄には被害箇所、河川名、路線名等区間及び延長等を概略記載すること。

文教関係被害

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 区分 地区名 | 児童・生徒(教職員)被害 | | | | | 学校施設 | | | | | | | | | | 社会教育施設 | | | | | 被害合計 金額 | | |
|-----------|--------------|------|----|----|----|-------|-----|-----|-----|----|----|----|------|------|--------|--------|--------|-----|-----|----|------------|----|--|
| | 死亡 | 行方不明 | 重傷 | 軽傷 | 計 | 教科書被害 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高校 | 校大 | 学 | 各種学校 | 社会施設 | 社会教育施設 | 社会施設 | 社会体育施設 | 文化財 | 財 | | | | |
| | 園数 | 金額 | 校数 | 金額 | 校数 | 金額 | 校数 | 金額 | 校数 | 金額 | 校数 | 金額 | 校数 | 金額 | 校数 | 金額 | 施設数 | 金額 | 施設数 | 金額 | 件数 | 金額 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

様式23

福祉施設被害

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 福祉施設種別 | 被害施設名 | 設置主体 | 建物延面積 | 被災延面積 | 被害の程度の内容 | 被害金額 |
|--------|-------|------|-------|-------|----------|------|
| | | | | | | |
| 計 | | | | | | |

様式24

その他の公共施設被害

月 日 時現在
(金額単位 千円)

| 区分 施設名 | 被害内容 | 被害額 |
|-----------|------|-----|
| | | |
| 計 | | |

第 年 月 日 号

青森県知事 殿

蓬田村長

㊟

災 害 発 生 報 告

年 月 日 時 分ころ発生した災害状況について、下記のとおり報告します。

記

- 1 災害発生場所
- 2 災害発生の日時
- 3 原 因
- 4 被害状況調 (別紙 1 による外、被害地域及び附近の平面図並びに被害別による損害見積額「住家、家財、被服、寝具、その他生活必需品に区分」を添付すること。)
- 5 応急対策及びとった処置
- 6 復 旧 対 策
- 7 世帯別被害等調査票 (別紙 2)

被 害 状 況 調

(年 月 日 時 現在)

| | | | | |
|------------|---------|-----------|--------|--|
| 人的被害 | 死者 | | | |
| | 行方不明 | | | |
| | 負傷 | 重傷 | | |
| | | 軽傷 | | |
| | | 小計 | | |
| 計 | | | | |
| 住家の被害 | 棟数 | 全壊、全焼及び流失 | | |
| | | 半壊及び半焼 | | |
| | | 一部破損 | | |
| | | 床上浸水 | | |
| | | 床下浸水 | | |
| | 世帯数及び人員 | 全壊、全焼及び流失 | 世帯 | |
| | | | 人員 | |
| | | 半壊及び半焼 | 世帯 | |
| | | | 人員 | |
| | | 一部破損 | 世帯 | |
| | | | 人員 | |
| | | 床上浸水 | 世帯 | |
| | | | 人員 | |
| | 床下浸水 | 世帯 | | |
| 人員 | | | | |
| 非住家の被害 | | | | |
| 国有林材減額譲渡措置 | 木材所要数量 | | 立方メートル | |
| | 申請数量 | | 立方メートル | |
| | 譲渡数量 | | 立方メートル | |

[注] 1 棟(むね)とは、一つの建築物をいうものであること。

なお、主屋に、主屋よりも延面積の小さい附属建築物が付着している場合は1棟とし、渡り廊下の場合等、二つ以上の主屋に付着しているものは折半して、それぞれを主屋の付属物とみなすものである。

2 国有林材の減額譲渡措置欄は、災害にかかり、応急仮設住宅設置にあたり、その減額措置を受けた場合のみ記載すること。

第 号

年 月 日

青森県知事 殿

蓬田村長

㊟

災害決定報告について

年 月 日 時 分頃発生した

災害について、

その被害状況を下記のとおり報告します。

記

1 災害発生の日時及び場所

(1) 年 月 日 時 分

(2) 場 所

2 災害の原因及び災害の概要

3 被害状況調

(1) 人的被害及び住家の被害

| 人的被害 | | | | | 住家の被害 | | | | | | | | | | | | | | 非住家の被害 (棟) | | | | | | |
|------|------|----|----|----|-------|-------------|-----------|------|------|------|---------|----|-------|----|------|----|------|----|---------------|------|----|--|--|--|--|
| 死者 | 行方不明 | 負傷 | | | 計 | 棟数 | | | | | 世帯数及び人員 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 重傷 | 軽傷 | 小計 | | 全流焼 (焼)失 | 半壊 (焼) | 一部破損 | 床下浸水 | 床上浸水 | 全壊(焼)流失 | | 半壊(焼) | | 一部破損 | | 床上浸水 | | | 床下浸水 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 世帯 | 人員 | 世帯 | 人員 | 世帯 | 人員 | 世帯 | 人員 | | 世帯 | 人員 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 世帯構成員別被害状況

| 区分 | | 世帯構成員別 | | | | | | | | | | 計 | 小児 | | 中生 | | |
|-----|---------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---|----|---|----|---|--|
| | | 一人世帯 | 二人世帯 | 三人世帯 | 四人世帯 | 五人世帯 | 六人世帯 | 七人世帯 | 八人世帯 | 九人世帯 | 十人世帯 | | 学 | 校 | 校 | 徒 | |
| 世帯数 | 全焼(焼)流失 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 半壊(焼) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 床上浸水 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人員 | 全焼(焼)流失 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 半壊(焼) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 床上浸水 | | | | | | | | | | | | | | | | |

4 すでにとった措置及びとろうとする措置

5 救助の種類別実施状況

(1) 避難所設置状況

月 日 時 分から 月 日 時 分まで 日間次の カ所に
 避難所を設置し延べ 人を收容し 月 日 時 分をもって閉鎖した。

| 避難場所 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 計 |
|------|-----|-----|-----|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 計 | | | | |

(2) 炊出し実施状況

月 日より 公民館ほか カ所で延 名に対し、延 食の炊出しを
 実施した。

実施場所〇〇カ所

小学校

公民館

月 日
 朝食 }
 昼食 } 計 食
 夕食 }

月 日
 朝食 }
 昼食 } 計 食
 夕食 }

延 人

延 人

6 救助費概算額

| 区 分 | 員 数 | 単 価 | 金 額 | 備 考 |
|---|-------------------|-----|-----|-----------------------|
| 1 救 助 費 | | 円 | 円 | |
| (1) 収容施設給与費 避難所設置費 仮設住宅設置費 | 延 人 戸 | | | |
| (2) 炊出しその他による 食品の給与費 炊出し費 その他食品給与費 | 延 人 延 入 延 人 | | | |
| (3) 飲料水供給費 | | | | |
| (4) 被服寝具その他 生活必需品給与費 全壊（焼）流失分 半壊（焼）床上浸水分 | | | | 世帯 世帯 |
| (5) 医療及び助産 医 療 費 助 産 費 | 延 人 延 人 人 | | | |
| (6) 被災者救出費 | | | | 世帯 |
| (7) 住宅の応急修理費 | | | | 世帯 |
| (8) 生業資金貸与費 | | | | |
| (9) 学用品給与費 イ 教科書代 小 学 生 中 学 生 ロ その他学用品費 小 学 生 中 学 生 | | | | 人 人 人 人 人 |
| (10) 埋 葬 費 大 人 小 人 | | | | 体 体 体 |
| (11) 死 体 捜 索 費 | | | | 体 |
| (12) 死 体 処 理 費 一 時 保 存 料 検 索 料 | | | | |
| (13) 障 害 物 撤 去 費 | | | | |
| (14) 輸 送 費 | | | | |
| (15) 人 夫 費 | | | | |
| (16) 実 費 弁 償 費 | | | | |
| 2 事 務 費 | | | | |
| 合 計 | | | | |

7 その他必要事項

第 年 月 日 号

青森県知事 殿

蓬田村長

㊟

災害救助費市町村交付金交付申請書ついて

このことについて、次により市町村交付金を交付されたく関係書類を添えて申請いたしますので
よろしくお取り計らい願います。

記

1 申請金額 ¥ _____

2 災害の内容 年 月 日発生した 災害

3 添付書類

(1) 請求書

(2) 災害救助費総額内訳書

(3) 事項別内訳書

別紙1

第 号
年 月 日

青森県知事 殿

蓬田村長

㊟

請 求 書

¥ _____

ただし、 年 月 日発生した 災害に係る災害救助の実施に
要した費用として、別紙のとおり関係書類を添えて請求いたします。

別紙2

| 救助の種類 | 実支出額 | 算定基準額による額 | 事実支支出額 | 事務支出額 | 事務算定基準額 | 算定基準額合計 | 備考 |
|-----------|------|-----------|--------|-------|---------|---------|----|
| 避難所設置費 | | | | | | | |
| 応急仮設住宅設置費 | | | | | | | |
| 炊出し費 | | | | | | | |
| 飲料水供給費 | | | | | | | |
| 輸送費 | | | | | | | |
| 事務費 | | | | | | | |
| 救済用物資 | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | |

事務費内訳書

| 費用 | 金額 | 備考 |
|----|----|----|
| | 円 | |
| 計 | | |

- [注] 1 費目は、予算費目によるものとする。
- 2 旅費、時間外勤務手当及び通信費は、別紙明細書を添付すること。
- 3 別紙明細書備考欄には、それぞれの救助種目名を記載しておくこと。

別紙1

旅 費 明 細

蓬田村

| 旅行者氏名 | 旅行期間 | 用務地 | 金額 | 備考 |
|-------|------|-----|----|----|
| | | | 円 | |

別紙2

時 間 外 勤 務 手 当

蓬田村

| 勤務年月日 | 従事者氏名 | 金額 | 備考 |
|-------|-------|----|----|
| | | 円 | |

別紙3

通 信 費 明 細

蓬田村

| 通信月日 | 通話先 | 金額 | 備考 |
|------|-----|----|----|
| | | 円 | |

班 名

救 助 実 施 記 録 日 計 票

| | | | | |
|-----------------------|-----|---|-----|-----|
| 救 助 の 種 類 | 避 | 炊 | 水 | 救 出 |
| | 修 理 | 学 | 死 搜 | 死 処 |
| | 障 | | | |
| | | | | |

責任者（村職員）

㊟

地区の代表者

㊟

No. _____

年 月 日 時 分

員 数 (世 帯)

品 目 (数量金額)

受 入 先

払 出 先

場 所

方 法

法 事

様式30

救助の種目別物資受払状況

| 救助の種目別 | 年月日 | 品名 | 単位 | 摘要 | 受 | 払 | 残 | 備考 |
|---|-----|----|----|----|---|---|---|----|
| 避難所用 炊出しその他による 食品給与用 給水用機械器具 燃料浄水用薬品資材 被服寝具等 医薬品衛生材料 被災者救出用 機械器具燃料 燃料及び消耗品 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

- [注] 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入すること。
 3 各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。
 なお、物資等において、県よりの受入分及び町調達分がある場合にはそれぞれの別に受、払、残の計及び金額を明らかにしておくこと。
 4 救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。
 なお、「備考」欄に払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること。

様式31

避難所設置及び収容状況

| 避難所の名称 | 種別 | 開設期間 | 実人員 | 延人員 | 物品使用状況 | | 実支出額 | 備考 |
|--------|--------------------|-----------|-----|-----|--------|----|------|----|
| | | | | | 品名 | 数量 | | |
| | | 月日～ 月日 | 人 | 人 | | | 円 | |
| | | | | | | | | |
| 計 | 既存建物 野外仮設 天幕 | | | | | | | |

- 注 1 「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名、及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

様式 3 2

避 難 指 示 発 令 報 告 書

| | | | |
|---|---|------|---|
| | | 第 | 号 |
| | | 年 | 日 |
| | | 月 | |
| 青森県知事 | 殿 | | |
| | | 蓬田村長 | 印 |
| 災害対策基本法第 60 条の規定に基づき、次のとおり避難指示の発令をしたので報告する。 | | | |
| 1 災害等の規模及び状況 | | | |
| 2 避難を指示した日時 | | | |
| 3 指示した地域 | | | |
| 4 対象世帯数及び人員 | | | |
| 5 避難所開設予定箇所数 | | | |
| 6 そ の 他 | | | |

様式 3 3

避 難 指 示 解 除 報 告 書

| | | | |
|--|---|------|---|
| | | 第 | 号 |
| | | 年 | 日 |
| | | 月 | |
| 青森県知事 | 殿 | | |
| | | 蓬田村長 | 印 |
| 災害対策基本法第 60 条の規定に基づき、発令した避難指示を次のとおり解除したので報告する。 | | | |
| 1 避難指示を解除した日時 | | | |

様式34

避難所開設報告書

| | | | | |
|--------------------------------|------|---|---|---|
| | 第 | 年 | 月 | 号 |
| | | | | 日 |
| 青森県知事 殿 | | | | |
| | 蓬田村長 | | | 印 |
| 〇〇災害に伴う避難所の開設状況について、次のとおり報告する。 | | | | |
| 避難所開設の日時 | | | | |
| 場所及び箇所数 | | | | |
| 収容世帯数及び人員 | | | | |
| 開設期間の見込み | | | | |
| その他の | | | | |

様式35

避難所閉鎖報告書

| | | | | |
|-----------------------------|------|---|---|---|
| | 第 | 年 | 月 | 号 |
| | | | | 日 |
| 青森県知事 殿 | | | | |
| | 蓬田村長 | | | 印 |
| 〇〇災害に伴う避難所を次のとおり閉鎖したので報告する。 | | | | |
| 避難所の閉鎖した日時 | | | | |
| 場所及び箇所数 | | | | |
| 収容世帯数及び人員 | | | | |
| 開設期間 | | | | |
| その他の | | | | |

様式36

避 難 所 日 誌

| | | 避難所名 | |
|-----|-----|------|-------|
| 月 日 | 記 事 | | 責任者認印 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

様式37

避 難 所 収 容 者 名 簿

| | | | | 避難所名 | |
|-----|-----|-----|-----|---------|----|
| 氏 名 | 性 別 | 年 齢 | 住 所 | 収容期間 | 計 |
| | | | | 自月日 至月日 | 日間 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

様式38

避 難 所 従 事 者 勤 務 状 況

| | | | 避難所名 | | | |
|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 職 名 | 氏 名 | 所 属 | 到 着 | | 退 出 | |
| | | | 月 日 | 時 分 | 月 日 | 時 分 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

様式 3 9

被災者救出状況記録簿

| 年月日 | 救出人員 | 救出用機械器具 | | | | | | 実支出額 | 備考 |
|-------|------|---------|--------------------|-----|----------|-----|-----|------|----|
| | | 借上費 | | 修繕費 | | | 燃料費 | | |
| | | 数量 | 所有者 (管理者) 氏名 | 金額 | 修繕 月日 | 修繕費 | | | |
| | 人 | | | 円 | | 円 | | 円 | |
| ~~~~~ | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | |

- [注] 1 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。
 2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみその借上費を金額欄に記入すること。
 3 「修繕の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

様式 4 0

炊出し給与状況(総括)

| 炊出し場の名称 | 月日 | | | 月日 | | | 合計 | 実支出額 円 | 備考 |
|---------|----|---|---|----|---|---|----|-----------|----|
| | 朝 | 昼 | 夜 | 朝 | 昼 | 夜 | | | |
| | | | | | | | | | |
| ~~~~~ | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | |

[注] 「備考」欄は、給食内容を記入すること。

様式 4 1

炊出し給与簿

| 給食年月日 | 給食区分 | 給食数 | 給食先 | 炊出し場 | 実施責任者 | 備考 |
|-------|------|-----|-----|------|-------|----|
| | | | | 給食内容 | | |
| | | | | | | |
| ~~~~~ | | | | | | |
| 計 | | | | | | |

- [注] 1 「給食先」欄は、炊き出しの配給先(例えば〇〇避難所のように)を記入すること。
 2 「計」欄は、給食区分別に記入すること。

様式4 2

給 食 者 名 簿

| | | 避難所 | | 責任者 | | | |
|------------|------|-----------|------|-----|-------|-----|--|
| 給 食 年月日 | 給食区分 | 給 食 対 象 者 | | | | 備 考 | |
| | | 世 帯 主 氏 名 | 世帯員数 | 住 所 | 給 食 数 | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | |

様式4 3

飲 料 水 の 供 給 簿

| 供 給 月 日 | 対 象 人 員 | 給 水 用 機 械 器 具 | | | | | | | 支 出 済 額 | 備 考 | |
|------------------|------------------|---------------|-----|-------|-----|------------|-------|------------|------------------|--------|-------------|
| | | 名 称 | 借 上 | | | 修 繕 | | | | | 燃 料 費 |
| | | | 数 量 | 所 有 者 | 金 額 | 修 繕 月 日 | 修 繕 費 | 故障の 概 要 | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

- [注] 1 給水用機械器具は借上費の有償、無償の別を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。
 2 「故障の概要」欄には、修理の原因及び主な修理箇所を記入すること。

様式4 4

世 帯 構 成 員 別 被 害 状 況

| 世帯構成員別 区 分 | | 年 月 日現在 | | | | | | | | | | 計 | 小 学 校 | 中 学 校 |
|---------------|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|---|-------------|-------------|
| | | 1 人 世 帯 | 2 人 世 帯 | 3 人 世 帯 | 4 人 世 帯 | 5 人 世 帯 | 6 人 世 帯 | 7 人 世 帯 | 8 人 世 帯 | 9 人 世 帯 | 10 人 世 帯 | | | |
| 世 帯 数 | 全壊（焼）・流失 | | | | | | | | | | | | | |
| | 半壊（焼） | | | | | | | | | | | | | |
| | 床上浸水 | | | | | | | | | | | | | |
| 人 員 | 全壊（焼）・流失 | | | | | | | | | | | | | |
| | 半壊（焼） | | | | | | | | | | | | | |
| | 床上浸水 | | | | | | | | | | | | | |

様式45

物資供給(貸与)受領簿

| | | | | |
|--------------|--|----------------------------|--|---------------------|
| 住宅被害 程度区分 | | 給(貸)与の基礎 となった世帯 構成人員 | | (男 人) 人 (女 人) |
|--------------|--|----------------------------|--|---------------------|

災害救助用物資として、下記内訳のとおり受領しました。

年 月 日

住 所
世帯主氏名

㊞

| 給与年月日 | 品 名 | 数 量 | 備 考 |
|-------|-----|-----|-----|
| | | | |
| | | | |

(注) 被災者の受領年月日は、その世帯に対し最後に給(貸)与された物資の受領年月日とすること。

様式46

物資の給与状況

| 住家被害 程度区分 | 世帯主氏名 | 基礎となった 世帯構成人員 | 給与月日 | 物資給与の品名 | | | 実支出額 | 備考 |
|--------------|-------|------------------|------|---------|----|--|------|----|
| | | | | 布団 | 毛布 | | | |
| | | 人 | 月 日 | | | | 円 | |
| | | | | | | | | |
| 計 | 全壊 | 世帯 | | | | | | |
| | 半壊 | 世帯 | | | | | | |

災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者氏名

- [注] 1 住家の被害程度に、全壊（焼）・流失又は半壊、床上浸水の別を記入すること。
 2 「物資給与の品名」欄に数量を記入すること。

様式47

| | |
|---|-----------|
| | 第 年 月 日 号 |
| 青森県知事 殿 | |
| | 蓬田村長 ⑩ |
| 災害救助法による応急仮設住宅設置供与申請 （住宅の応急修理）について | |
| 年 月 日の火災（水害）により全壊（全焼）（流失）（半壊）（半焼）した被災者のうち別紙の者は、みずからの資力では住宅を得ることができない者（みずからの資力では住宅の応急修理をすることができない者）でありますから関係書類を添えて申請します。 | |
| [注] 関係書類は別紙様式（調書）によること。 | |

別紙1

応急仮設住宅設置供与を必要とする者の調書

| 設置供与を必要とする世帯主氏名 | 年令 | 職業 | 世帯人員 | 被災前の資産状況 | | | | 収入状況 | 設置供与を必要とする理由 | 立退先の状況 |
|-----------------|----|----|------|----------|----|------|----|------|--------------|--------|
| | | | | 宅地 | 田畑 | 山原林野 | 家屋 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

別紙2

応急仮設住宅敷地予定調書

| 設置供与を必要とする世帯主氏名 | 敷地予定地 | | | | | その他参考事項 |
|-----------------|-------|----|----|---------|---------|---------|
| | 地番 | 地目 | 地積 | 土地所有者氏名 | 抵当権設定有無 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

別紙3

住宅の応急修理を必要とする者の調書

| 住宅の応急修理を必要とする世帯主氏名及び住所 | 年令 | 職業 | 世帯人員 | 修理を必要とする箇所 | 被災前の資産状況 | | | | その他参考事項 |
|------------------------|----|----|------|------------|----------|----|------|----|---------|
| | | | | | 宅地 | 田畑 | 山原林野 | 家屋 | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

様式48

| | | | |
|---------------------|--------------------|----|---------|
| | 第 年 | 月 | 号 日 |
| 青森県知事 殿 | | | |
| | | | 蓬田村長 ㊟ |
| 着 工 届 | | | |
| 1 工 事 名 | 災害救助法による応急仮設住宅建築工事 | | |
| 2 建 築 戸 数 | 棟 | 戸建 | 棟 |
| | | | } 計 棟 戸 |
| | 棟 | 戸建 | |
| 3 着工年月日 | | | |
| 上記のとおり着工したのでお届けします。 | | | |

- [注] 1 着工後5日以内に届出すること。
 2 住宅の応急修理も上記に準じて届出すること。

様式49

| | | | |
|---------------------|--------------------|----|---------|
| | 第 年 | 月 | 号 日 |
| 青森県知事 殿 | | | |
| | | | 蓬田村長 ㊟ |
| 竣 工 届 | | | |
| 1 工 事 名 | 災害救助法による応急仮設住宅建築工事 | | |
| 2 建 築 戸 数 | 棟 | 戸建 | 棟 |
| | | | } 計 棟 戸 |
| | 棟 | 戸建 | |
| 3 工 事 場 所 | | | |
| 4 竣工年月日 | | | |
| 5 工 事 費 | | | |
| 上記のとおり着工したのでお届けします。 | | | |

- [注] 1 竣工後5日以内に届出すること。
 2 住宅の応急修理も上記に準じて届出すること。

様式50

| | | | |
|--------------------------|----------|--------------------|---|
| | | 第 | 号 |
| | | 年 | 日 |
| | | 月 | |
| 青森県知事 | 殿 | | |
| | | 蓬田村長 | 印 |
| 引 渡 書 | | | |
| 1 | 工 事 名 | 災害救助法による応急仮設住宅建築工事 | |
| 2 | 設置場所及び戸数 | | |
| 3 | 構造及び面積 | | |
| 4 | 竣工年月日 | | |
| 5 | 引渡年月日 | | |
| 上記のとおりでありますから、引き渡しいたします。 | | | |

様式51

| | | | |
|---------------------|---|-------|---|
| | | 第 | 号 |
| | | 年 | 日 |
| | | 月 | |
| 青森県知事 | 殿 | | |
| | | 蓬田村長 | 印 |
| 請 求 書 | | | |
| | ¥ | _____ | |
| ただし、応急仮設住宅設置の概算金として | | | |
| 上記のとおり請求します。 | | | |

[注] 上記請求書は、応急仮設住宅設置及び住宅の応急修理のため概算交付を必要とする場合に用いるものであること。

第 年 月 日 号

青森県知事 殿

蓬田村長 ④

請 算 書

| 科 目 | 実支出済額 | 県費受入額 | 差引過不足額 | 摘 要 |
|---------------------|-------|-------|--------|----------------|
| 応急仮設住宅 (住宅の応急修理) | | | | 工事費 円 事務費 円 |

上記のとおり精算いたしました。

[注] 精算書には、請負による見積書(写)、工事請負契約書(写)並びに設計書及び設計図のほか別紙1及び2(入札を行った場合)の書類を添付すること。

別紙1

工 事 費 及 び 事 務 費 内 訳 書

蓬田村

| 科 目 | 経 費 | 算 定 基 礎 |
|---|-----|---------|
| 工 事 名 基 礎 工 事 木 工 事 屋 根 工 事 建 具 工 事 手 間 工 事 諸 経 費 | 円 | |
| 事 務 費 設 計 料 旅 費 通 信 費 消 耗 品 費 | | |
| 計 | | |

| 年 月 日 執行 | | 入 札 執 行 者 | | 立 会 人 | |
|------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 開 札 | | 一 覧 表 | | | |
| 工 事 名 | 施 工 地 域 | 字 | 番 地 | | |
| 災害救助法による応急仮設住宅工事 | | 蓬田村大字 | | | |
| 予定価格 一金 | | 円也 | | | |
| 保 証 金 | 入 札 者 氏 名 | 第 1 回 入 札 額 | 第 2 回 入 札 額 | 第 3 回 入 札 額 | 備 考 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

様式53

応急仮設住宅台帳

蓬田村

| 応急仮設住宅番号 | 世帯主氏名 | 家族数 | 所在地 | 構造区分 | 面積 | 敷地区分 | 着工月日 | 竣工月日 | 入居月日 | 実支出額 | 備考 |
|----------|-------|-----|-----|------|----|------|------|------|------|------|----|
| | | | | | | | | | | 円 | |
| ~~~~~ | | | | | | | | | | | |
| 計 | 世帯 | | | | | | | | | | |

- [注] 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置場所を明らかにした簡単な図面を作成し、添付すること。
 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建築したところの住所を記入すること。
 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
 5 「敷地区分」欄は、公私有地別とし、有償無償の別をも明らかにすること。
 6 「備考」欄は、入居時における経過を明らかにしておくこと。

様式54

住宅応急修理記録簿

蓬田村

| 世帯主氏名 | 修理箇所概要 | 完了月日 | 実支出額 | 備考 |
|-------|--------|------|------|----|
| | | | 円 | |
| ~~~~~ | | | | |
| 計 | 世帯 | | | |

[注] 別添として見取図を添付すること。

様式55

救護班活動状況

救護班

班長：医師 氏名

㊞

| 月日 | 場所 | 患者数 | 措置の概要 | 死体検案数 | 修繕費 | 備考 |
|-------|----|-----|-------|-------|-----|----|
| | | 人 | | 人 | 円 | |
| ~~~~~ | | | | | | |
| 計 | | | | | | |

[注] 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

様式56

病院、診療所医療実施状況

蓬田村

| 診療機関名 | 患者氏名 | 診療期間 月 日 | 病 名 | 診療区分 | | 診療報酬点数 | | 金 額 | 備 考 |
|-------|------|-------------|-----|------|----|---------|---------|-----|-----|
| | | | | 入院 | 通院 | 入院 点 | 通院 点 | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 計 機関 | 人 | | | | | | | | |

〔注〕 「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

様式57

傷 病 者 名 簿

| 医療救護班名 | | 医師氏名 | | | 救護月日 | 年 月 日 | |
|----------------|------|------|----|----|-------|-------|--|
| (避難所名) 救護所開設場所 | | | | | | | |
| 番号 | 患者氏名 | 住 所 | 性別 | 年齢 | 傷 病 名 | 処 置 等 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

様式58

助 産 台 帳

蓬田村

| 分べん者氏名 | 分べん日時 | 助 産 機 関 名 | 分べん時間 | 金 額 | 備 考 |
|--------|-------|-----------|-------|-----|-----|
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | | | | |

様式59

障 害 物 除 去 の 状 況

蓬田村

| 住 家 被 害 程 度 区 分 | 氏 名 | 除去に要 した期間 | 実支出額 | 除去を要する 状態の概要 | 備 考 |
|--------------------|-------|--------------|------|-----------------|-----|
| | | | 円 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | 半壊（焼） | 世帯 | | | |
| | 床上浸水 | 世帯 | | | |

様式60

障害物除去関係物資受払状況

| 年 月 日 | 品 名 | 単 位 | 摘 要 | 受 払 | 残 | 備 考 |
|-------|-----|-----|-----|-----|---|-----|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

- [注] 1 「摘要」欄に購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。

様式61

奉 仕 団 の 協 力 要 請 書

| | |
|--------------------------|-----------------|
| 殿 | 第 年 月 日 蓬田村長 |
| 〇〇災害の救助活動に次により御協力を要請します。 | |
| 要 請 の 理 由 | |
| 作 業 場 所 | |
| 作 業 内 容 | |
| 所 要 人 員 | |
| 従 事 期 間 | |
| 集 合 場 所 | |

様式6 2

奉 仕 団 の 活 動 状 況 記 録 簿

| 奉仕団名称 | | 報告班名 | | |
|-------|---------|-----------|---------|-----|
| 月 日 | 奉 仕 期 間 | 奉 仕 者 氏 名 | 作 業 内 容 | 備 考 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

様式6 3

人 夫 あ っ せ ん 要 請 書

| | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------|--|---------|--|---------|--|---------|--|---------|--|---------|--|
| 第 年 月 日 号 | | | | | | | | | | | | |
| 青森公共職業安定所長 殿 | | | | | | | | | | | | |
| 蓬田村長 ㊟ | | | | | | | | | | | | |
| ○○災害の救助活動の従事者を次によりあっせん方をお願いします。 | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">要 請 の 理 由</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作 業 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作 業 内 容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所 要 人 員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>従 事 期 間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>集 合 場 所</td> <td></td> </tr> </table> | 要 請 の 理 由 | | 作 業 場 所 | | 作 業 内 容 | | 所 要 人 員 | | 従 事 期 間 | | 集 合 場 所 | |
| 要 請 の 理 由 | | | | | | | | | | | | |
| 作 業 場 所 | | | | | | | | | | | | |
| 作 業 内 容 | | | | | | | | | | | | |
| 所 要 人 員 | | | | | | | | | | | | |
| 従 事 期 間 | | | | | | | | | | | | |
| 集 合 場 所 | | | | | | | | | | | | |

人夫雇上台帳

| 救助種目名 | 住 所 | 氏 名 | 年 齡 | 日 額 | 月 分 | | | | | | | 基 本 賃 金 | | 割 増 賃 金 | | 計 | 備 考 | |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---------|-----|---------|-----|---|-----|--|
| | | | | | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 数 | 金 額 | 時 間 | 金 額 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | |

蓬田村

[注] 1 本台帳は、救助種目ごとに作成すること。
 2 各日別就労状況は、1日就労したものは上覧に「1」と表示し、時間外勤務に従事させた場合は、その時間数を下欄に記入しておくこと。

死体の捜索状況記録簿

蓬田村

| 年 月 日 | 捜 索 人 員 | 捜 索 用 機 械 器 具 | | | | | | | 実 支 出 額 | 備 考 |
|-------------|------------------|---------------|-------|------------------------|-------|------------|-------|-------|------------------|--------|
| | | 名 称 | 借 上 料 | | 修 繕 費 | | | 燃 料 費 | | |
| | | | 数 量 | 所 有 者 (管理 者) 氏 名 | 金 額 | 修 繕 月 日 | 修 繕 費 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | |

- [注] 1 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。
 2 借上費については有償無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、借上費は、「金額」欄に記入すること。
 3 「修繕の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

様式66

死 体 捜 索 の 協 力 要 請 書

第 年 月 日 号

殿

蓬田村長 ㊟

死体捜索の協力方について（要請）

〇〇災害により、次の者が貴市（町村）へ漂着していると推定されるので、その捜索について協力を要請します。

| | | | | | | |
|---------------------|-------------|-----|---|-----|---|--|
| 死体が漂着していると推定される地域 | | | | | | |
| 死者の氏名等 | 氏 名 | 性 別 | 男 | 年 齢 | 才 | |
| | | | 女 | | | |
| | 着 衣 ・ 持 物 等 | | | | | |
| | 死 者 の 特 徴 等 | | | | | |
| そ の 他 参 考 と な る 事 項 | | | | | | |
| 当 町 へ の 連 絡 先 | | | | | | |

様式67

死 体 処 理 台 帳

蓬田村

| 処 理 年月日 | 死体発見の 日時及び場所 | 死 亡 者 遺 族 | | | 洗 浄 等 の 処 理 | | | 死体の 一 時 保管料 | 検 索 料 | 実 出 | 支 額 | 備 考 |
|------------|-----------------|-----------|-----|--------------|-------------|-----|-----|-------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 氏 名 | 氏 名 | 死亡者との 関 係 | 品 名 | 数 量 | 金 額 | | | | | |
| | | | | | | | 円 | 円 | 円 | 円 | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | 人 | | | | | | | | | | |

様式68

埋 火 葬 台 帳

蓬田村

| 死 亡 年月日 | 埋火葬 年月日 | 死 亡 者 | | 埋火葬を行った者 | | 洗 浄 等 の 処 理 | | | | 備 考 |
|------------|------------|-------|-----|--------------|-----|-------------------|---------------|-----|---|-----|
| | | 氏 名 | 年 齢 | 死亡者との 関 係 | 氏 名 | 棺 (付属品 を含む) | 埋葬又は 火 葬 科 | 骨 箱 | 計 | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 計 | | 人 | | | | | | | | |

- [注] 1 埋火葬を行った者が町長である場合は、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
 2 町長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。

様式 6 9

学 用 品 給 与 調

蓬田村

| 区 分 学 校 名 | 全壊（焼）流出 | | | | 半壊（焼）床上浸水 | | | | 計 | | | | 合計 |
|-----------------|------------------|-------------|------------------|---------------------------------|------------------|-------------|------------------|---------------------------------|------------------|-------------|------------------|---------------------------------|----|
| | 児 童 生 徒 | 教 科 書 | 児 童 生 徒 | 文 房 具 通 用 学 品 | 児 童 生 徒 | 教 科 書 | 児 童 生 徒 | 文 房 具 通 用 学 品 | 児 童 生 徒 | 教 科 書 | 児 童 生 徒 | 文 房 具 通 用 学 品 | |
| 小学校 | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 | | | | | | | | | | | | | |
| 小学校 | | | | | | | | | | | | | |
| 小 計 | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 小 計 | | | | | | | | | | | | | |
| 小 中 学 校 合計 校 | | | | | | | | | | | | | |

様式 7 0

学 用 品 購 入 計 画 書

| 学校名 区 分 | | | 全壊（焼）、流失 | | | 半焼（焼）床上浸水 | | | 合 計 | | 備考 |
|------------|----|----|------------------|--------|--------|------------------|--------|--------|--------|--------|----|
| | | | 児 童 生 徒 | 数 量 | 金 額 | 児 童 生 徒 | 数 量 | 金 額 | 数 量 | 金 額 | |
| 学年 | 品名 | 単価 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

学用品の給与状況

| 学校名 学年 | 児童 (生徒) 氏名 | 親権者 氏名 | 給与 月日 | 給与品の内訳 | | | | | | 実支出額 | 備考 |
|-----------|------------------|-----------|----------|--------|----|--|--------|-----|--|------|----|
| | | | | 教科書 | | | その他学用品 | | | | |
| | | | | 国語 | 算数 | | 鉛筆 | ノート | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 計 | 小学校 | | | | | | | | | | |
| | 中学校 | | | | | | | | | | |

学用品を上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者 (学校長)
氏 名

㊟

[注] 1 給与月日は、その児童 (生徒) に対して最後に給与した月日を記入すること。
2 「給与品の内訳」欄には数量を記入すること。

様式72

学用品给与対象者調

| 保護者の 被害区分 | 児童 (生徒) 氏名 | 保護者 氏名 | 調 査 月 日 | 給与品の内訳 | | | | | | 支出予定額 | 備 考 |
|--------------|------------------|-----------|------------------|--------|----|--|-------------|-----|--|-------|-----|
| | | | | 教 科 書 | | | そ の 他 学 用 品 | | | | |
| | | | | 国語 | 算数 | | 鉛筆 | ノート | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 計 | 全壊(焼) | | | | | | | | | | |
| | 流失 | | | | | | | | | | |
| | 半壊(焼) | | | | | | | | | | |
| | 床上浸水 | | | | | | | | | | |

学用品の给与対象者は上記のとおりです。

年 月 日

学校長

㊟

様式73

輸 送 記 録 簿

| 輸送月 日 | 目的 | 輸送区間 (距離) | 借上料 | | | 修 繕 | | | | 燃 料 費 | 実支出額 | 備 考 | |
|----------|----|--------------|-------|----|----|----------|-----------|----------|---------|-------------|------|--------|-----------|
| | | | 使用車両等 | | 金額 | 故障車両等 | | 修理 月日 | 修繕 費 | | | | 故障の 概要 |
| | | | 種類 | 台数 | | 名称 番号 | 所有者 氏名 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | |

- [注] 1 「目的」欄、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 2 県又は町有の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
 3 借上車両等による場合は、有償、無償を問わず記入すること。
 4 借上等の「金額」欄には、輸送費又は車両等の借上費を記入すること。
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

様式 7 4

蓬田村災害時ボランティア登録申込（更新）書 [個人用]

| | | | | | |
|--|---------------|------------|------------------|-----------------|--------------|
| | | 記入年月日 | 年 | 月 | 日 |
| 住 所 | | 連絡先 | | | |
| (ふりがな) 氏 名 | 生年月日 | 年 | 月 | 日 | 性別 男 女 |
| 血液型 () | | | | | |
| 職業 | 勤務先と その所在地 | | 連絡先 | | |
| <p>現在、団体・グループに 1. 所属している 2. 所属していない</p> <p>(現在、所属している団体・グループ名、若しくは今後グループ化を希望している団体名を○で囲み、グループなどその内容をできるだけ詳しく記入してください。)</p> <p>1. 日赤奉仕団 2. 社会福祉協議会 3. 国際交流協会</p> <p>4. その他団体 (労働団体など:)</p> | | | | | |
| 所属（若しくは 希望する） グループ名 | | 代表者氏名 | 住 所 | 連 絡 先 | |
| 活 動 内 容 | | | | | |
| 希望する 活動内容 | 一般的な活動 | | | 特殊な活動 | |
| | 1 救援物資等の搬送、整理 | 2 避難者の生活援助 | 3 避難所等の管理・運営補助 | 4 炊き出しなどの食事サービス | 5 災害弱者への支援活動 |
| | 6 情報収集等 | 7 その他 () | 1 救急・救助活動 | 2 外国語通訳 (語) | 3 手話通訳のサービス |
| | | | 4 ボランティアのコーディネート | 5 その他 () | |
| 免許・資格等 | 1 | 2 | 3 | | |
| 免許等の名称 免許等の番号 | | | | | |
| 活動可能な地域 村全域・一部地区 [中沢・長科・阿弥陀川・蓬田・宮本・郷沢・瀬辺地・広瀬・高根] | | | | | |
| 活動可能な期間等： 週間程度 日程度 休日だけ | | | | | |

様式 7 5

蓬田村災害時ボランティア登録申込（更新）書 [グループ用]

| | | | | | |
|--|------------------|------------|----------------|-----------------|--------------|
| | | 記入年月日 | 年 | 月 | 日 |
| 住 所 | | 連絡先 | | | |
| (ふりがな) 氏 名 | 生年月日 | 年 | 月 | 日 | 性別 男 女 |
| 血液型 () | | | | | |
| 職業 | 勤務先と その所在地 | | | 連絡先 | |
| <p>現在、団体・グループに 1. 所属している 2. 所属していない</p> <p>(現在、所属している団体・グループ名、若しくは今後グループ化を希望している団体名を○で囲み、グループなどその内容をできるだけ詳しく記入してください。)</p> <p>1. 日赤奉仕団 2. 社会福祉協議会 3. 国際交流協会</p> <p>4. その他団体 (労働団体など：)</p> | | | | | |
| 所属（若しくは 希望する） グループ名 | | 代表者氏名 | 住 所 | 連 絡 先 | |
| 活 動 内 容 | | | | | |
| 希望する 活動内容 | 一般的な活動 | | | 特殊な活動 | |
| | 1 救援物資等の搬送、整理 | 2 避難者の生活援助 | 3 避難所等の管理・運営補助 | 4 炊き出しなどの食事サービス | 5 災害弱者への支援活動 |
| | 6 情報収集等 | 7 その他 () | 1 救急・救助活動 | 2 外国語通訳 (語) | 3 手話通訳のサービス |
| | 4 ボランティアのコーディネート | 5 その他 () | | | |
| 免許・資格等 | 1 | 2 | 3 | | |
| 免許等の名称 免許等の番号 | | | | | |
| 活動可能な地域 村全域・一部地区 [中沢・長科・阿弥陀川・蓬田・宮本・郷沢・瀬辺地・広瀬・高根] | | | | | |
| 活動可能な期間等： 週間程度 日程度 休日だけ | | | | | |

グループ登録に添付する名簿

| 番号 | 氏名 | 生年月日 | 血液型 | 住所 | 連絡先 | 免許・資格 免許番号等 |
|----|----|------|-----|----|-----|----------------|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

蓬田村地域防災計画

令和4年3月策定

編集発行 蓬田村防災会議
事務局 蓬田村総務課

〒030-1211 青森県東津軽郡蓬田村大字蓬田字汐越1-3

TEL 0174-27-2111 FAX 0174-27-3255

<http://www.vill.yomogita.lg.jp/>